

令和7年度 地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業 実践事例集
～文部科学省「学校・家庭・地域連携協力推進事業費」補助事業～

社会総がかりで取り組む教育の推進

Vol.15



愛媛県教育委員会



はじめに

近年、人口減少・少子高齢化の進行等を背景に、地域のつながりの希薄化、担い手不足などによる地域の教育力の低下が進む中、学校における働き方改革、放課後児童対策等、子どもを取り巻く課題は、複雑化・困難化しております。こうした課題を学校・家庭・地域が個別・単独に解決していくことは困難な状況にあり、互いに連携・協働しながら、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える、持続可能な地域コミュニティを実現することが必要不可欠なものとなってきております。

県においては、愛媛県教育基本方針・重点施策の一つに「社会総がかりで取り組む教育の推進」を掲げ、その中核的な事業として、「地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業」を実施し、幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、地域と学校の連携・協働体制の構築を図り、学校を核とした地域の活性化につなげていくため、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に取り組んでおります。

今年度は、家庭教育支援推進事業を実施し、全ての保護者が安心して家庭教育を行うことができるよう、家庭教育支援に携わる人材の養成や「愛顔の子育てトーク&わーく応援プログラム集（通称：トクわく）」の普及啓発、有識者等による家庭教育支援推進会議を設置し、地域全体で家庭教育を支える体制づくりの推進に努めてまいりました。

各市町教育委員会及び事業関係者の皆様におかれては、様々な教育活動において、子どもたちの健全育成を支援していただき、心から感謝を申し上げる次第です。それぞれの地域の未来を担う子どもたちが、地域の方々に見守られ、支えられながら、豊かな学びや体験の機会を得て健やかに成長していくことは、地域に愛着をもち、地域に貢献したいという思いや願いを育むことにつながるものと考えています。

本事例集は、各市町教育委員会及び事業関係者の御協力により、県内各地での地域学校協働活動等の実践を取りまとめたものです。事業関係者をはじめ関係各位に御高覧いただき、「地域とともにある学校づくり」の一層の推進、そして、「学校を核とした地域づくり」に対する地域住民の主体的な意識高揚を図る取組に役立ててもらえれば幸いです。

結びに、本冊子の作成に当たり、格別の御指導・御協力をいただいた愛媛県地域と学校の連携・協働体制構築推進協議会の委員の皆様をはじめ、各市町教育委員会、関係機関の皆様にご心よりお礼申し上げます。

令和8年3月

愛媛県教育委員会事務局社会教育課長

伊賀上 慶樹

はじめに

I 事業概要及び県事業

1 事業の全体像	4
2 地域と学校の連携・協働体制構築推進協議会	8
3 活動別研修事業	9
4 普及啓発事業	17
5 家庭教育支援推進事業	21
6 社会総がかりの学校教育支援事業	28

II 市町補助事業

令和7年度実施市町一覧	30
-------------	----

【地域学校協働活動】

① 四国中央市	32
② 新居浜市	33
③ 西条市	34
④ 東温市	35
⑤ 伊予市	36
⑥ 砥部町	37
⑦ 久万高原町	38
⑧ 大洲市	39
⑨ 内子町	40
⑩ 伊方町	41
⑪ 西予市	42
⑫ 宇和島市	43
⑬ 鬼北町	44

【えひめ未来塾】

① 西条市	46
② 東温市	47
③ 大洲市	48
④ 内子町	49
⑤ 西予市	50
⑥ 宇和島市	51

【放課後子ども教室】

① 四国中央市	54
② 新居浜市	55
③ 西条市	56
④ 今治市	57
⑤ 東温市	58
⑥ 伊予市	59
⑦ 久万高原町	60
⑧ 大洲市	61
⑨ 内子町	62
⑩ 西予市	63
⑪ 宇和島市	64
⑫ 鬼北町	65
⑬ 愛南町	66

【土曜教育活動】

① 新居浜市	68
② 西条市	69
③ 上島町	70
④ 東温市	71
⑤ 伊予市	72
⑥ 伊方町	73
⑦ 愛南町	74

【家庭教育支援】

① 西条市	76
② 上島町	77
③ 伊予市	78
④ 砥部町	79
⑤ 久万高原町	80
⑥ 大洲市	81
⑦ 西予市	82
⑧ 宇和島市	83

(参考) 放課後児童クラブ一覧	86
えひめ学校・地域教育サポーター一覧	90
えひめ家庭教育サポート企業一覧	91

Ⅰ 事業概要及び県事業

1	事業の全体像
---	--------

1 趣旨

地域の教育力の低下や、学校が抱える課題の複雑化・困難化といった社会的課題の解決を目指し、全ての子どもを健全に育成するためには、学校・家庭・地域が連携・協働して教育に取り組む体制づくりを一層強化する必要がある。

そこで、各地域と学校が、子どもの健全育成について目標やビジョンを共有することによって、地域住民等の参画による「地域学校協働活動」「えひめ未来塾」「放課後子ども教室」「土曜教育活動」「家庭教育支援」の効果的な取組を総合的に実施するとともに、県においても、保護者・教職員・地域住民及び企業関係者等が連携・協働して子どもたちを支える教育環境を整備するため、研修や普及啓発活動等に取り組む。

2 事業の概要

(1) 県事業

ア 「地域と学校の連携・協働体制構築推進協議会」の設置

- 主な役割 事業の在り方・成果等の検証・評価、地域と学校の連携・協働体制構築の検討 等
- 人数 10人（学識経験者、福祉関係者、学校教育関係者、社会教育関係者等）
- 開催回数 2回

イ 活動別研修事業

- 目的 各事業それぞれの関係者の資質向上、情報交換等を図る。
- 開催研修会
 - ・ 放課後子ども教室・えひめ未来塾指導者研修会
 - ・ 放課後児童対策指導者研修会
 - ・ 地域学校協働活動とコミュニティ・スクール（CS）の一体的な取組推進研修会
 - ・ 地域学校協働活動推進員等研修会

ウ 普及啓発事業

(ア) 「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」（兼 合同研修会）

- 目的 県内の幼稚園から高等学校までの保護者・教師・地域住民・福祉関係者・警察関係者・企業等の子どもたちに関わる大人が一堂に会して、研修や情報交換を行い、社会総がかりで子どもたちを育むための方向性を探る。
- 開催回数 1回（松山市）
- 内容 講演、分科会 等

(イ) 事例集の作成・配布

- 実施市町の優れた取組事例の紹介
- 県ホームページで公開

(ウ) CSアドバイザーの派遣

- 目的 地域学校協働活動とCSの一体的な取組推進を図るため、CSの設置を進めようとしている市町等に対し、CSアドバイザーを派遣し、説明会や研修会を実施する。
- 派遣回数 8回

エ 家庭教育支援推進事業

- 目的 全ての保護者が安心して家庭教育を行うことができるよう、地域人材の養成や家庭教育支援チームを中心とした連携の仕組みづくり、身近な地域における情報提供や相談対応等の支援活動を実施する等、地域全体で家庭教育を支える体制づくりの推進を図る。
- 内容
 - ・ 家庭教育支援者養成講座
家庭教育支援に関する最新の情報提供や愛顔の子育てトーク&わーく応援プログラム集（トクわく）のワークショップを進行するために必要なスキルの習得を目的とした講座を実施し、子育ての悩みや不安を気軽に話し合える体制の整備や人材の養成を図る。
 - ・ 愛媛県家庭教育推進会議
家庭教育支援をめぐる県全体の動向や課題に関する意見交換により、地域全体で子育てや家庭教育を支援する機運の醸成に向けた県の取組等を検討する。
 - ・ 家庭教育支援出前講座
トクわくの普及啓発及び市町教育委員会や社会教育関係団体等からの要望に応じた講座を実施する。

(2) 市町補助事業

各市町に、運営委員会を設置し、地域学校協働活動推進員やコーディネーター等の配置、活動内容・運営方法の検討、支援活動の実施を行う。

ア 活動内容・運営方法の検討

各地域の実情に応じた取組内容や事業の運営方法の検討等を行う。

イ 人材の配置

- 統括的な地域学校協働活動推進員及び統括コーディネーター等
各地域学校協働活動推進員等間の連絡調整や、助言・指導、人材発掘・確保等の統括的な役割を担う。
- 地域学校協働活動推進員及び地域コーディネーター
地域学校協働活動の連携についての各種調整のほか、学校や学校関係者、地域の団体等との連絡調整、地域の協力者の確保・登録・配置、地域の実情に応じた定期的・継続的かつ多様な活動プログラムの企画等を行う。
- 学習支援員
特別な知識、経験等を活用し、協働活動リーダーでは行うことのできない小・中・高校生等への学習支援を実施する。
- 協働活動リーダー
学校の教育活動の支援や放課後、土曜日等における学習支援・体験・交流活動等のプログラムを中心的に実施する。
- 家庭教育支援員
家庭教育に関する学習プログラム等の中心的な企画・実施や保護者への相談対応等を行う。
- 協働活動サポーター

放課後、土曜日等を含むプログラムの実施のサポートや子どもたちの安全を管理する。

○ 特別支援・共生社会サポーター

地域の実情に応じて、特別な支援を必要とする子どもたちに対する放課後等の学習支援・体験活動をサポートする。

ウ 活動の実施

(7) 地域学校協働活動

地域住民が学校と連携・協働し、教育活動を支援するとともに、地域住民の自己実現を図り、地域を活性化する。

○ 主な活動内容

郷土学習、学びによるまちづくり、体験・ボランティア活動支援、部活動指導、学校環境整備、登下校の見守り、補導時の対応 など

(イ) えひめ未来塾

全ての子どもを対象に地域の参画を得て、子どもが主体的に学習に取り組むことのできる場（環境）を設けるとともに、子どもの悩みや相談に応じて学習を支援する。

○ 主な活動内容

放課後等の学習機会の提供と支援、学習習慣の育成、学習支援や悩み等への対応、学力強化シートの活用、教員経験者の活用 など

(ウ) 放課後子ども教室

全ての子どもを対象に、安全・安心な子どもの居場所を設け、学習や体験活動等を提供する。

○ 主な活動内容

学習支援や文化、スポーツ自然体験活動支援、異年齢集団や地域住民との交流活動、児童クラブと一体・連携した取組 など

(エ) 土曜教育活動

全ての子どもを対象に、企業等の人材を活用した特色・魅力のある教育プログラムを提供する。

○ 主な活動内容

プロや専門家の教育支援や継続的なプログラムの提供 など

(オ) 家庭教育支援

保護者等への学習機会や情報の提供、相談体制の構築等を行い、家庭教育支援の基盤を整備する。

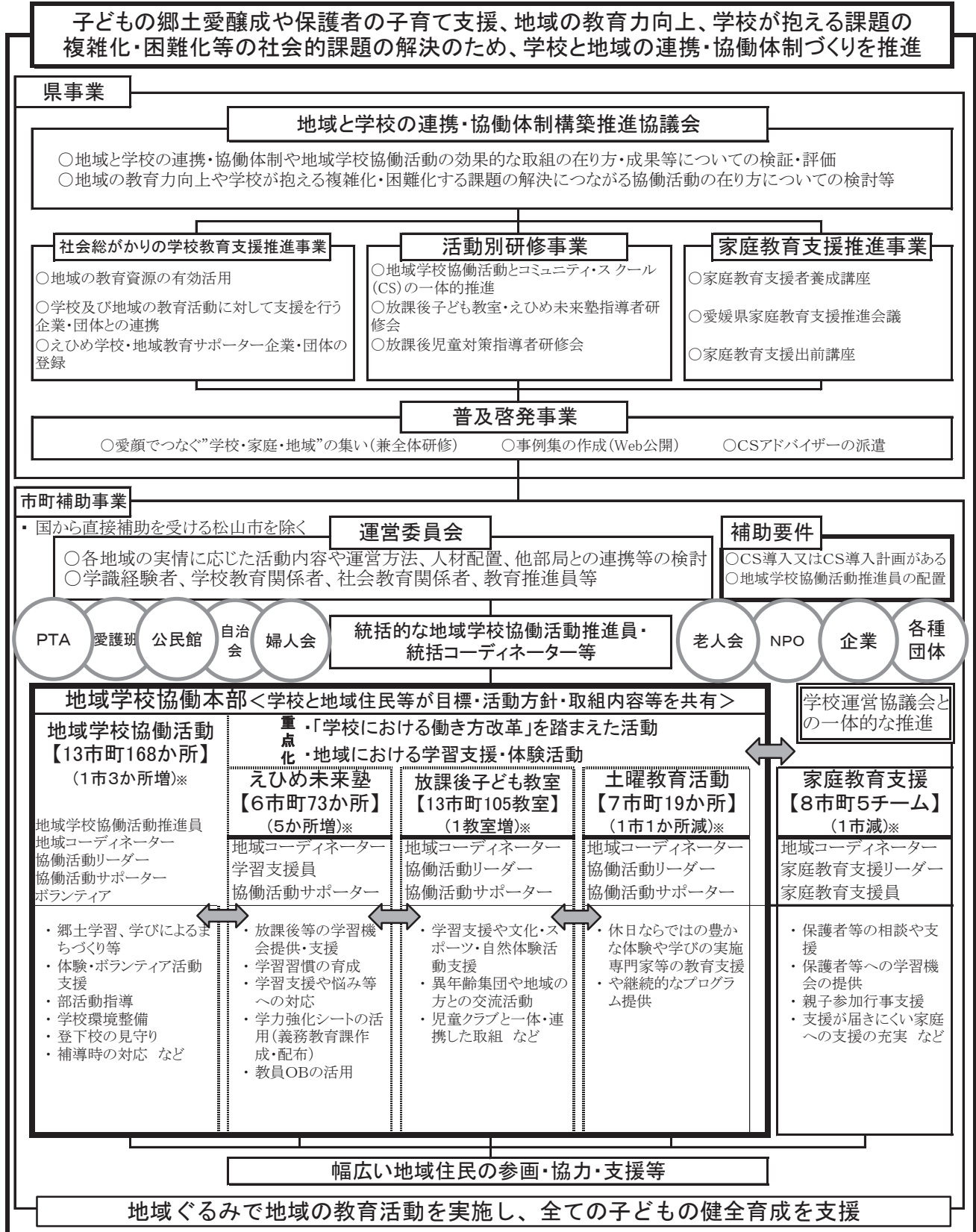
○ 主な活動内容

家庭教育支援チームによる保護者等への相談や支援、保護者等への学習機会の提供(トクわくの実施)、親子参加行事支援、支援が届きにくい家庭への支援の充実 など

令和7年度地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業構造

少子高齢化や地域の教育力の低下、学校が抱える課題に複雑化・困難化等が懸念される中、地域の幅広い方々の参画を得て、子どもの学習・体験活動、家庭教育等の支援を通じ、郷土愛の醸成や保護者の子育てを支援、地域で子どもを育てることができるよう、学校・家庭・地域が連携・協働して教育に取り組む体制づくりを一層強化する必要がある。

そこで、各地域と学校が、子どもの健全育成について目標やビジョンを共有することによって、地域住民等の参画による「地域学校協働活動」「えひめ未来塾」「放課後子ども教室」「土曜教育活動」「家庭教育支援」の効果的な取組を総合的に実施するとともに、県においても、保護者・教職員・地域住民及び企業関係者等が連携・協働して子どもたちを支える教育環境を整備するため、研修や普及啓発活動等に取り組む。



※実施市町及び箇所数(8年3月時点)は、中核市である松山市を除く。

2	地域と学校の連携・協働体制構築推進協議会
---	----------------------

1 概要

(1) 目的

地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業を、円滑かつ効果的に実施するとともに、地域の教育支援に関する施策の在り方や成果等について検証・評価等を行う。

(2) 委員構成

学識経験者、PTA団体関係者、教員等団体関係者、児童福祉関係者 等

(3) 業務

- 地域学校協働活動及びえひめ未来塾、土曜教育活動、家庭教育支援の在り方・成果についての検証・評価
- 地域と学校の連携・協働体制構築の検討に関すること 等

2 令和7年度委員名簿

役職名	氏名	職名
会長	山本 浅幸	愛媛大学大学院教育学研究科特定教授
副会長	斎藤 宣昭	愛媛県PTA連合会副会長
委員	山田 誠	愛媛大学教育学部准教授
	川崎美代子	愛媛県連合婦人会副会長
	藤原 泰幸	愛媛県小中学校長会副会長
	樋口 志保	愛媛県学童保育連絡協議会会長
	緒方 義彦	愛媛県市町教育委員会連合会会長
	岩本 透	愛媛県経済同友会幹事
	福本 政代	大洲市教育委員会地域コーディネーター
	酒井 あい	公募委員

3 会議の主な内容

回数・実施日	会場	主な協議内容
第1回 R7.8.4(月)	にぎたつ会館	○事業の概要及び現状、家庭教育支援 ○地域と学校の連携・協働体制の構築について
第2回 R8.3.11(水)	エスポワール 愛媛文教会館	○令和7年度事業実施状況報告 ○令和8年度事業実施予定説明

3	活動別研修事業
---	---------

1 目的

「地域学校協働活動」「えひめ未来塾」「放課後子ども教室」「土曜教育活動」「家庭教育支援」に係るスタッフ及び市町教育委員会・学校等の関係者に対し、事例研究や講演等を通して研修を実施し、事業の趣旨・内容について理解を深めるとともに、効果的な取組の在り方について研究を行い、各地域の実践に生かす。

2 研修一覧

研修会名 「研修会テーマ」	実施日 会 場	参加 人数	主な研修内容
放課後子ども教室・えひめ未来塾 指導者研修会 「地域でつくろう！ 子どもたちが安心して できる居場所を！！」	R7.5.27 (火) 愛媛県生涯学習センター	57人	○事業説明 ○講演 「愛着の問題を抱える子どもの背景と支援」 NPO 法人チャイルド・オレンジ・ネットワーク 副代表/公認心理師 三好 和美 氏 ○講演・実技講習 【学習支援部会】 「子どもと大人の笑顔を増やす関わり方」 NPO 法人 歩/公認心理師 宇都宮 千夏 氏 【体験活動部会】 「まなぶ・あそぶ・つながる放課後ミニアート 体験」 TAMANO ART CLASS 上田 球乃 氏
放課後児童対策指導者研修会	R7.12.14 (日) にぎたつ会館	76人	○行政説明 ○講演 「放課後児童クラブ×放課後子ども教室×地域の 連携～子どもたちにとって安心して豊かな『つな がり』の場をつくるために～」 一般社団法人キッズコーチ協会 寺坂 尉弘 氏 ○事例発表 拝志放課後わくわく教室（東温市） 高浜児童クラブ（松山市） ○質疑応答 ○グループワーク
「地域学校協働活動」と「コミュニティ・スクール」の一体的な取組推進研修会 「地域と学校のつながるカタチ～社会に開かれた教育課程～」	R8.1.23 (金) 愛媛県生涯学習センター	60人	○事業説明 ○鼎談 愛媛県CSアドバイザー 西村 久仁夫 氏 遠藤 敏朗 氏 横井 敏行 氏 ○グループワーク ○助言 愛媛県CSアドバイザー 西村 久仁夫 氏

研修会名 「研修会テーマ」	実施日 会場	参加 人数	主な研修内容
地域学校協働活動 推進員等研修会 「地域と学校のつな がるカタチ～地域学 校協働活動推進員の 役割と学校の連携～」	R8.2.1 (日) 愛媛県生 涯学習セ ンター	59人	○講話1「コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動のいろは」 講師 愛媛県CSアドバイザー 遠藤 敏朗 氏 ○講話2「地域学校協働活動推進員の果たす役割と展望」 講師 愛媛県CSアドバイザー 西村 久仁夫 氏 ○グループワーク ○総括 愛媛県CSアドバイザー 横井 敏行 氏

3 研修の概要

放課後子ども教室・えひめ未来塾指導者研修会

(1) テーマ

地域でつくろう！子どもたちが安心できる居場所を！！

(2) 概要

- 日 時 令和7年5月27日(火) 9:25～12:20
- 会 場 愛媛県生涯学習センター
- 参加者 57人

放課後子ども教室及びえひめ未来塾及び土曜教育活動の指導者、子どもの体験活動や学習支援に携わる方、「地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業」関係スタッフ、地域教育プロデューサー、地域教育協力隊、市町教育委員会関係職員、市町担当者、各教育事務所担当者 等

(3) 内容

① 講演

演題 「愛着の問題を抱える子どもの背景と支援」

講師 NPO 法人チャイルド・オレンジ・ネットワーク
副代表/公認心理師 三好 和美 氏



講演では、愛着形成の過程や愛着の問題を抱える子どもや保護者への関わり方や支援等を具体的に御教示いただいた。発達段階によって愛着の支援の仕方が異なること、保護者に支援者の成功体験を丁寧に伝え続けることなど、具体的なアプローチの仕方を学ぶことができた。

参考になったこと・感想・意見

- 講師の口調がとても優しく聞きやすかった。「ホッとできる場所」、「ホッとできる人がいる」、「安心できる場所がある」ような教室にしたい。
- 愛着形成についての知識がなかったので、大変勉強になった。子どもへの対応など具体的なお話が聞けて良かった。地域コーディネーターと共有して、教室運営に役立てたい。
- 愛着障がいという言葉が初めて知った。発達障がいと似ているが、子どもへの対処法が違うことが勉強になった。

②講話・実技講習等

【学習支援部会】（講話・ワークショップ）

演題 「子どもと大人の笑顔を増やす関わり方」

講師 NPO 法人 歩/公認心理師

宇都宮 千夏 氏

学習支援部会では、ペアレント・トレーニングや応用行動分析の講話や具体的な事例に基づいたワークショップを通して、子どもたちの行動の背景を知り、子どもたち一人一人の気持ちに寄り添いながら関わることの大切さなどについて教えていただいた。また、子どもの問題行動を減らしたり、望ましい行動を増やしたりするための効果的な働き掛けについて学ぶことができた。



参考になったこと・感想・意見

- 自分自身に余裕がなくなり、子どもたちの悪いところにばかり注目してしまっていた。どんなときも笑顔でがんばろうと思った。
- 子どもの困った行動の背景には、困り感がある。それをどう解決するか、折り合いをつけるかが大事だと思った。一人一人の気持ちに寄り添いながら、お互いが機嫌よく楽しく過ごすことのできる場にしたい。
- 参加型の部会だったので、参加者と意見交換をしながら楽しく学習することができた。ワークショップを通してふだんの取組に自信が持てた。

【体験活動部会】（実技講習）

演題 「まなぶ・あそぶ・つながる放課後ミニアート体験」

講師 TAMANO ART CLASS 上田 球乃 氏

体験活動部会では、子どもたちの豊かな体験や学びにつながる様々な工作のアイデアを御教示いただいた。ハンガーフェイスやプラバン虫バッジづくりでは、ワイヤーハンガーやモール、プラバンなど、身近な素材で簡単に制作でき、参加者にとって今後の活動に生かすことのできる研修になった。



参考になったこと・感想・意見

- 自分で作ることの楽しさがとても分かった。特に、昆虫のプラバンは良かったので、教室で参考にしたい。
- 子どもたちに、身近にある物を使って自由に制作をする場を提供したいと思った。制作が好きなので、もっと自由な発想が自分にできたらいいなと感じました。
- 実技が中心で楽しく参加することができた。講師の配信している動画を参考にしながら子どもたちと一緒に制作に挑戦してみたい。

(4) まとめ・今後に向けて

「子どもたちが安心できる居場所を作りたい！」という声が、放課後子ども教室及びえひめ未来塾の指導者やスタッフから多く寄せられていたことから、今年度のテーマを「地域でつくろう！子どもたちが安心できる居場所を！！」とし、

主に「子どもや保護者への関わり方」や「子どもたちが夢中になる体験活動」に視点を当てて実施した。参加者アンケートの肯定的な評価は、100%であった。

今後は、各市町の活動の実態把握に努め、事例発表等も取り入れた研修内容を検討するなど、より実践的な研修会につなげるとともに、放課後子ども教室及びえひめ未来塾の拡充を図っていきたい。

放課後児童対策指導者研修会

(1) 概要

- 日 時 令和7年12月14日（日） 12:30～16:30
- 場 所 にぎたつ会館
- 参加者 76人

放課後子ども教室関係者（地域コーディネーター及び協働活動支援員等）、放課後児童クラブ職員（放課後児童支援員及び補助員等）、行政担当者 等

(2) 内容

① 講演

演題 「放課後児童クラブ×放課後子ども教室×地域の連携～子どもたちにとって安心して豊かな『つながり』の場をつくるために～」

講師 一般社団法人キッズコーチ協会

寺坂 尉弘 氏

放課後子ども教室と放課後児童クラブ・地域の連携に関する具体的な事例を紹介していただくとともに、連携する上で大切なポイントや段階的な連携の在り方に関する内容についての講演であった。

放課後児童クラブの運営に携わった講師自身の経験から、気軽にできる交流や子どもの安全性が確保しやすい活動から連携を始めることなどを学ぶことができた。



参考になったこと・感想・意見

- 「(子どもにとって) 放課後は御褒美の時間」という言葉が心に残った。放課後児童クラブや地域との連携によって、子どもの自己決定の機会が増えることに気付かされた。
- 自分自身が子どもにとっての居場所になれるようがんばりたい。今日お話の中でできそうな活動をチョイスして、楽しい教室にしていきたい。
- 校内に放課後児童クラブと放課後子ども教室があるが、各々が活動しており、連携はとれていない。まずは、「一緒に遊ぶ」など、少しずつ関わっていきたい。

② 事例発表・グループワーク等

- 放課後子ども教室
 拝志放課後わくわく教室（東温市）
- 放課後児童クラブ
 高浜児童クラブ（松山市）



県内の放課後子ども教室と放課後児童クラブの事例や講演の内容をもとに、「今後連携し、実施してみたいことは？」というテーマでグループワークを行った。参加者同士が日々の実践や課題について協議を行うことで、今後の指導や運営に関する情報を共有することができた。

参考になったこと・感想・意見

- 地域の人材バンクを有効に活用したり、SNS で情報発信したりするなど、大変参考になった。
- 体育館や運動場が使えたり、おやつを選べたりするなど、子どもが楽しく活動できるような工夫がたくさんあった。
- 地域との連携を考えてみようと思う。情報提供のあった「えひめ学校・地域教育サポーター」を今後活用したい。

(3) まとめ・今後に向けて

放課後子ども教室及び放課後児童クラブ指導員等が、相互の連携を図るための具体的な事例やスキルを学び、指導者としての資質を高めることを目的として開催した本研修会における参加者アンケートの肯定的な評価は 100%であった。

国は、「放課後児童対策パッケージ 2026」として、普通教室のタイムシェアを含めた学校施設等の積極的な活用の推進及び放課後児童クラブと放課後子ども教室のより一層の連携促進等に取り組むこととしている。

今後も引き続き、子どもを健やかに育む体制づくりを進めるため、県子育て支援課と連携を図りながら、放課後児童クラブと放課後子ども教室との校内交流型・連携型の促進に努めていきたい。

「地域学校協働活動」と「コミュニティ・スクール」の一体的な取組推進研修会

(1) テーマ

地域と学校のつながるカタチ ～社会に開かれた教育課程～

(2) 概要

- 日 時 令和 8 年 1 月 23 日（金） 13：30～16：30
- 会 場 愛媛県生涯学習センター
- 参加者 60 人

教職員、地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業関係者（地域学校協働活動推進員等）、市町教育委員会職員 等

(3) 内容

① 鼎談

テーマ 「地域住民の参画による授業改善の可能性」

鼎談者 県CSアドバイザー 西村 久仁夫 氏
遠藤 敏朗 氏
横井 敏行 氏



地域住民の参加による学校運営・教育事業の改善をテーマに、「社会に開かれた教育課程」とコミュニティ・スクールの仕組みについて、愛媛県CSアドバイザー 3 人による鼎談を行った。

社会に開かれた教育課程の理念や目的、地域と学校の連携がもたらす効果を改めて確認するとともに、防災教育やキャリア教育等の探究学習が、いかに住民参画と相性がよいか、また、こうした活動の中核を担う地域学校協働活動推進員（コーディネーター）の重要性について理解を深めることができた。

参考になったこと・感想・意見

- 実践事例を踏まえ、様々なアドバイスが非常に参考になった。
- 社会に開かれた教育課程について学び直すことができた。学校運営協議会委員が、もっと学校に関わってもかまわないののだと思い、話し合いの場を増やしたい。
- 「子どもたちの自力解決」「教えられる側の脱却」というフレーズが印象的で、子どもたちからの地域への還元力も考えていきたい。また、学校づくり、地域づくりを共にする大切さを伝えられるよう、行政からもうまく伴走していきたい。

②グループワーク

テーマ 今までの活動にプラスα地域と学校が
つながるカタチを考えよう

指導助言 県CSアドバイザー

西村 久仁夫 氏

各グループで「体験活動づくり」「防災教育づくり」「キャリア教育づくり」「部活動の地域移行」

から、関心の高い議題を選択し、地域住民の参画による授業改善の可能性について協議を行った。

教員、地域学校協働活動推進員、行政職員など様々な立場での意見交流が地域と学校の相互理解につながり、具体的かつ現実的な授業改善の構想に取り組むことができた。



参考になったこと・感想・意見

- 学校運営協議会委員、学校、地域、社会教育、行政と、それぞれの立場で、とてもよい議論ができた。また、学校運営協議会での合意形成の過程も学ぶことができて、有意義な研修会だった。
- 地域としては、教員の共感を得ながら、連携・協働を進めたいと考えている。教育課程の編成や授業の立案の方法等、教員の動きを知ることができ、参考になった。

(4) まとめ・今後に向けて

参加者のアンケート結果において、肯定的な評価が100%と「地域学校協働活動」と「コミュニティ・スクール」の一体的な取組推進はおおむね図れたと考えている。県内のコミュニティ・スクールや地域学校協働本部が年々増加していることも踏まえ、引き続き、「社会に開かれた教育課程の実現」に向け、地域と学校の連携・協働体制構築の構築が図られるよう、本研修会を実施し、好事例の横展開や関係者の資質向上に努めてまいりたい。

研修会についての意見、要望等

- 自校では「学校の報告」を主にしていて、せっかくCSを導入しているのにもったいない。運営協議会委員には高齢の方が多く、「例年どおり」となっているため、児童や保護者の年代くらいの若手の人材も参加し、あらゆる年代のいろんな立場の方で話し合える機会となるよう、取り組んでいきたい。
- 熟議の進め方をまた指導いただけたらありがたい。学校と地域の連携における課題として「時間がかかる」「内容の精選をしないとやることや依頼することが多すぎる」などがある。互いに納得できて連携が進む話合いや議題の決め方など紹介してほしい。

地域学校協働活動推進員等研修会

(1) 概要

- 日 時 令和8年2月1日(日) 13:00~16:00
- 場 所 愛媛県生涯学習センター
- 参加者 59人

地域学校協働活動推進員及び地域コーディネーター、教職員、市町教育委員会職員、地域学校協働活動推進員の活動に関心のある人 等

(2) 内容

①講話 「コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動のいろは」

講師 県CSアドバイザー 遠藤 敏朗 氏

コミュニティ・スクールが必要される時代背景や地域学校協働活動の目的等、基礎的な知識について御教示いただいた。



学校運営協議会は単なる意見聴取ではなく「共に運営する」仕組みであることや地域学校協働活動は、学校を拠点に地域全体で子どもを育てる活動であり、目的を共有した多様な関わりが、子どもに安心感と成長の機会を与え、学校を核とした地域づくりに資する取組になることなどを学ぶことができた。

②講話 「地域学校協働活動推進の果たす役割と展望」

講師 県CSアドバイザー 西村 久仁夫 氏

現状では、推進員の役割が「学校の手伝い」にとどまり、地域づくりとの関係や制度化の意義が十分に共有されていない課題がある。本来の目的は「学校を核とした地域づくり」であり、推進員はその中核として、学校運営の改善と地域活性化を結び付ける存在であることを再確認することができた。地域学校協働活動の先にある、子どもたちが故郷を愛し、未来を支える人材となることにつながる将来の展望を示唆していただき、これからの活動への活力をいただいた。

講話についての意見、要望等

- CSの成り立ちや地域学校協働活動の意義について、それぞれについての解説があり、再確認したこと、新しく学んだことがあった。
- 「子どもが本気になっているのに大人が本気になっていないのでは」という言葉が、とても心に響いた。
- 改めて、目指す姿を確認することができた。

③グループワーク

テーマ 明日からの地域学校協働活動に向けて

総括 県CSアドバイザー 横井 敏行 氏

「広がれ！地域のボランティア人材ネットワーク」をトークテーマに、課題や悩み、実践してきたことなどを情報交換し、地域学校協働活動推進員同士のネットワーク作りを行った。

地域ボランティアの確保には、学校や地域の相互理解や地域学校協働活動推進員の周知が重要であるとともに、顔の見える関係を築き、小さな成功体験を積み重ねることが、継続的な協力につながること等、横井アドバイザーから助言があり、推進の資質向上も図ることができた。

グループワークについての意見、要望等

- 学校に関わる地域の方の視線は、目からうろこが落ちる思いだった。地域だけではなく、学校の先生こそ意識改革がまだまだ必要なのだと感じた。
- 地域学校協働活動推進員同士のつながりができて、相談しやすくなった。
- 子どもも大人も幸せになれるよう、人と人とをつないでいきたい。

(4) まとめ・今後に向けて

初めて地域学校協働活動推進員を対象にした研修会を開催したが、参加者の感想からニーズのある研修会だと感じた。対象を絞ることで、内容を精選して学ぶことができたのではないかと感じている。

一方で、学校との関係づくりや地域学校協働活動についての情報発信など地域学校協働活動推進員が感じる悩みは多い。地域学校協働活動推進員同士のつながりをつくりつつ、地域学校協働活動推進員の資質向上や課題解決につながる研修の場づくりに努めたい。

研修会についての意見、要望等

- 孤軍奮闘している地域学校協働活動推進員も多い。学校に対しての研修にも期待したい。
- 地域学校協働活動推進員の役割の重要性はよく分かったが、推進員の負担が大きくなりすぎないようにしたい。

1 「愛顔でつなぐ“学校・家庭・地域”の集い」（兼合同研修会）

(1) 目的

県内の幼稚園から高等学校までの保護者・教師・地域住民・福祉関係者・警察関係者・企業等の子どもたちに関わる大人が一堂に会して、研修や情報交換を行い、社会総がかりで子どもたちを育むための方向性を探る。

(2) 概要

- 日時 令和7年8月7日（木）12：30～16：30
- 場所 愛媛県生涯学習センター・えひめ青少年ふれあいセンター
- 参加者 314人

(3) 内容

① 講演

テーマ 「すべての子どもに体験の機会を
～体験格差の課題と解消に向けた取組～」

講師 公益社団法人チャンス・フォー・チルドレン

代表理事 今井 悠介 氏

今年度は、今井悠介氏を迎え、「すべての子どもに体験の機会を～体験格差の課題と解消に向けた取組～」のテーマで講演いただいた。

環境によって子どもの学びや人生の可能性が左右されてしまう「体験格差」の問題について、子ども自身が「何を学び、何を体験するか」を選択できる「スタディクーポン」事業やコーディネーターが子どもの体験活動と地域をつなぐ「ハロカル奨学金」事業などの問題解消に向けた自身の取組や、環境に関わらず子どもが学びや体験にアクセスできる社会の仕組みづくりの必要性などを熱く語られた。

参加者は、体験活動が子どもに与える効果と「体験格差」が生じている現状を再認識するとともに、地域社会の一員として子どもたちのために何ができるかを考えるよい機会となった。参加者アンケートの肯定的評価は、98.9%であった。



参加者の感想（講演）

- 親の経済状況の違いによって、子ども達の経験値に差が生じてしまう現状について、国や自治体・NPO法人などの様々な機関が連携して解決しようとしていることに感心するとともに、私も地域社会の一人として何かできることはないかと湧き上がる思いを感じた。
- 子どもたちが選択できるような体制づくりを目指すことはとても大事だと思った。何事も体験しないと、その後の発想も生まれないと改めて気づくことができた。

②分科会等

分科会等は、「地域学校協働活動」「子どもの居場所づくり」「子育て・家庭教育支援」「地域教育の担い手づくり」「えひめ学校・地域教育サポーターの活用」という五つの今日的教育課題に基づいたテーマを設定し、事例発表、模擬出前授業及び質疑・応答、全体協議、グループ協議等を行った。事例発表等をもとに、充実した情報交換ができた。参加者アンケートの肯定的評価は、98.3%であった。



分科会	テーマ・事例発表
第1分科会	<p>【地域学校協働活動】 幅広い地域住民の参画により、学校と地域が連携して子どもたちを育てる体制づくりをどのように進めるか</p> <p>〈発表1〉 玉津小学校学校運営協議会 玉津公民館長 一色 良 氏 〈発表2〉 愛媛県立松山盲学校 教諭 沖田 栄江 氏</p>
第2分科会	<p>【子どもの居場所づくり】 全ての子ども・若者が安心して過ごせる地域の居場所づくりをどのように進めるか</p> <p>〈発表1〉 トーキョーコーヒー四国中央 代表 青木 千穂 氏 〈発表2〉 久米わくわくチャレンジサタデー 代表 高橋ひなの 氏 副代表 品川 航汰 氏、杉野 美音 氏、藤村 小桜 氏</p>
第3分科会	<p>【子育て・家庭教育支援】 保護者と子どもを支え育む子育て・家庭教育支援の体制づくりをどのように進めるか</p> <p>〈発表1〉 NPO法人ぼちまる 代表 出山 義洋 氏 〈発表2〉 大洲子育てサポート“そよ風” 家庭教育支援員 祖母井規子 氏 家庭教育支援員 上杉 美保 氏</p>
第4分科会	<p>【地域教育の担い手づくり】 子どもと地域をつなぎ、地域の学びを豊かにする人材の育成をどのように進めるか</p> <p>〈発表1〉 国立大洲青少年交流の家 主任企画指導専門職 岡本 和也 氏 〈発表2〉 地域教育プロデューサー・鬼北町公営塾 講師 浅越 聖光 氏</p>
模擬出前授業	<p>【えひめ学校・地域教育サポーターの活用】 えひめ学校・地域教育サポーターを活用して、子どもたちの豊かな学びや体験活動の充実を図ろう</p> <p>〈模擬出前授業企業〉 社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会 〈ブース説明企業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・株式会社大石工作所 … ものづくりの大切さ、SDGs の取組 ・西染工株式会社 … 染色などの専門的な技術 ・株式会社愛媛FC … プロスポーツに携わる仕事 ・仙味エキス株式会社 … 食品調味料、加工食品の最新技術 ・朝日共販株式会社 … 身近な食と自然環境

参加者の感想（分科会）

- 学校発信ではいつかは疲弊してしまう。子どもたちのためにちょっとやってみようという地域発信のボランティアがとても大切なことに改めて気付いた。
- 感じたこと・思ったことを意見交換できたことで、自分の考えが深まり広がった。子どもの本当に望んでいることを探ったり提供したりしたい。大人が楽しむ余裕を少しずつ持てるようにしていきたい。
- わくチャレは、学生時代から自分の居場所をつくられることに感銘を受けた。サークルなどもよいが、同じ志を持った者同士による居場所は最高である。
- 家と職場の往復では知り得ない知識や情報を得ることができた。子どもや子育て世帯の支援はありがたいが、事業を継続できるような正当な報酬を得られる仕組みがあれば良いと思う。
- 学生ボランティアを育成することで、人手の解決、学生の体験、子どもと若い世代の交流ができて、いいつながりができている。

(3) まとめ・今後に向けて

今年度は、昨年度の県公式SNSに加え、県スマート行政推進課と協働したインスタグラムの活用、県内の大学に掲示板への掲載を依頼する等、本集いの開催を広く周知したことで、保護者や教職員、教育支援関係者等の地域の多様な年齢や立場の方々に参加していただいた。分科会では、学校及び企業等の多様な団体に事例発表をしていただくとともに、社会総がかりで子どもを育む体制づくりについて協議し、多くの参加者から肯定的評価を得ることができた。

今後も、今年度のアンケートや反省を生かし、愛媛の子どもたちの健やかな育ちのために、学校・家庭・地域の連携・協働について社会全体で考え、学び、深めていくことのできる研修を実施していきたい。

参加者からの提言

- 希薄になる地域社会の中で、子どもに「最近どんな」「元気か」と声をかけてくれる大人を増やしていきたい。またそのような大人と子どもをつなげられる親でありたい。
- 子どもにかかわることに地域がかかわっていく方法は、いろいろな角度から考えないといけない。学校から、地域からということではなく、子どものためにといいことで検討していきたい。
- 自分の困りごと・やりたいことを、声に出していいと思えることが大事だと思う。子どもたちの声を押し込めたり流したりせず、大切にしていくことで、思いを口に出せる大人に育てていきたい。
- 子どもたちの未来に対して大人は責任を持つ自覚が求められていると思う。しかし、決して過保護になるのではなく、羅針盤なき時代の航海を求められる子どもたちが自ら考え、行動していく土台を固めていくために必要な学びや体験の場を確保していくことが求められている。“たのしい”というのは心地よさだけではなく、困難や犠牲を超えた先に獲得できるものでもあることを伝えることが大人の責任ではないかと感じた。

2 事例集の作成・公開

県事業及び「地域学校協働活動」「えひめ未来塾」「放課後子ども教室」「土曜教育活動」「家庭教育支援」の取組について、実施市町の優れた実践事例を県ホームページで公開する。

3 県CSアドバイザーの派遣

(1) 内容

市町又は県立学校からの要請に応じ、地域学校協働活動又はコミュニティ・スクールについて、知識と情報が豊富であり、実践に携わった実績を有する者（以下「県CSアドバイザー」という。）を派遣することにより、県内全ての公立学校におけるコミュニティ・スクールの導入及びその機能の充実を図るとともに、地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な取組の推進を図る。

(2) 県CSアドバイザー

一般社団法人コミスクえひめ 代表理事 西村 久仁夫 氏
副代表理事 遠藤 敏朗 氏
理事 横井 敏行 氏

(3) 派遣内容

	日時	会場等	業務内容
1	R 7. 7. 7 (月)	東温市立川内 中学校	令和7年度川内中学校第2回学校運営協議会における指導助言
2	R 7. 8. 4 (月)	伊予市役所	伊予市推進員協議会における指導助言
3	R 7. 8. 20 (水)	砥部町中央公 民館	令和7年度砥部町コミュニティ・スクール研修会における指導助言
4	R 7. 8. 22 (金)	中予地方局	第1回ともに高めるコミスク学習会
5	R 7. 8. 26 (火)	せとうち交流 館	令和7年度上島町コミュニティ・スクール研修会における指導助言
6	R 7. 9. 30 (火)	オンライン (Zoom)	令和7年度南予地区 地域学校協働活動推進員等 情報交換会
7	R 8. 1. 7 (水)	大洲市役所	令和7年度大洲市コミュニティ・スクールふれあ い懇談会における指導助言

5	家庭教育支援推進事業
---	------------

1 目的

全ての保護者が安心して家庭教育を行うことができるよう、地域人材の養成、家庭教育支援チームを中心とした連携の仕組みづくり、身近な地域への情報提供や相談対応等の支援活動を通して、地域全体で家庭教育を支える体制づくりを推進する。

2 事業の概要

愛媛県家庭教育支援推進会議

(1) 概要

①目的

家庭教育支援事業を円滑かつ効果的に実施するとともに、地域の家庭教育支援に関する施策の在り方や取組等に関する検討を行う。

②委員構成

学識経験者、家庭教育支援関係者、社会教育関係者、保健福祉関係者

③検討事項

- 地域全体で家庭教育を支える体制づくりの推進に向けた施策の在り方や取組等についての検証
- 家庭教育支援チームと保健福祉部局等との連携に関すること 等

(2) 令和7年度委員名簿

役職名	氏名	職名
会 長	友 川 礼	松山東雲女子大学准教授
副会長	大 西 広 志	愛媛県PTA連合会副会長
委 員	西 川 重 子	伊予市家庭教育支援チーム 伊予市家庭教育・子育てサポートグループ リーダー
	廣 瀬 孝 子	宇和島市家庭教育支援チーム リーダー
	藤 原 郁 仁	大洲市家庭教育支援チーム 大洲子育てサポート“そよ風” 代表
	水 谷 伴 美	久万高原町家庭教育支援チーム 久万高原 Happy サポート チーム員
	細 川 忍	西予市家庭教育支援チーム せいよ家庭教育・子育て応援グループ リーダー
	敷 村 一 元	えひめこどもの城 園長
	喜 安 恒 賀	愛媛県社会福祉協議会 地域福祉部長

(3) 内容

①開催日時

令和7年10月21日(火)
午前10時から午前11時30分まで

②会場

エスポワール愛媛文教会館

③主な協議内容

- 県内の状況、事業の概要
- 家庭教育支援チームと保健福祉部局等との連携について



家庭教育支援者養成講座

(1) 目的

家庭教育支援に関する最新の情報提供や「トクわく」のワークショップを進行するために必要なスキルの習得を目的とした講座を実施し、子育ての悩みや不安を気軽に話し合える体制や人材養成を図る。

(2) テーマ

「話して！聞いて！つながろう！～かかわりから広がる家庭教育支援～」

(3) 概要

昨年度に引き続き、オンデマンド配信と対面による全2回の講座を実施した。第1回講座では、YouTubeによる限定公開で動画配信を行い、視聴回数は292回であった。(令和6年度視聴回数：504回)第2回講座では、東・中・南予の3会場で開催し、東予32人、中予49人、南予25人の計106人の参加があった。全2回の講座の修了者81人には、修了証を配付した。(6年度修了者：81人)

また、希望者には、「えひめの家庭教育支援メールマガジン」を配信し、子育てや家庭教育支援に関する情報提供を行った。

(4) 内容

①第1回：「これからの家庭教育支援」(オンデマンド配信)

地域全体で子育てをする上で大切なことや子育て世代が地域活動に参加するためのアプローチの仕方等の講話を通して、子育てや家庭教育支援に関する基礎的な知識を習得する。

- 講義1 「1人の子どもを育てるには、街中の人たちの協力が必要です！」

講師 中尾 茂樹 氏

(愛媛大学大学院教育学研究科特定教授)

《講義内容》

今、地域のコミュニティの希薄化が指摘されている中、社会全体で協働しながら人を育てる「地域教育の推進」がこれからの家庭・学校・地域には欠かせない。地域全体が、相手の「思い」に関心を寄せ、その思いを尊重しながら関わることで、関係性が良くなるとともに、良い関係を築き、困ったときに「助けて」と言えるつながりを築きたい。

受講者の感想

- 『「分からないことを、分からない』と言える子育て』という言葉にとっても共感しました。子どものもつ興味関心や好奇心を大事にしたい。支援者としてスタート地点に立ったばかりの私も、大人だけ分からないことだらけです。地域や専門職の方など、詳しい人に助けていただきながら、「協働」を常に心がけて、支援方法を学んでいきたい。
- 現在は、地域のおばちゃんとして子どもたちに関わる活動をしている。先輩ママとして、子育てに悩んでいる保護者の心が軽くなるような言葉がけなど、ヒントをたくさんいただいた。

○講義2 「“保護者・子ども・地域が豊かになる”家庭教育支援とは」

講師 宮嶋 晴子 氏

(九州女子短期大学教授)

《講義内容》

保護者が居心地のよい人や場に出会い、主体的に子育てを学びながら子どもとともに成長することで、家庭教育支援の担い手への意識が生まれ、支援されていた立場から地域をつくる主体として活動する循環の仕組みをつくるのが重要である。子育て中の保護者が、地域活動に参加するための「はじめの一步」が踏み出せるような周りへのアプローチもしていきたい。

受講者の感想

- 保護者を支えることで、保護者が自信を取り戻し、本来の力を発揮できることが分かった。保護者の困り事をマイナスに捉えず解決する手立てこそ、豊かな親子の関係づくり、そして地域づくりにまでつながることを学んだ。悩んでいるときに一步を踏み出すことはとても難しいと思うので、子どものうちから人に頼ることの大切さ・良さや頼れる場所、頼り方などを伝えたい。
- 「地域参加・参画における学びの階段」を全て登ってきたのが、まさに自分で、私が講演の中で登場した8人の中の一人だったかと錯覚するほどでした。私は、その階段に自覚なく進んできたため、きちんとまとめられたスライドを見て、頭の中がクリアになった。今後私が何をしていくべきかが明確になった。

②第2回：「かかわりから広がる家庭教育支援」（対面）

家庭教育支援の取組に関する最新の情報を得るとともに、プログラムの演習を通して、ワークショップを進行するために必要なスキルを習得する。

開催日時	地区	会場	参加者数
9月10日(水) 13:00~16:00	東予	西条中央公民館	32人
9月17日(水) 13:00~16:00	南予	愛媛県南予地方局	25人
9月18日(木) 13:00~16:00	中予	エスポワール愛媛文教会館	49人

○事例発表

「こどもたちの未来（あした）を支えるためにわたしたちにできること
～親子と地域を結びつけるかけ橋に～」

発表者 NPO法人唐津市子育て支援情報センター
センター長・理事 山口 ひろみ 氏

《発表内容》

NPO法人唐津市子育て支援情報センターでは、利用者支援事業における相談・情報提供をはじめ、地域子育て支援拠点事業での親子の交流広場や講座を行っている。

「中学校子育てサロン事業」では、校内に設置したサロンで中学生と乳幼児親子がふれあう機会をつくり、生徒の愛着感情や命への慈しみを育むなど、子どもたちの健やかな成長と保護者の安心を支える様々な実践を紹介していただいた。



受講者の感想

- 当社でも子育て中のママたちが交流する場があるので、もっとこういう場を増やせるといいと思った。（企業関係者）
- 講演会でなく、自由参加の体験会、来たことない方が参加できるママの日など、保護者が気軽に参加しやすい場づくりや雰囲気づくりの情報が大変参考になった。（PTA関係者）
- 子育て中の親に寄り添いたいという思いから始まった活動が、親、こども、地域を支え育む活動に展開されていく様子がよく分かった。利用者目線で、参加者も支援者も元気になれる講座や体験会が実施されていること、その案内チラシをたくさんいただいたので、今後の自分たちの活動の参考になることばかりだった。（NPO法人関係者）

○「トクわく」プログラム演習 愛媛県教育委員会社会教育課職員

《演習内容》

「愛顔の子育てトーク&わーく応援プログラム集（通称：トクわく）」を活用したワークショップを行った。受講者は、「子育ては楽しいけれど…イライラしたときどうする？」のテーマでプログラムを体験するとともに、子育てをテーマにしたサイコロトークの進行役を経験することで、プログラムの進行に必要なスキルを習得することができた。



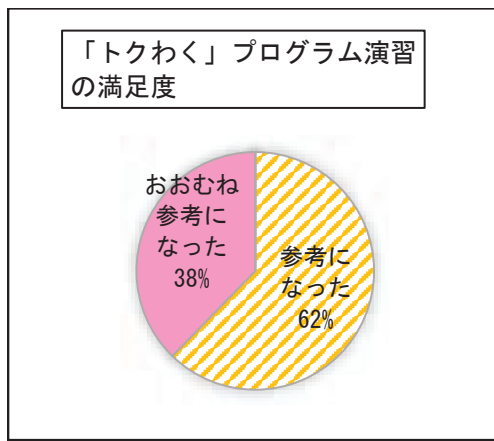
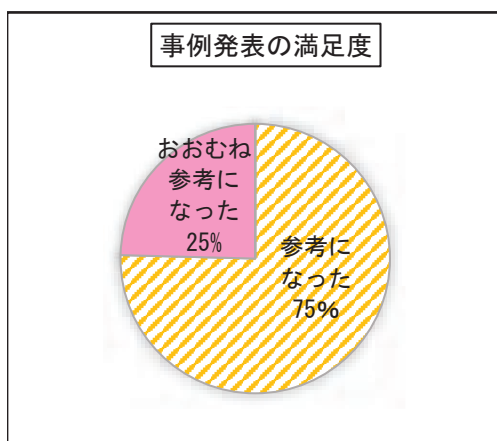
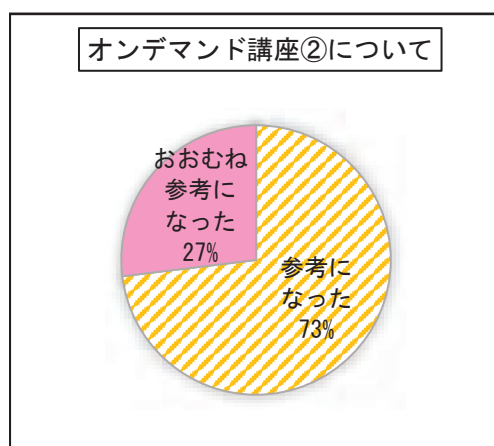
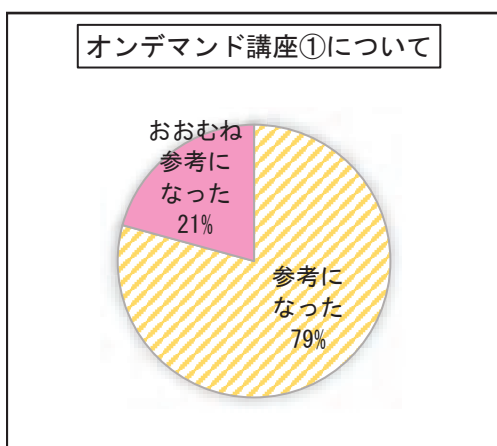
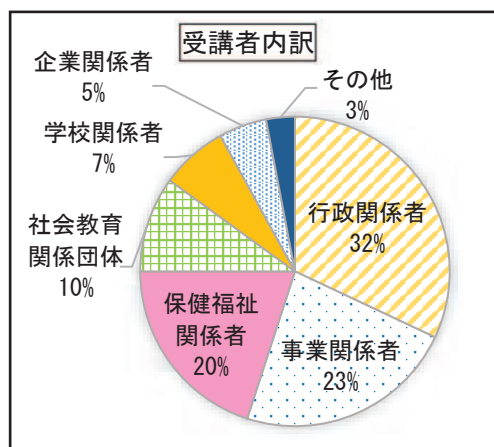
受講者の感想

- 家庭教育とは何かを教えないといけないのかと思っていましたが、グループメンバーがしっかりつながりあうためのツールであり、メンバー同士が育ちあう関係をつくることができるものだったと思った。活用できるところからやってみようという気にさせてもらった演習だった。(行政職員)
- 「トクわく」を実践させていただいており、良さは実感している。実践する場面に合うように少しずつアレンジしてするのが楽しい。(家庭教育支援チームスタッフ)

(5) アンケート結果について

行政関係者、事業関係者、保健福祉関係者、社会教育関係団体関係者等の106人が受講した。

講座の内容については、「おおむね参考になった」「参考になった」の肯定的評価がいずれも100%と高い評価を得ており、受講者のニーズを捉えた講座であったと考えられる。



家庭教育支援出前講座

(1) 「トクわく」の普及啓発

県社会教育課職員が、PTA、愛護班、子ども家庭センター等において計8回開催した。(R8.1.31現在)「トクわく」のねらいや活用事例を説明したり、プログラムを体験したりすることを通して、社会教育関係団体の研修会や地域子育て支援拠点の子育て講座等での活用を周知した。



愛南町PTA役員・校長合同研修会

受講者の感想

- ふだん聞けない子育てのことがたくさん聞けて楽しかった。これでいいのか悩むことが多い子育てなので、意見交換や交流ができて有意義な時間だった。他の家庭のルール作りや褒め方について聞いたことも良かった。自分のところだけだと、どうしても偏った考えになっていたと思うので参考になった。
(愛護班関係者)
- 「トクわく」は、全体の研修はもちろんのこと、単位PTAの小さなグループでの活用ができると思う。茶話会のような気軽さでできたらいいなと思った。
(PTA関係者)

(2) 市町等の要望に応じたモデルの提案

家庭教育支援チーム組織化や家庭教育講座の開設に関心のある市町や団体等の要望に応じた講座をアウトリーチで実施した。市町教育委員会、NPO法人や子育てサークルにおいて計3回開催し、家庭教育支援チームの登録方法や設置準備等の情報提供を行った。(R8.1.31現在)



家庭教育支援出前講座(四国中央市)

受講者の感想

- 支援者として、どのような活動をしていけばよいか理解することができた。県内の家庭教育支援チームの活動状況や市町の家庭教育支援の取組も知ることができ、大変参考になった。(行政職員)
- 家庭教育支援チームの組織づくりに向けた情報提供があり、大変ありがたかった。チーム名や代表者、チーム規約など、家庭教育支援チームの登録に向けた準備が進み、今後の支援活動が楽しみになってきた。(NPO法人関係者)
- 子育て支援や家庭教育支援の新たな取組を知り、今後の活動に役立つ情報を得ることができた。自団体で開催している親子イベントや子ども食堂において、保護者の不安や悩みを聞き取り、相談活動を行っていきたい。(子育てサークル関係者)

3 まとめ・今後に向けて

令和7年度は、新たに愛媛県家庭教育支援推進会議を開催し、県内の家庭教育支援チームの活性化や事業推進の方向性について、協議を行った。会議では、保護者が集まる場に出向いて支援を行うアウトリーチ型支援や相談活動の事例を共有したほか、家庭教育支援チームを中心とした連携の仕組みに関する意見交換を行うことができた。

昨年度に引き続き開催した家庭教育支援者養成講座では、県外の事例発表を通じて、教育委員会と保健福祉部局で連携した取組事例の発表を行い、出産期から子育て期までの幅広い保護者が安心して悩みや不安を相談できる支援の在り方を考える契機となった。また、希望する受講者には、えひめの家庭教育支援メールマガジンを配信し、支援活動に役立つ情報を継続的に提供することにより、県内の家庭教育支援活動の充実を図った。

家庭教育支援出前講座では、PTAや愛護班等で「トクわく」の普及啓発を継続的行った結果、その認知度が徐々に向上しており、保護者対象の研修会やイベントのほか、就学時健康診断等で「トクわく」の活用が進んでいる。また、市町等の要望に応じた講座では、家庭教育支援チームの結成を検討している市町やNPO団体等に対して、登録方法や設置に必要な規約や活動内容の検討等、今後の支援のための情報提供等を行った。現在、家庭教育支援チームの登録申請を進めている市町もあることから、引き続き市町やNPO団体等への伴走支援を継続しながら、「トクわく」の普及啓発を図るとともに、保護者と子どもを支え育む体制の構築を図っていきたい。

令和6・7年度の家庭教育支援者養成講座の受講者が200人を超える等、家庭教育支援の機運醸成が高まりつつある今、地域人材の養成を継続するとともに、発掘した人材やNPO団体、子育てサークル等と各市町担当者がつながる機会を設けることで、家庭教育支援チームの活性化につなげていきたい。

1 目的

学校及び地域における教育活動に対して支援を行う企業、団体等を、「えひめ学校・地域教育サポーター」として登録し、地域の教育資源を適切に活用できる教育支援体制を整備する。

2 事業概要

(1) 対象とする企業・団体等

以下のア～カの中で申請があった企業・団体等について、審査を行い決定する。

- ア 主に県内において事業を行う企業
- イ 県内NPO法人
- ウ 県内社会教育関係施設
- エ 県内社団法人又は財団法人
- オ 県内にある国の施設、県及び県内市町
- カ その他趣旨に合致すると判断される団体等

(2) 企業・団体等の役割

- ア 教育支援内容の明示
 - (ア) 学校及び地域に出向いての授業支援、学校及び地域行事等への活動支援
 - (イ) 会社・施設見学、会社・施設等における講座・学習会
 - (ウ) 学校及び地域における教育活動に資する情報提供・資料提供
 - (エ) その他子どもたちの教育上効果的かつ適切であると認められる支援
- イ 教育支援活動の実施（学校の求めに応じて、アの教育支援内容を提供）

(3) 教育委員会の役割

- ア 事業趣旨及び内容の周知、申請募集
- イ 申請企業・団体等の審査を経て、教育委員会のホームページに掲載
- ウ 学校への周知（県内幼稚園、小中学校、高等学校及び特別支援学校）
- エ 年度実績の取りまとめ

3 7年度の実績【登録 231 社・団体（R8.1月時点）】

(1) 新規登録企業・団体について

- Mai Yoga…ヨガ講座、ヨガ体験等
- 株式会社毎日新聞社 松山支局…新聞の読み方、学習新聞の作り方講座等
- 西予CATV株式会社…ダンスユニットの特別授業、プログラミング教室等
- 株式会社百十四銀行 新居浜支店…金融教育プログラム、マナー講座等
- 株式会社四国中央テレビ…放送業務紹介、若手社員による働き方講座等

(2) 活用状況（R7.11月時点）

- ア 学校数 52校
- イ 参加児童・生徒数 2,483人

II 市町補助事業

令和7年度 地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業 実施市町一覧

市町名		協働活動		えひめ未来塾		放課後子ども教室		土曜教育活動		家庭教育支援		
		地域学校協働活動		実施	箇所数	実施	箇所数	実施	箇所数	実施	箇所数	実施
1	四国中央市	○	25			○	8					
2	新居浜市	○	15			○	28	○	1			
3	西条市	○	35	○	31	○	25	○	11	○		
4	今治市					○	2					
5	上島町							○	1	○		
6	東温市	○	9	○	1	○	3	○	3			
7	伊予市	○	13			○	2	○	1	○	1	
8	砥部町	○	5							○		
9	久万高原町	○	3			○	3			○	1	
10	大洲市	○	13	○	1	○	3			○	1	
11	内子町	○	7	○	10	○	4					
12	伊方町	○	3					○	1			
13	西予市	○	4	○	7	○	4			○	1	
14	宇和島市	○	29	○	23	○	15			○	1	
15	鬼北町	○	7			○	3					
16	愛南町					○	5	○	1			
合 計		13	168	6	73	13	105	7	19	8	5	

各市町の活動の数値は、令和8年3月時点

地域学校協働活動



「地元の企業に学ぶ『しごトーク』」
(北吉井小学校地域学校協働本部【東温市】)

①【四国中央市】小富士小学校地域学校協働本部	32
②【新居浜市】多喜浜校区地域学校協働本部	33
③【西条市】田滝小学校地域学校協働本部	34
④【東温市】北吉井小学校地域学校協働本部	35
⑤【伊予市】伊予中学校区地域学校協働本部	36
⑥【砥部町】宮内小学校地域学校協働本部	37
⑦【久万高原町】父二峰小学校地域学校協働本部	38
⑧【大洲市】菅田小・肱東中学校地域学校協働本部	39
⑨【内子町】内子小学校地域学校協働本部	40
⑩【伊方町】瀬戸地域学校協働本部	41
⑪【西予市】宇和中学校地域学校協働本部	42
⑫【宇和島市】津島中学校地域学校協働本部	43
⑬【鬼北町】好藤小学校地域学校協働本部	44

小富士小学校地域学校協働本部【四国中央市】

～ふるさとを愛し、ともに生きる子どもを育てよう～

◆活動の目的・理念

- 様々な人との出会いを通して、児童の健全育成を推進する。
- 地域を知り、地域を愛し、地域とともに生きる児童の育成に努める。

	配置	属性	活動内容									
地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	1名	公民館主事	・学校・地域・公民館の年間行事との調整及び支援活動の計画 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整									
協働活動リーダーのべ人数	40人	公民館長、自治会長、防犯協会、民生児童委員、主任児童委員、婦人会、きしゃぼっぽ読み聞かせボランティア、交通安全協会小富士支部、PTA役員等										
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティア 調整	休み時間対 応	日々の校内 清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他	
のべ日数	233日	200日	15日	日	日	日	日	9日	2日	日	7日	
ボランティア のべ人数	1,852人	1,600人	15人	人	人	人	人	121人	9人	人	107人	
連携・協力団体・機関	学校運営協議会、小富士公民館、防犯協会小富士支部、読み聞かせボランティア「きしゃぼっぽ」、小富士小PTA、小富士っ子サポーター、土居高等学校											

取組の概要

<主な取組内容>

- 豊かな地域人材を活用した教育活動
 - ・読み聞かせ
 - ・しめ縄づくり
 - ・授業支援
- 心を豊かにする環境整備
 - ・PTA親子奉仕作業
 - ・ボランティアによる剪定作業
- 地域全体が見守る教育活動
 - ・登下校の見守り活動
 - ・交通安全教室
 - ・学校行事等の地域住民による参観
- ふるさとを愛する子どもを育む体験活動
 - ・ふるさとふれあいウォーキング
 - ・お祭り集会



(読み聞かせ)



(授業支援<家庭科>)



(授業支援<水生生物調査>)



(お祭り集会)

児童の感想

- ・地域の人とお話をしたり、たくさんの知恵を優しく教えてくれたりして、楽しかった。
- ・小富士地域は、お祭り集会、公民館祭、夏祭りなど、運動場で地域の人が集まる日があり、毎年楽しみにしている。これからも、参加していきたい。

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組> (<特色ある取組>)

● ふるさとふれあいウォーキング

ふるさと小富士の文化遺産や風景遺産を地域住民と巡る取組を始めて、4年目となった。校区内の3地区を順番に巡っている。この取組は、ふるさとに愛着を持つ児童の育成を図るとともに、児童と地域住民が共に活動することで、ふれあいの輪を広げ、互いの顔を知ることを通して、防災・減災や健全育成の一助となっている。



(地域の人と自己紹介)

事業を実施して

【成果】

- 平時から、学校運営協議会の方々が、学校行事や見守り活動に積極的に関わってくださり、児童は安心して学校生活を送ることができている。
- 学校を会場とした学校運営協議会や公民館主催のイベントに学校も積極的に協力することで、よい関係づくりができています。休日にも児童が積極的に参加し、様々な体験活動を行うことができています。

【課題】

- 地域の方に授業支援に入っていただくことで、地域の方にとっても喜んでいただいている。教員の働き方改革の観点からも、積極的に取り組んでいきたい。
- 少子化の今こそ、児童がふるさとを愛し、地域とのつながりを大切にしながら成長していけるように、今後も地域との連携を図っていきたい。

多喜浜校区地域学校協働本部【新居浜市】

～地域とともに学び、育ち、未来へつなごう～

◆活動の目的・理念

- 地域の人材・経験・文化を学校教育に生かし、学びを地域とともに作る。
- 子どもも大人もともに学び、支え合い、世代を超えた交流を通じて、人と人のつながりを育む。
- 多喜浜の歴史や伝統（塩田文化など）を継承し、ふるさとを大切に作る心を育てる。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置		属性		活動内容						
	1	名	公民館長		・学校・地域・公民館の年間行事との調整及び支援活動の計画 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整 ・広報・啓発活動（公民館報、HP、LINE）						
協働活動リーダーのべ人数	10	人	公民館職員、連合自治会、社会福祉協議会、郷土芸能保存会、老人クラブ連合会、多喜浜塩のまちづくり会議等								
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティア 調整	休み時間 対応	日々の校内 清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他
のべ日数	221 日	204 日	日	日	日	日	日	14 日	1 日	日	2 日
ボランティア のべ人数	1,696 人	1,428 人	人	人	人	人	人	191 人	45 人	人	32 人
連携・協力団体・機関	多喜浜公民館、多喜浜小学校PTA、多喜浜連合自治会、多喜浜老人クラブ連合会、社会福祉協議会多喜浜支部、多喜浜校区郷土芸能保存会、多喜浜塩のまちづくり会議										

取組の概要

<主な取組内容>

- **地域の有志で取り組む見守り活動**
 - ・登下校時に通学路、横断歩道にて見守り活動、あいさつ運動を実施
- **地域人材と共に学ぶ教育活動**
 - ・郷土芸能・塩田讃歌踊りの伝承、お祭り集会（全児童）
 - ・七草教室（小学4年生・小学5年生）
 - ・お手玉教室（小学5年生）
 - ・しぶとり・しめ縄作り（小学6年生）
- **地域の歴史（多喜浜塩田）を学ぶ学習支援**
 - ・塩田ジャンボカルタ大会（小学1年生）
 - ・まちたんけん（小学2年生）
 - ・塩田ウォーク（小学3年生）
 - ・塩田展示室学習、塩作り体験（小学4年生）
 - ・塩田用語学習（小学5年生）
 - ・塩田ウォークガイドを目指して（小学6年生）
- **心を豊かにする活動**
 - ・読み聞かせ（低学年に月2回実施）



（塩田ウォーク）



（しぶとり・しめ縄作り）

児童の感想

・自分で塩が作れることに驚いた。自分で作った塩を料理に使い、家族で食べてみたい。

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

- **校区防災訓練**
 - ・校区防災訓練と小学校防災参観日を同日に実施することで、学校と地域が一体となった防災の取組を実施。
 - ・児童・保護者・地域住民が共に防災について学び、体験する機会とすることで、顔の見える関係づくりを進めるとともに、地域全体の防災意識の向上と、いざという時の連携強化を図る。
- （実施内容）防災かみしばい「地震の時の命の守り方」・簡易トイレ・段ボールベッド・揺れ体験・AED・炊き出し訓練・引き渡し訓練



（防災訓練の様子）

事業を実施して

【成果】

- 様々な活動を通して、子どもたちが実体験から学ぶ機会が増え、学習への意欲や地域への関心が高まった。
- 世代間交流で、子どもと地域住民のつながりが深まった。
- 多喜浜の歴史や文化（塩田の歴史など）を学ぶ活動により、郷土理解の向上が見られた。

【課題】

- 指導者やボランティアが高齢化しており、活動の継続・発展のため、次世代の人材育成が必要である。
- 地域人材の確保や継続的な参加が難しい面もあり担い手の固定化が必要である。

田滝小学校地域学校協働本部【西条市】

～豊かな心を持ち、たくましく生きる田滝の子を育成～

◆活動の目的・理念

- 地域・保護者・学校が協働することによって、互いに信頼し合い、それぞれの立場で児童の成長を支える。
- 保護者や地域の願いや意見を学校運営に反映させるとともに、組織的に連携・協働することにより、「豊かな心を持ち、たくましく生きる田滝の子」を育成する。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置		属性	活動内容							
	1	名	地域住民	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域の年間行事との調整及び支援活動の計画 ・学校・地域の教育活動への支援や参加促進のための協力要請 							
協働活動リーダーのべ人数	5	人	明日の田滝を考える会、田滝自治会、お簾踊り保存会、PTA会長等								
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティア 調整	休み時間対 応	日々の校内 清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他
のべ日数	33 日	4 日	日	日	6 日	日	日	11 日	7 日	日	5 日
ボランティア のべ人数	365 人	20 人	人	人	35 人	人	人	80 人	160 人	人	70 人
連携・協力団体・機関	明日の田滝を考える会、徳田公民館、田滝自治会、田滝婦人会、消防徳田分団、お簾踊り保存会、田滝小PTA 等										

取組の概要

<主な取組内容>

● 地域の特性を生かした体験活動

・米作りの体験

地域の方に水田をお借りして、田植えから稲刈りまでを体験できるよう、毎年、環境を整えていただいている。また、子どもたちと一緒に作業もしていただき、地域の方々との交流の場にもなっている。

・収穫祭

田滝地区では、地域をあげて秋の収穫祭を実施している。このイベントに田滝小学校も参加して、1ブースの運営を任せてもらっている。収穫した米を精米し、小袋に分けたものを子どもたちが来場者に販売するという取組を行っている。

・干し柿づくり

田滝地区の特産品である柿を提供していただき、干し柿づくりを実施している。子どもたちの手で、皮をむき、ひもを通してつるす作業を行っており、郷土に伝わる生活の工夫を学ぶ機会になっている。



(田植え)



(稲刈り)



(収穫祭)



(干し柿づくり)

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

● お簾（れん）踊りの継承

本校は、地域の伝統文化を継承することを教育計画に掲げ、地域に400年前から伝わる無形文化財「お簾踊り」に取り組んでいる。学校運営協議会を通して、お簾踊り保存会から継続した支援を得て、踊りの技能指導を受けてきた。今年度はさらに、踊りの歴史的背景や保存会の思いに触れる機会を設け、お簾踊りについてより深く理解することができた。活動の終わりには、「受け継ぐことは私たちの使命である」という児童の声が聞かれるまでに意識が高まった。



(お簾踊り保存会の皆さんに学ぶ)

事業を実施して

【成果】

- 日常的に地域と関わる体験活動が継続でき、地域への愛着や感謝の気持ちが育っている。
- 地域コーディネーターを中心に、地域団体や自治会、PTAなど多様な組織が協働して支援にあたり、田滝の子をともに育てる」という共通理解が深まった。

【課題】

- 多くの地域住民に支えられている一方、特定の団体や個人に負担が集中している現状がある。伝統文化継承や体験活動を今後も持続するためには、若い世代の参加促進や、新たな協力者の発掘が必要である。

北吉井小学校地域学校協働本部【東温市】

～学校・家庭・地域が一体となった取組～

◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が互いに協力し合って、次代を担う子どもたちの健全育成を目指す。
- 地域に根ざした伝統ある活動を受け継ぎ、教育の理解とその振興に努める。
- 教職員の業務負担を解消し、学校の業務改善を促進することで、教師が子どもと向き合う時間を確保する。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置	属性	活動内容									
	1 名	教員経験者	・地域学校協働活動を実施するための地域との橋渡し役									
協働活動リーダーのべ人数	0 人											
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティア 調整	休み時間対 応	日々の校内 清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他	
のべ日数 212 日	200 日	日	7 日	日	日	日	日	日	5 日	日	日	
ボランティア のべ人数 473 人	400 人	人	7 人	人	人	人	人	人	66 人	人	人	
連携・協力団体・機関	学校運営協議会、PTA、地元区会、地元企業など											

取組の概要

<主な取組内容>

- 地元の企業を学ぶ「しごトーク」
 - ・地元企業を講師に呼び、仕事について学ぶ。
 - ・地域の魅力を再発見できる。
- 他市町高校生との交流
 - ・久万高原町の高校生とカホンを通じた交流



(北吉井カホンプロジェクト)



(しごトーク①)



(しごトーク②)



(しごトーク③)



(しごトーク④)

児童の感想

- ・聞いたことがある仕事であっても、その仕事を詳しく知らなかったが、仕事内容がよく分かった。
- ・新しく分かったこともあって、とても有意義だった。
- ・たくさんのお仕事の人に来てもらえて、いろいろな話を聞いてよかった。

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

● ほたるかごづくり

東温市の特産である「はだか麦」を使ったほたるかごづくりを奥松瀬川地区の団体に講師を依頼し実施し、地域の環境や伝統に興味や関心を持たすことができた。児童は意欲的に活動に取り組み終始笑顔であった。感想の中には、「ゲームするより楽しい」「麦の茎だけでもすてきなものを作れることを知った」「今まで知らなかった東温市のことを知ることができた」などがあつた。



(制作の様子)

事業を実施して

【成果】

- 学校と地域が一体となった取組である「しごトーク」は、他の学校も興味を示しており、市全体に良い影響を与えている。
- 他の市町の高校生と触れ合うことで、新たな視点や新たな興味を持てるようになった。

【課題】

- 地域学校協働活動を、それぞれの学校単独で行うものとして実施するのではなく、事業によっては、近隣の小学校と連携をとり、また、中学校で実施している職業体験などにつながるよう実施していきたい。

伊予中学校区地域学校協働本部【伊予市】

～南伊予の子どもは地域の宝～

◆活動の目的・理念

- 「南伊予の子どもは地域の宝」をスローガンに、学校・家庭・地域社会との協働を推進する。
- 地域・保護者・生徒・教職員が一体となった魅力ある学校づくりを推進する。
- 地域理解・地域との交流を推進し、地域に貢献しようとする生徒を育成する。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置		属性		活動内容						
	1	名	元PTA会長 児童館職員			・特色ある学校づくりの支援(職場体験学習、地域貢献行事、農園の維持管理等) ・授業への地元講師の紹介 ・中学生ボランティアの活動支援					
協働活動リーダーのべ人数	0	人									
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティア 調整	休み時間 対応	日々の校内 清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他
のべ日数	59 日	日	31 日	日	日	日	日	14 日	日	日	14 日
ボランティア のべ人数	350 人	人	312 人	人	人	人	人	14 人	人	人	24 人
連携・協力団体・機関	伊予中学校PTA、区長会、上野地区公民館										

取組の概要

<主な取組内容>

● 地域密着の職場体験学習

地域密着の職場体験学習を実施するため、校区内の職場へ協力依頼し、受入先を増やすことができました。どのようにすれば生徒が南伊予に生きる者という意識を持つことができるかについて、学校と受入先が共通意識を持つことができるよう、実施の意図を丁寧に伝えて取り組んだ。



(盆踊りに向けた役割分担の相談)

● 授業への地元講師の紹介

1年生が地域を知る学習として、しめ飾り作りに取り組んでおり、公民館の協力により、地元講師を招いて実施した。今後、講師が不足することについて、地元高等学校へ協力依頼し、講師を確保できた。

● 中学生によるボランティア活動

ボランティアクラブを発足し、生徒と地域の方々が交流し、地域貢献・コミュニケーション・仲間づくりの活動となった。

- ・コスモスの種まきボランティア
地元の方と生徒が協力して種まきやかかしの制作に取り組んだ。
- ・南伊予地区盆踊り・夕涼み会
模擬店を出し、校内の農園で育てた野菜の販売や情報発信に取り組んだ。

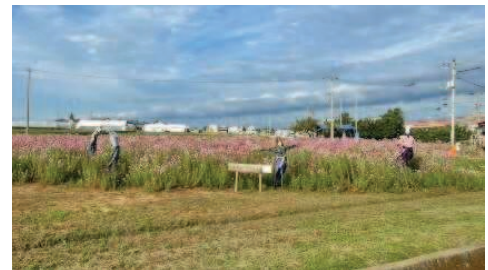


(盆踊りでの野菜販売)

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

● 中学生ボランティアによる地域貢献活動

中学校では「南伊予のために」何ができるかをテーマに総合的な学習に取り組んでいる。学校運営協議会でどのようにすれば、中学生ボランティア活動への積極的な支援ができるかとの意見が上がり、学校内外の活動を連動させて取り組むことができました。本活動が、地域との交流を通して、地域を理解し、地域との交流を通して、将来的に地域に貢献しようとする生徒の育成につながっている。



(手づくりのかかしが映えるコスモス畑)

事業を実施して

【成果】

- 総合的な学習の時間の各活動を支援し、特色ある学校づくりの充実につながっている。
- 中学生がボランティア活動に参加しやすい環境が整い、学校での学習を生かした地域貢献に取り組んでいる。

【課題】

- 活動の様子を周知し、地域の関心を集め、取組の賛同者を増やしていく必要がある。
- コミュニティ・スクール導入初年度のため、引き続き学校運営協議会を始めとした様々な機会を通じて熟議を重ねていく必要がある。

宮内小学校地域学校協働本部【砥部町】

～地域に根ざした教育活動の支援～

◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が一体となって学校運営の改善や児童の健全育成に取り組む。
- 教育目標の『一人一人が輝き、ともに学び、ともにのびる宮内っ子の育成』の推進に努める。
- 地域人材の活用を通して学校の支援を行い、地域と学校との連携を強める。

	配置	属性	活動内容									
地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	1 名	地域住民	・地域の教育課題解決に必要な総合的な連絡調整 ・教職員や関係者への支援や企画提案、参加促進 ・学校運営協議会その他必要な協議体との連絡調整									
協働活動リーダーのべ人数	0 人											
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランテ ア調整	休み時間 対応	日々の校 内清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他	
のべ日数	333 日	220 日	43 日	20 日	日	日	日	40 日	10 日	日	日	
ボランティア のべ人数	954 人	642 人	172 人	50 人	人	人	人	80 人	10 人	人	人	
連携・協力団体・機関	人権擁護委員、民生児童委員、砥部町川井営農組合、砥部町交通指導員、七折梅組合、砥部町社会福祉協議会、 教職経験者、防災士、PTA会長、協働活動サポーター等											

取組の概要

<主な取組内容>

● 教育活動支援

<サポーター制度活用>

- ・授業サポート(ミシンや糸のこ使用、調理実習、町探検、梅園での種まき、窯元巡りなど、指導・見守りの必要な授業にサポーターを付ける。)
- ・校外学習サポート(現地までの引率と見守り)

<町所有バスの利用>

- ・校外学習時の移動に町所有のバスを利用

● 地域人材からの学びと交流

- ・営農組合の方に学ぶ米づくりと、米飯調理試食会への指導者招待
- ・七折梅組合の方に教わる梅干しと梅シロップづくり(出前授業)
- ・砥部町陶芸創作館の方の指導による砥部焼の器づくり(出前授業)
- ・地元かんきつ農家の方を講師に迎えてのみかんづくり講話
- ・戦争体験者を講師に迎えての戦争体験講話
- ・外部講師による手話講座や町社会福祉協議会職員による車いすやアイマスク着用での視覚障がい者の生活体験などを学ぶ福祉学習

● P T A 活動との連携

- ・3学P主体の親子ふれあい体操に、参加できない保護者の代わりにサポーターが参加



(工工・糸のこ)



(家庭科・ミシン)



(町探検)



(窯元巡り)



(梅干し作り)



(田植え)



(米飯調理)



(砥部焼体験)



(福祉学習)



(親子ふれあい体操)

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

● 子どもの居場所づくりプロジェクト

校区内には児童館がないため、それに代わる『子どもの居場所づくり』プロジェクトを始動。宮内小学校児童を対象にアンケートを実施し、子どもファーストの居場所づくりを計画。令和8年2月にプレ開催を予定している。

● 登下校の見守り体制の確立

個々で行っている見守りを地域でできる体制を整えるため、関係団体等との連携を図る。

事業を実施して

【成果】

- サポーターが関わってくれることで、教員や保護者の負担や時間の軽減につながった。
- 専門的な知識を持つ地域の方が、学校や子どもたちに関わることで、活動がスムーズに行えた。
- 地域に顔見知りができ、大人、子ども双方に学校外での声掛けをする機会が生まれた。
- サポーター活動で学校のことを知ってもらえた。

【課題】

- コミュニティ・スクールに対する認知度を上げて、サポート体制の充実を図りたい。
- 全学年のカリキュラムに関われるよう、教員との円滑な連携体制の確立に努めたい。

父二峰小学校地域学校協働本部【久万高原町】

～地域のチカラで子どもを育てる～

◆活動の目的・理念

- 少子高齢化による児童数の減少の中で、地域の教育力を最大限に生かし、地域の人々とのふれあいを通して、「ふるさとを愛し、自信と誇りをもってたくましく生きる子ども」を育成する。
- 学校を核とするふるさとづくり、地域コミュニティの拠点となる「地域とともにある学校」づくりに努める。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置	2 名		属性	PTA役員						
				・学校と地域及びボランティアとの連絡調整 ・環境整備・地域支援活動等への参加の呼び掛け ・行事等の計画及び運営							
協働活動リーダーのべ人数	45 人		ふじみね学校支援連絡協議会(見守り隊、公民館、壮年会、婦人会、教育後援会、交通安全協会、PTA)								
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティア 調整	休み時間対 応	日々の校内 清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他
のべ日数	227 日	201 日	7 日	12 日	日	日	日	2 日	5 日	日	日
ボランティア のべ人数	766 人	321 人	85 人	155 人	人	人	人	25 人	180 人	人	人
連携・協力団体・機関	ふじみね学校支援連絡協議会、ふじみね学校運営協議会、教育後援会、公民館、婦人会、壮年会、久万高原警察署、交通安全協会、父二峰駐在所、久万高原消防本部、久万高原町危機管理課、久万高原天体観測館										

取組の概要

<主な取組内容>

● ふるさとを愛する子どもを育む郷土学習

ふじみね学校支援連絡協議会のご協力により、地域に伝わる伝統行事や地域の特色を生かした郷土学習を行っている。(田植え・稲刈り、野菜づくり、木工教室・植菌体験教室) 子どもたちは、体験を通して、地域の方々との関わりを深め、ふるさとを愛する心情が育まれている。

● 地域とともに行う学校環境整備

地域全体に呼びかけ、PTAを主体として年2回奉仕作業(6・8月)を実施している。子どもたちも作業に参加し、保護者や地域の方と一緒に学校環境美化に汗を流している。

● 地域全体で取り組む見守り活動

ボランティアの見守り隊の方々による登校の見守りが続けられている。さらに、地域の駐在所員さんにも児童の登校の安全に配慮していただいている。



(田植え・稲刈り)



(奉仕作業)

(登校の見守り活動)

児童の感想

- ・去年と比べてまっすぐに植えることができてうれしかった。
- ・稲を刈る時のパチパチという音がしたのがいいと思った。

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

● 地域の伝統を守り伝える「しめ縄・門松づくり」「どんど焼き」

毎年12月には、地域の方を講師に「しめ縄・門松づくり」を実施している。しめ縄づくりでは、縄のない方を地域の方から手ほどきを受けながら、自分のしめ縄を作っていく。また、学校の玄関には立派な門松が作られ、新年を迎える準備を整えていただいている。また、新年には地域と合同で「どんど焼き」を行い、無病息災を願っている。



(しめ縄・門松づくり)



(どんど焼き)

● 防災の視点を取り入れた「学校キャンプ」

「学校に泊まってみたい」という子どもたちの思いから、今年度初めて、防災の視点を取り入れた「学校キャンプ」を実施した。久万高原町危機管理室にご協力いただき、親子防災教室や段ボールベッド作り、非常食試食体験等、災害発生時の対応について学んだ。



(学校キャンプ)

事業を実施して

【成果】

- 学校・家庭・地域が一体となった活動は、子どもの成長の大きな源となっている。また、子どもに地域に感謝する気持ちが育っている。
- 学校と地域が互いに協力し共通理解のもと活動することで、地域コミュニティの核となっている。

【課題】

- 児童数の減少・地域住民の高齢化に伴い、長期的な視点で、行事の持ち方の見直しや、持続可能な活動への転換が必要である。

菅田小・肱東中学校地域学校協働本部【大洲市】

～今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校～

◆活動の目的・理念

- 「真心」を大切に、たくましく生きる子どもの育成
- 自ら学び、心豊かに、未来をしなやかに生き抜く生徒を育てる。

	配置	属性	活動内容									
地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	1名	少年補導委員 少年警察協助委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域・自治会の年間行事との調整及び支援活動の計画 ・学校支援ボランティアの連絡と調整 ・広報・啓発活動 									
協働活動リーダーのべ人数	0人											
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティア 調整	休み時間対 応	日々の校内 清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他	
のべ日数	145日	140日	日	日	日	日	日	3日	2日	日	日	
ボランティア のべ人数	258人	250人	人	人	人	人	人	3人	5人	人	人	
連携・協力団体・機関	自治会長、菅田交通安全協会、敬老会、民生主任児童委員、児童生徒を守り育てる協議会、JA菅田支所、菅田郵便局、菅田駐在所											

取組の概要

<主な取組内容>

- 子どもに寄り添う学習支援
 - ・小学校：様々な校外学習（各学年）
 - ・中学校：長年受け継がれている田植え・稲刈り（2年生）、茶摘み（全校）
- 心を豊かにする環境整備
 - ・小学校：アサガオ、チューリップ栽培（1年生）
ヒマワリ、ヘリマの栽培（3、4年生）
 - ・中学校：空き缶、ペットボトルのキャップの回収（全校）
- 地域全体で取り組む見守り活動
 - ・登下校における見守り活動と毎週水曜日の「朝のあいさつ運動」（小・中学校）



（校外学習「牧場見学」）



（茶摘み）



（しめ縄作り）

児童の感想

- ・縄をなうのが難しかったけれど、丁寧に教えていただいたので楽しかった。
- ・しめ縄をなぜ飾るのかを教えてくれたので勉強になった。
- ・作ったしめ縄を家に飾ってお正月を迎えたい。

生徒の感想

- ・初めての茶摘みは思ったよりも難しくなく、みんなで楽しく協力して行うことができた。
- ・自分たちが摘んだお茶の葉からお茶を作る工程でたくさん学ぶことができた。
- ・田植えも稲刈りも初めての体験で少し苦戦したが、とても楽しく活動することができた。

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

- しめ縄作り
 - ・敬老会の協力を得て、恒例のしめ縄作りを行っている。
 - ・こども園の年長組と6年生、地域の方々によるお地蔵さんのエプロン掛けを行っている。



（お地蔵さんのエプロン掛け）

事業を実施して

【成果】

- 学校と地域を結ぶパイプ役として、連絡調整や活動の支援を行うことができた。
- 地域の敬老会やこども園などを巻き込んだ活動を地域の財産とすることができた。

【課題】

- 地域と学校が連携した活動の支援を継続するためには、次期の地域コーディネータの育成が必要である。
- 地域からの教育ボランティアの人材確保により、協力体制の充実を図る必要がある。

内子小学校地域学校協働本部【内子町】

～「地域とともにある学校づくり」を目指して～

◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が連携し、「地域とともにある学校づくり」を推進する。
- ふるさと学習を中心として、地域のよさを感じ、郷土愛を深める。
- 地域人材の活用を図り、子どもたちの夢を応援する。

	配置	属性	活動内容								
地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	1 名	地域住民	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域との調整及び支援活動の計画 ・学校支援活動の連絡と調整 ・広報発行と啓発活動 								
協働活動リーダーのべ人数	15 人	教育委員、学識経験者、内子自治センター職員、内子児童館職員、内子小運営協議会委員、内子図書情報館職員、民生児童委員、主任児童員、PTA役員、畑中自治会長、内子町商工会理事、内子高等学校長									
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティア 調整	休み時間対 応	日々の校内 清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他
のべ日数	49 日	11 日	1 日	日	日	日	日	28 日	5 日	日	4 日
ボランティア のべ人数	550 人	330 人	80 人	人	人	人	人	60 人	52 人	人	28 人
連携・協力団体・機関	NPO法人内子未来づくりネットワーク、内子町役場、内子フレッシュパークからり、エコファーム、個人農園、県立内子高等学校、内子町商店街、立川神楽保存会 等										

取組の概要

<主な取組内容>

● 環境学習

- ・春・夏・秋の植物探し（1年生）をNPO内子未来づくりネットワークの協力のもと行った。
- ・水生生物観察（4年生）を県環境マイスター松田さん、NPO内子未来づくりネットワーク、役場環境政策室の協力のもと行った。
- ・水質調査（4年生）を役場環境政策室の協力のもと行った。
- ・農園見学、稲刈り体験、学習（5年生）を地元農園さん、役場農林振興課協力のもと行った。
- ・防災学習（4年生）を役場危機管理班の協力のもと行った。

● 平和学習

愛媛県歴史文化博物館と内子町自治学習課の学芸員さんに来ていただき、平和学習（6年生）を行った。11月の学習発表会にはお世話になった方を招待して、観覧いただいた。歴博学芸員さんが博物館ブログで、6年生の発表の様子を紹介し、感想を書いてくださった。



（環境学習の様子）



（平和学習の様子）

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

● 内子高等学校とのコラボ企画

- ・環境学習コラボ企画として、人間環境大学総合環境学部の後藤先生と内子高校生物室小野先生に御指導いただきながら、小田川で水生生物の採取、内子高校生物室で観察を行った。最後は、後藤先生に講義をしていただいた。
- ・高校部活動との交流も広がった。トランペット鼓隊が内子高等学校吹奏楽部と交流した。高校生の演奏を聴かせていただき、パート練習や合奏を一緒に行った。
- ・平和学習発表会にお世話になった高校生や学芸員さんを招待し、発表を聞いていただいた。

事業を実施して

【成果】

- 見学の受入れやゲストティーチャーとして、たくさんの地域の方にご協力いただきながら、様々な学習ができた。
- 内子高校との交流も広がってきており、活動の輪が広がってきている。地域から、「地域学校協働活動で何をしているのか分かってきた。」という声も聞かれるようになった。

【課題】

- 今後は、近隣の保育園や中学校との連携など活動が広がることを期待している。
- 環境学習が内子町全体の活動として更に広がっていくことを期待している。

瀬戸地域学校協働本部【伊方町】

～地域ぐるみ・町ぐるみで瀬戸地域の子どもを育てよう～

◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域が手を取り合って、地域の宝である子どもたちを育てる。
- 地域の歴史・伝統・文化に関する関心や理解を深め、豊かな人間性を養う。
- 地域人材の活用を通して学校を支援するとともに地域の活性化を図る。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置		属性		活動内容							
		1	名	教員経験者		・学校支援ボランティアの派遣(人材確保及び連絡調整) ・広報・啓発活動 ・学校支援ボランティアの募集						
協働活動リーダーのべ人数	5	人	公民館長、老人会長、佐田岬半島ミュージアム館長、赤十字奉仕団役員									
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティ ア調整	休み時間 対応	日々の校 内清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準 備・補助	学校行 事	進路指導 補助	その他	
のべ日数	292 日	200 日	29 日	日	24 日	日	日	23 日	8 日	日	8 日	
ボランティア のべ人数	936 人	700 人	84 人	人	44 人	人	人	50 人	36 人	人	22 人	
連携・協力団体・機関	瀬戸公民館、佐田岬半島ミュージアム、瀬戸赤十字奉仕団、各地区老人会、伊方町役場											

取組の概要

<主な取組内容>

- 地域人材を生かした教育活動
 - ・生活科や総合的な学習の時間における体験活動
(さつまいも栽培、野菜栽培、平和学習等)
 - ・元地域おこし協力隊による講話等
 - ・地域の講師による茶道教室
 - ・老人会とのしめ縄づくり
- 心を豊かにする環境整備
 - ・学校周辺の除草作業等
 - ・樹木の剪定(せんてい)
- 地域全体で見守り活動
 - ・登下校の見守り活動
- 地域との協働活動
 - ・地域との共催による運動会
 - ・瀬戸地域・瀬戸中学校合同文化祭



(しめ縄づくり)



(さつまいも栽培)



(茶道教室)



(起業についての講話)

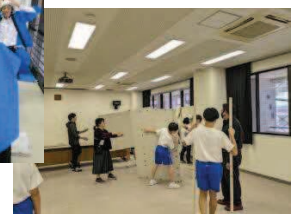
<特色ある取組>

● 瀬戸地域・瀬戸中学校合同文化祭

瀬戸中学校は瀬戸地域と合同で文化祭を開催するようになり3年目になる。当日の運営だけでなく企画・準備・片付けを合同で行うことで、互いに交流を図り協力し合う有意義な行事になっている。地域学校協働本部は、学校と地域の連携・協働を支援している。中学生にとっては、地域との関わりの中で、地域への愛着を育む機会となっている。



(合同文化祭)



(会場設営)

事業を実施して

【成果】

- 地域の人材を生かした活動を行うことで、地域よさを知り、地域への愛着を育むことができた。
- 学校と地域が合同で行事を実施することで、地域全体の活性化につなげることができた。

【課題】

- 各活動の反省を生かし、関係機関と情報共有を図りながら、効率的な計画を立てる必要がある。
- 地域の特性から、平日に活動できるボランティアの人材確保が必要である。

宇和中学校地域学校協働本部【西予市】

～郷土の魅力を学び、発信する学びの場～

◆活動の目的・理念

- 生徒が自ら考え、企画・運営に関わることで、主体性と協働性を育成する。
- 地域の歴史・文化・産業を学び、郷土への愛着を育むことを目的とする。
- 地域との協力を強化し、教職員の負担を軽減することで、持続可能な教育活動を実現する。

	配置	属性	活動内容								
地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	1 名	地域住民	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・地域・地域づくり活動センターとの年間行事との調整及び支援活動の計画 ・学校支援ボランティアへの連絡と調整 ・広報・啓発活動(学校だより、市広報紙) 								
協働活動リーダーのべ人数	45 人	地域づくり活動センター長、農家の方、婦人会員、地元企業等									
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティア 調整	休み時間対 応	日々の校内 清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他
のべ日数	84 日	日	13 日	日	日	日	日	日	56 日	日	15 日
ボランティア のべ人数	398 人	人	62 人	人	人	人	人	人	96 人	人	240 人
連携・協力団体・機関	学校運営協議会、地域づくり活動センター、地元女性団体、PTA等										

取組の概要

<主な取組内容>

● ふるさと学習

生徒が地域の歴史や文化、産業について理解を深めることを目的として活動を行った。地元食材を活用した料理づくりやスタンプラリーを通じて、地域の魅力を体験し、共有する機会となった。この取組により、生徒の郷土愛を育み、地域資源の価値を再認識することができた。

● 地元事業所での就業体験の調整

この取組を実施するにあたり、事業者との調整を丁寧に行い、受入れ体制の確保に努めた。また、教員の働き方改革の観点から、事前準備や当日の引率において負担軽減を図るため、地域の協力を得ながら効率的な運営方法を検討した。これにより、教育活動の質を維持しつつ、教員の業務改善にもつながる取組となった。



(地域協力者より調理の指導)

生徒の感想

- ・ふるさと学習では、みんなで協力して活動し、経理や運営の大変さも知り、体験を通して多くのことを学べた。
- ・ふるさとクイズを通して、地域のことを振り返り、楽しみながらふるさとへの興味や理解を深めることができた。
- ・準備から本番まで達成感があり、いろいろ学べた。ふだん関わらない人ともつながりができ、来年も続いてほしいと思った。

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

● ふるさと学習を通じた地域とのつながり（文化祭：秋輝祭）

ふるさと学習の一環として準備を進め、生徒が地元の魅力を学び、発信する場となった。地元食材生産者にインタビューを実施し、創作した料理やスタンプラリーを通して、地域の文化や特産品のよさを体験し、共有することができた。また、生徒が主体となって運営することで、企画を考える力や仲間と協力する力を育むことにつながった。さらに、地域の方々やPTA、宇和高校生との交流を通じて、学校と地域のつながりを深めることができた。



(文化祭[秋輝祭]当日の様子)

事業を実施して

【成果】

- 地元食材を活用し、生徒自身が考案した商品を販売する取組を通じて、経済感覚や企画力を学ぶ機会を得た。また、地元生産者・商業者を講師として迎え、販売の工夫や地域経済の仕組みについて学ぶことで、地域の魅力や産業への理解を深めることができた。

【課題】

- 推進員設置初年度であり、試行段階の中で、推進員活動の周知に重点を置いて対応した。
- 事業実施に必要な予算確保が課題である。
- 生徒の要望と実施可能な範囲とのバランスを図る必要がある。

津島中学校地域学校協働本部【宇和島市】

～地域の魅力を生かしながら地域活性化を目指した地域と学校の連携・協働活動～

◆活動の目的・理念

- 学校と家庭・地域が連帯し、生徒の学びと成長を支える。
- 地域人材や資料を活用し、体験的で実社会につながる学びを実現することで、地域への愛着と担い手を育成する。
- 地域学校協働活動推進員が学校と地域をつなぐ架け橋として、連絡調整等を行う。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置	属性	活動内容								
	1 名	学校用務員	・地域学校協働活動の計画・立案および教職員や関係者への提案・共有 ・学校支援ボランティアとの連絡調整と円滑な連携体制の構築 ・広報・啓発活動の推進(地域だよりや活動案内を通じた情報発信など)								
協働活動リーダーのべ人数	50 人	学校運営協議会委員、保護者、地域住民									
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティア 調整	休み時間対 応	日々の校内 清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他
のべ日数	309 日	日	2 日	日	日	157 日	日	147 日	3 日	日	日
ボランティア のべ人数	1,399 人	人	155 人	人	人	351 人	人	880 人	13 人	人	人
連携・協力団体・機関	学校運営協議会委員、保護者、地域住民、										

取組の概要

<主な取組内容>

● 地域行事とコラボ ～つしまルシェ～

地域の「六宝まつり」とコラボし、「つしまルシェ」を行った。1年生は地域学習で学んだことを、2年生と3年生有志は出店を、3年生はまつりのボランティア活動を行った。



(つしまルシェ)

● 夏祭りを盛り上げよう ～舞踊大行進・吹奏楽部演奏～

津島町の夏祭りの「舞踊大行進」に「津島中連」として有志が参加し、吹奏楽部が演奏するなど、地域の夏祭りを盛り上げた。



(舞踊大行進)

● 地域で学ぼう ～職場体験学習・地域学習～

職場体験学習では、地元企業等に協力いただいている。地域学習では、地域の方を講師に招いたり、実際に見学や体験をさせてもらったりしている。

● 地域の行事等にボランティアで参加

商工会まつりやしらうお祭り、公民館の催し物、子ども食堂、自治会の清掃など、地域からボランティア活動の要請があると、生徒の参加者を募っている。地域からたくさんの要請があり、生徒たちもやりがいを感じている。



(子ども食堂)

● 学校運営協議会の熟議に生徒が参加

学校運営協議会の議題を生徒が提案し、熟議を行った。地域貢献について話し合った。「つしまルシェ」の出店内容について学校運営協議会委員からアドバイスをもらい、当日の運営に生かした。

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

● 学校運営協議会を活用した地域ぐるみの学校づくり

学校運営協議会を通じて学校経営方針を地域と共有し、連携した持続可能な教育活動を協議している。地域学校協働活動推進員の活躍により、地域との信頼関係を築いている。

● 地域と生徒がつながる行事や授業の公開

学校運営協議会の熟議に生徒が参加し、「地域貢献」について話し合ったり、行事の内容についてアドバイスをもらったりするなど、関係性を深めている。授業や行事を地域に公開し、学校理解に努めている。



(学校運営協議会の熟議の様子)

事業を実施して

【成果】

- 生徒が地域や地域の人に魅力を感じ、愛郷心を持つことができた。そして、街に貢献したい、応援したいと思う生徒が増えた。
- 地域の行事等に積極的に関わることで、自己肯定感や自己有用感の醸成につながった。

【課題】

- 校区が広いため、郊外に出て学習活動を行うには、移動手段の確保が必要である。
- 今後、部活動の地域移行について、地域と共に考えていかなければならない。

好藤小学校地域学校協働本部【鬼北町】

～地域とともにある開かれた学校づくり～

◆活動の目的・理念

- 学校・家庭・地域の連携を重視し、地域を知り、地域を愛し、地域を誇れる子どもの育成に努める。
- 地域の教育力の活用に努め、地域に根ざした教育活動を推進する。

地域学校協働活動推進員 地域コーディネーター	配置		属性		活動内容							
		1	名	町職員(会計年度 任用職員)		・学校・地域・公民館の年間行事との調整及び支援活動の計画 ・学校支援ボランティアへの連絡・調整 ・広報・啓発活動(掲示・通信)						
協働活動リーダーのべ人数	15	人	公民館長、老人クラブ会長、農家の方、菌興協同組合、鬼北町農業公社、日吉農林公社等									
活動の内容	登下校 対応	放課後 ・夜間	ボランティア 調整	休み時間対 応	日々の校内 清掃	部活動 補助	給食時 対応	授業準備・ 補助	学校行事	進路指導 補助	その他	
のべ日数	294 日	201 日	7 日	日	8 日	日	日	35 日	13 日	日	30 日	
ボランティア のべ人数	2,444 人	1,528 人	59 人	人	67 人	人	人	292 人	439 人	人	59 人	
連携・協力団体・機関	好藤公民館、学校運営協議会委員、北宇和高等学校、好藤子ども見守り隊、好藤いきいきクラブ、高齢者施設「よしふじ」、南愛媛療育センター、YYC、ピーチパイ、校区内外商店・企業、鬼北町役場等											

取組の概要

<主な取組内容>

● 子どもに寄り添う学習支援・授業の補助

- ・北宇和高等学校との連携学習
- ・さつまいも栽培
- ・生活科、社会科、総合的な学習の時間での見学
- ・外部講師の授業補助や出前授業補助

● 心を豊かにする環境整備

- ・年間3回の奉仕作業(親子、PTA、準会員ほか)
- ・年間9回のピーチパイ(女性団体)との奉仕作業

● 地域全体で取り組む見守り活動

- ・好藤子ども見守り隊の結成
- ・登下校時の見守り活動
- ・新入学児交通安全祈願祭&植樹

● 学校行事への参画

- ・運動会、学習発表会、校内持久走大会

● 公民館と連携した体験活動

- ・竹の子学級での諸活動
- ・好藤いきいきクラブ、YYC、ピーチパイ



(いきいきクラブとの交流会)



(新入学児交通安全祈願祭&植樹)

<コミュニティ・スクールとの一体的な取組>

● さつまいも栽培体験

好藤小学校では、地域住民指導の下、さつまいもの栽培体験を行っている。種芋の植付けから生育管理、収穫に至るまでの一連の活動を地域の方々と共に行うことで、子どもたちは作物を育てる喜びや大変さを実体験として学んでいる。活動の中では、さつまいもの育て方や栽培に関する知識を教わるだけでなく、作業中の会話で昔の農作業の様子や生活の知恵を聞くなど、世代を超えた交流の時間が生まれている。最後に、小学生と地域の方でやさしいパーティーをするなど、温かく濃密な学びの場となっている。



(さつまいも栽培体験)

児童の感想

- ・さつまいものことを知ることができて、とても勉強になった。(2年 男子)
- ・植え方が難しかったけれど、ていねいに教えてもらって上手に植えることができた。(2年 女子)
- ・たくさん採ることができてうれしかった。(1年 女子)

事業を実施して

【成果】

- 地域での住民との関わりや豊かな体験活動を通して、校内学習以外での新しい社会学習を行うことができた。
- 地域がとても協力的という特性もあり、積極的に校外に出向き、地域の方々と深く交流することで、子どもたちの地域愛への機運醸成、地域一丸となった児童育成の意識向上など相乗効果

【課題】

- 企業、商店、有識者が少なくなる中、見学する場所が限られてきて、校区外へ出かけることも多くなってきている。多様な学習機会を提供できるよう、各地域学校協働本部間で連携を図る必要がある。
- 地域の高齢化が進んでおり、人材の確保、学習活動内容の選定に苦慮している。公民館や老人クラブ、地域有志等と協力し、新たな人材の発掘育成をしていかなければならない。

えひめ未来塾



「学習支援活動」
(東予東中未来塾【西条市】)

①【西条市】東予東中未来塾	46
②【東温市】東温市地域未来塾	47
③【大洲市】ひらの未来塾	48
④【内子町】立川みらい塾	49
⑤【西予市】多田・中川学び舎	50
⑥【宇和島市】うわじま土曜塾	51

東予東中未来塾【西条市】

～学校と連携して中学生の学びを支えよう～

◆活動の目的・理念

- 中学3年生の数学の学力を高める。
- 学校と連携して、子どもたちに必要な学習を支援する。
- 落ち着いた環境の中で、仲間と共に学び合う。

活動場所	東予東中学校	対象児童・生徒	中学3年生	対象学校区名	東予東中学校
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	9 日	毎週火曜日	15 : 30	～ 16 : 30
	土・日・休業日等	0 日		:	～ :
児童・生徒の平均参加人数	23 人/日	学習支援員	3 人/日	教員経験者	
教育活動サポーターのべ人数	0 人		ボランティアのべ人数	0 人	
活動内容	実力テストや入試対策等の学習支援		参加者募集	中学校が希望者を募集	

取組の概要

<主な取組内容>

- **学習支援活動**
 - ・一人ひとりの理解度に応じて支援する。
 - ・解決の手掛かりとなるヒントや助言をする。
- **定期テストや入試問題に対する学習支援**
 - ・応用問題などを解決できるよう丁寧に支援する。
 - ・入試対策などについてアドバイスをする。
- **学校との連携**
 - ・連絡を取り合い、活動日をできるだけ多く確保する。
 - ・生徒の学習内容について、担当の先生と情報交換をする。
 - ・学校だよりなどで未来塾の活動の様子を掲載する。



(真剣に学習する生徒達)

生徒の感想

- ・地域未来塾では、集中して数学を勉強することができたので、入試に向けて数学が不安だった私にとって、とても貴重な時間であった。
- ・分からない問題を質問すると、分かりやすく解き方を説明してくださり、より質の高い学習ができた。
- ・1時間という短い時間だったが、静かな空間で集中して勉強をすることができてよかった。

<特色ある取組>

- 在校生の3割近い38人の登録があり、平均参加率は7割となっており、試験対策や受験方法について真剣に学習に取り組んでいる。
- 毎回、数学科担当の先生や関係の先生が活動に参加しており、個別指導が充実している。
- 一人ひとりの理解度に配慮しながら、分かりやすく、丁寧に個別指導を行っている。



(個別指導の様子)

事業を実施して

【成果】

- 学校と支援者の連携が密であるので、どの生徒も真面目に学習に取り組み、分からない問題を解決しようと意欲的に頑張っている。
- 1学期から計画的に実施日を設定したので、昨年度よりも実施回数が増えて、充実した支援ができた。

【課題】

- 学校行事等の関係で、実施回数が年度当初よりも少なかったため、次年度以降も充実した活動が継続できるように学校との連携を深めたい。
- 支援者を確保しつつ、今後の活動を更に充実させる。

東温市地域未来塾【東温市】

～地域ぐるみで学びを支えよう～

◆活動の目的・理念

- 家庭での学習が困難な、又は学習習慣が十分身に付いていない中学生を対象として、教員経験者や地域住民等の協力を得て学習教室を開催することにより、学習の遅れの解消や学習習慣の定着を図る。

活動場所	川内公民館	対象児童・生徒	川内中学校在籍生徒	対象学校区名	川内中学校
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	26 日	毎週火曜日	16 : 00 ～ 17 : 30	
	土・日・休業日等	37 日	毎週土曜日	9 : 30 ～ 11 : 00	
児童・生徒の平均参加人数	9 人/日	学習支援員	2 人/日	教員経験者	
教育活動サポーターのべ人数	151 人	大学生	ボランティアのべ人数	2 人	地域住民
活動内容	宿題や予習・復習の学習支援、学習習慣の定着、学習相談への対応		参加者募集	中学校を通じてチラシを配布し、希望者を登録	

取組の概要

<主な取組内容>

- 習熟度に応じた個別指導、進路相談等の受講生のニーズに合わせた対応を実施している。
- 学習支援員が自作の問題(数学)を作成し、各回の最初に取り組んでいる。
- 長期休業中(夏休み・冬休み)も継続して行い、学習習慣の定着を図っている。
- 市公式ホームページや市公式SNSを活用し、積極的に情報発信している。
- 愛媛大学地域連携実習制度を活用し、大学生の教育活動サポーターを確保している。



(集中して苦手分野に挑戦する生徒)



(理解できるようじっくり指導)



(学習支援員作成のプリントを解く)

生徒の感想

- ・学習習慣が身に付いた。
- ・いつも優しく丁寧に教えてくれる。
- ・授業中に理解できなかったところを分かりやすく教えてもらった。
- ・夏休みも継続して学習することができた。
- ・悩んでいた進路相談を快く引き受けてくれとても助かった。
- ・学習支援員さんの問題を解くことが楽しみになっている。
- ・未来塾のおかげで勉強が楽しくなった。



(分からない問題を質問する生徒)

<特色ある取組>

● 地域の方々による協力

地域在住の教員経験者に学習支援員として指導をお願いしており、今までの経験に基づいた個別の指導や対応が可能となっている。また、大学生がサポーターとして参加しており、受講生と近い年代であることから受講生の進路について参考になるような経験を話すことができている。



(学習支援員による個別指導)

事業を実施して

【成果】

- 受講生の学習意欲が向上し、学習習慣の定着が図られた。
- 学習支援員の丁寧な個別指導により、受講生は自身の学習課題を明確にしながら、主体的に学習に取り組めるようになった。

【課題】

- 部活や課外活動等で参加できない生徒への対応も、可能な限り検討していきたい。

ひらの未来塾【大洲市】

～地域ぐるみで子どもの学びを支えよう～

◆活動の目的・理念

- 家庭での学習習慣の定着を目的とし、長期休業中（夏休み）の学習支援を行う。
- 学習の遅れを取り戻し、子どもたちがスムーズに2学期を迎えられるように支援する。
- 地域の方や卒業した先輩との関わりの中で、安心して学習できる環境を整える。

活動場所	平野コミュニティセンター	対象児童・生徒	小学1年生～中学3年生	対象学校区名	平野小・中学校
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	0	日	:	～
	土・日・休業日等	11	日	9	: 00 ~ 15 : 00
児童・生徒の平均参加人数	48	人/日	学習支援員	1	人/日
協働活動サポーターのべ人数	0	人	ボランティアのべ人数	57	人
活動内容	夏休みの宿題、自主学習の支援		参加者募集	各小・中学校を通じてチラシを配布	

取組の概要

<主な取組内容>

- 宿題にじっくり取り組む。夏休みの宿題を終わらせる。分からないところは、高校生や大学生、地域のボランティアに遠慮なく質問するよう促す。
- 学習時間と休憩時間のけじめをつける。小学生は45分、中学生は50分で10分休憩を実施する。
- 「カクトレ」「漢字コグトレ」「中学10分ドリル」活用・宿題が終わっている子どもには、ドリルにチャレンジさせたり、パズル等をさせたりする。
- 作文・読書感想文教室、習字教室を開催。作文・読書感想文教室は、前半・後半に1日ずつ開催。習字教室は、伊予高校書道部の協力により実施。

開催日	前半	7月28日(月)～8月1日(金)
	後半	8月18日(月)～8月22日(金)
時間	小学生	9:00～11:00
	中学生	13:00～15:00



(高校生や大学生ボランティアが増えていて、子どもたちも慕っていました)

アンケート結果より

- ・毎年参加させていただいている。特に、習字は、教えてもらう前後でこんなにも差が出るのかと親が驚くほど上手に書けていた。
- ・読書感想文教室に参加させていただいたおかげで、毎年時間をかけて苦戦していた感想文を短時間で仕上げることができた。

<特色ある取組>

- 作文・読書感想文教室や習字教室の開催
夏休みの宿題で子どもたちを悩ませるのが作文や習字だが、教員経験者や高校生ボランティア（伊予高校）の協力で実施することができた。
- 高校生の総合的な探求の時間とのコラボレーション
伊予高校の書道部は、高校の総合的な探求の時間を活用した参加であった。参加者と高校生の双方にとって実りの多い活動となった。
- 子ども食堂の開催
期間中、地域の方の協力で、子ども食堂を開催し、大変好評だった。



(子ども食堂で「いただきます!」)

事業を実施して

【成果】

- 4年目となったが、子どもたちが宿題を仕上げるのが年々早くなってきているように思う。
- 読書感想文や習字など、教員経験者や高校生ボランティアの協力もあり、一人では難しい宿題を完成することができた。
- 地域が子どもたちのために動いてくれている。

【課題】

- 低学年がふざけることもあり、高学年の学習を妨げることがあった。何か手立てが必要だと思う。
- 子ども食堂を開催していただきありがたい反面、食べ物の好き嫌いに対応するのが大変であった。(アレルギーへの対応はできていた。)

立川みらい塾【内子町】

～地域で子どもの新しい学びを支えよう～

◆活動の目的・理念

- 年間を通して、豊かな体験活動を提供することにより、ふるさとの良さを再確認する。
- 自己肯定感の育成、親子のきずなを深める。
- 未来の環境を考える学びを提供する。

活動場所	立川地区(上立山) 立川小学校	対象児童・生徒	小学3年生～小学6年生 児童(及び保護者) ※きょうだい参加可	対象学区名	内子町内の小学校
開催日数・ 曜日・時間等	平日(授業日)	0	日	:	～
	土・日・休業日等	6	日	土曜(5回)日曜(1日)	9 : 00 ~ 13 : 00
児童・生徒の 平均参加人数	15	人/日	学習支援員	1	人/日 地元有志・学校関係者
協働活動サポ ーターのべ人数	0	人	ボランティア のべ人数	80	人 地域住民
活動内容	田植え体験(春:6月1日)、田んぼの生き物観察(夏: 8月3日)、稲刈り体験(秋:10月5日)、収穫祭(12月8 日)、炭焼き体験(冬:3月(2日間))			参加者募集	各小学校を通じてチラシを配布し、希 望者が各自で申し込む

取組の概要

<主な取組内容>

● 農業体験学習

- ・ 田植え体験…素足で田んぼに入って苗植え
- ・ 田んぼの生き物調べ…田んぼや周辺の生き物調査
- ・ 稲刈り体験…稲刈りに挑戦ほか芋炊き
- ・ 収穫祭…餅つき、新米試食ほかレクリエーション
- ・ 炭焼き体験(2日間)…木炭・竹炭の作り方、取り出し



(農業体験学習)

● ロケット教室

- ・ 講師を招き、火薬燃料ミニロケットの打上げを実施



(ロケット教室)

<特色ある取組>

● 年間を通じた農業体験

米作りを主として、様々な農業体験学習等を行っている。
五感を通じた経験がふるさとの風景とともに子どもたちの
心に残ることを願っている。

また、継続した取組の中で、地域の支援者が増えており、
地域の活性化にもつながっている。



(炭焼き体験)

事業を実施して

【成果】

- 毎年、年間を通して体験活動を実施し、ふるさとの良さを再確認する機会となっている。
- 今年度は、ロケット教室を新たに実施し、活動の幅が広がった。

【課題】

- 体験活動場所の駐車スペースが限られている。
- 町内小学校の環境学習との連携を推進していきたい。

多田・中川学び舎【西予市】

～地域ぐるみで子どもの学びを支えよう～

◆活動の目的・理念

- 一人ひとりが目標を持ち、意欲的に学力向上を目指す子どもの学びを支援する環境を提供する。
- 地域の方々の協力を得ながら、学力の定着を目指す。
- 一人ひとりに応じた子どもの学びを支援する。

活動場所	中川地域づくり活動センター	対象児童・生徒	小学4年生～6年生	対象学校区名	多田小学校 中川小学校
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	0	日	:	～
	土・日・休業日等	36	日	9	: 00 ~ 11 : 30
児童・生徒の平均参加人数	17	人/日	学習支援員	4	人/日 教員・学校生活支援員経験者(全6名)
協働活動サポーターのべ人数	0	人	ボランティアのべ人数	0	人
活動内容	宿題や予習・復習の学習支援、プリントの活用、学習習慣の育成、学習相談への対応		参加者募集	小学校を通じてチラシを配布し、希望者を登録	

取組の概要

<主な取組内容>

- **宿題にじっくり取り組もう**
誰もが落ち着いて学習できる環境を整え、個々で宿題に取り組み、疑問点は丁寧に指導し、苦手箇所を克服する。また、学習習慣の定着を図り、学ぶ力の向上を目指す。
- **ステップアップ学習に挑戦しよう**
宿題が終わったら、指導者が用意したプリントにも挑戦し、学力向上を目指す。

児童の感想

- ・分からないところを丁寧に教えてくれるので、勉強が楽しくなった。
- ・友達と一緒に勉強できるから楽しい。
- ・勉強が分かるようになったので、参加してよかった。

保護者の感想

- ・友達と参加することで、学習への意欲が高まった。
- ・夏休みなどの長期休暇でも、計画的に宿題に取り組むことができた。
- ・家庭で教えると親子げんかになりがちだが、学び舎(まなびや)で丁寧に教えてもらって本当にありがたい。



(学習の様子)

<特色ある取組>

- **地域の人材を生かした学力向上**
地域在住の指導者を招き、児童の指導をお願いしている。元教員や学校生活支援員を経験されている方を中心に構成することで、児童への指導や対応をきめ細かに行うことができる。児童・保護者からも高評価を得ており、弟妹に引き継いで参加する家庭も見られる。
- **障がい児を含むすべての児童への配慮**
誰もが安心して学べる環境を整備するため、支援体制を強化し、個々のニーズに応じたきめ細かな対応を行っている。
- **小学校6年生への進学支援**
6年生とその他の児童の教室を分け、中学校進学に向けた学習及び生活面の支援を実施している。



(学習支援の様子)

事業を実施して

【成果】

- 土曜日の午前中は、学び舎で勉強することが習慣化されつつある。
- 保護者や学校関係者の連携により、児童の安心感と学習意欲が高まり、継続的な参加につながった。

【課題】

- 指導者が不足している。
- 2小学校区を対象に開講しているが、送迎が必須であるため、遠方の児童は参加が困難である。

うわじま土曜塾【宇和島市】

～地域ぐるみで子どもの学びを支えよう～

◆活動の目的・理念

- 少人数指導によって、各塾生に合ったきめ細かい学習支援を行い、学力の向上や学習習慣の定着を図る。
- 体験学習やレクリエーションを通じて、相互の人間関係を深めるとともに、将来について考える機会を与える。

活動場所	市内6か所の公民館	対象児童・生徒	小学4年生～6年生 中学1年生～3年生	対象学校区名	宇和島市内の小・中学校(小学校22校、中学校6校)
開催日数・曜日・時間等	平日(授業日)	0 日	毎週土曜日(午前の部)	9 : 00 ～ 12 : 00	
	土・日・休業日等	39 日	毎週土曜日(午後の部)	13 : 30 ～ 16 : 30	
児童・生徒の平均参加人数	1か所 13 人/日	学習支援員	1か所 6 人/日	教員経験者、塾講師、家庭教師など	
協働活動サポーターのべ人数	0 人		ボランティアのべ人数	0 人	
活動内容	教科書準拠の教材やスタッフ自作の教材を活用して、個に応じた「学習支援」や「体験学習」を行う。		参加者募集	各小・中学校を通じてチラシを配布し、希望者を登録	

取組の概要

<主な取組内容>

● 学習支援

- ・ 開講式に、前学年までの学習内容のテストを行い、各塾生の学習習熟度を把握する。
- ・ 事前に教材研究を行い、提示資料やプリントの作成等の準備をしっかりと行い支援に臨む。
- ・ 学年、教科、習熟度によって少人数のグループに分かれ、きめ細かな学習支援を行う。
- ・ 教室と家庭(保護者)の連携ツールとして、「ふり返しプリント」を活用している。

● 研修会

- ・ 各教室でミーティングを行い、塾生の学習状況や課題等の情報交換を行う。(月1回)
- ・ 市教委、教室リーダー、土曜塾コーディネーターが集まり、リーダー研修会を行う。(年3回)
- ・ 全教室のスタッフが集まる全体研修会を行い、情報交換や意見発表を行う。(年3回)



(各教室の学習の様子)

(全体研修会)

塾生の感想

- ・ 分からない所を教えてくれるので、学校の問題が少しずつ分かるようになったので、とてもよかった。
- ・ 土曜塾に行き始めて、勉強に対する姿勢が変わったので、このまま勉強して頑張りたい。
- ・ いろいろな先生に教えてもらって、かなり分かるようになった。分からないことは理解できるまで教えてくれるので、理解が深まった。友達と勉強ができて楽しい。

<特色ある取組>

● 地域の民間企業・団体等を活用した体験学習

- ・ 目的 活動を通じてコミュニケーションを図り、塾生が将来の夢や目標について考えるきっかけをつくる。
- ・ 内容 ①外部講師による体験学習(ピカピカ泥だんごづくり、塩作り、ドローン体験、美容教室等)
②防災学習、各教室で企画したレクリエーションやお楽しみ会



(美容教室)



(ピカピカ泥だんごづくり)

事業を実施して

【成果】

- 個別支援の充実、研修会の工夫による成功事例等の情報共有によって、塾生の学習意欲や学力が向上した。
- 「ふり返しプリント」の充実や参観日の実施、マスメディアの活用等により、学校・家庭・地域との連携が深まり、塾の活動に好影響を与えている。

【課題】

- 塾の活動をさらに充実させ、入塾希望者の増加及び塾生の出席率を向上させたい。
- 中学生の学習支援員について、今後教室を増設する予定であることや、専門性が高いことから人員が不足している。



放課後子ども教室



「クラブ活動(茶道教室)」
(子どもの居場所づくり教室【久万高原町】)

①【四国中央市】	サタワク寒川教室	54
②【新居浜市】	わくわく宮西っ子教室	55
③【西条市】	神拝小学校放課後子ども教室	56
④【今治市】	宮窪小学校放課後子ども教室	57
⑤【東温市】	川上放課後わくわく教室	58
⑥【伊予市】	通学合宿いよっこ村	59
⑦【久万高原町】	子どもの居場所づくり教室	60
⑧【大洲市】	平野放課後子ども教室	61
⑨【内子町】	石畳小学校放課後子ども教室	62
⑩【西予市】	Seiyo Kids Lab	63
⑪【宇和島市】	清満放課後子ども教室	64
⑫【鬼北町】	日吉地区放課後子ども教室	65
⑬【愛南町】	長月子ども塾	66

サタワク寒川教室【四国中央市】

～地域の子どもは地域で育てる～

◆活動の目的・理念

- 子どもたちが安心して活動できる居場所づくりに取り組む。
- 子どもたちが様々な体験を通して、自分で考え、行動する力を身に付けることができるようにする。

活動場所	寒川公民館		対象学校区名	寒川小学校		子どもの平均参加人数	30 人/日	
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	日		:	～	:	児童クラブ との連携	児童クラブなし
	土・日・休業日等	7 日	長期休業中の土曜日	13	:	15		
活動のべ日数	7 日	学習活動	スポーツ	文化芸術	体験活動	7 日	交流活動	その他
協働活動リーダーのべ人数	7 人	人	人	人	人	7 人	人	人
協働活動サポーターのべ人数	2 人	民生児童委員、会社員			ボランティアのべ人数		30 人	地域住民
参加者募集	学校を通じてその都度チラシを配布SNSでの広報		参加費用	0～300円/回		連携・協力機関・団体	寒川公民館・地域住民 ほか	

取組の概要

<主な取組内容>

- 各団体とのコラボ教室
 - ・子どもたちに自団体の活動を提供し、団体の魅力を伝える体験活動
- クリスマスイベント
 - ・クリスマスツリーへの飾り付け
- 自主学習
 - ・長期休業中の宿題を目標を立てて、自ら活動
- チャレンジ学習
 - ・子どもたちが自ら考え、自ら活動



(各団体とのコラボ教室)



(クリスマスイベント)



(自主学習)

児童の感想

- ・友達といろいろな体験ができてよかった。
- ・クリスマスツリーを作ることができて楽しかった。
- ・みんなと宿題ができて、宿題が早く終わってよかった。

<特色ある取組>

● 様々な団体とのコラボ

「子どもたちに自分たちが行っている活動を紹介・体験してもらいたい」という団体とマッチングすることで、子どもたちにサタワク寒川教室だからこそできる非日常的な体験を提供できた。

団体には、必ず子どもたちが自分で考える力が身に付くような時間を設けるよう依頼しており、本教室の目指す「何事にもチャレンジする」姿勢が養えるよう、見守ってもらっている。



(課題にチャレンジしている様子)

事業を実施して

【成果】

- 子どもたちが学校や家庭では体験できないようなことを経験し、何事にもチャレンジするという姿勢を育むことができた。
- 思いを同じにする地域住民が集って、子どもたちを育てるといったコミュニティを作れた。

【課題】

- 団体とのコラボ教室以外の通常回の内容の充実を図るとともに、活動が定型化しないような取組を考える必要がある。
- 本教室を運営する協力者の確保が必要である。

わくわく宮西っ子教室【新居浜市】

～子ども一人一人が輝けるホームグラウンドづくり～

◆活動の目的・理念

- 子どもの安心・安全な居場所づくりに取り組む。
- 活動を通じて、子ども・保護者・地域の方々との交流を深める。
- 地域の方々の協力を得て、子どもたちに様々な体験活動や学習支援を提供する。

活動場所	宮西小学校・口屋跡記念公民館		対象学校区名	宮西小学校		子どもの平均参加人数	26 人/日	
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	0 日				児童クラブ との連携	校内交流型 すみれクラブ	
	土・日・休業日等	29 日	夏季休業日		10 : 00 ~ 12 : 00			
活動のべ日数 14 日	学習活動 62 人	10 日	スポーツ 人	文化芸術 3 人	2 日	体験活動 8 人	交流活動 人	その他 人
協働活動リーダーのべ人数 73 人								
協働活動サポーターのべ人数	73 人	まちづくり協議会子ども応援部会 放課後まなび塾指導者(教員経験者)			ボランティア のべ人数	55 人	宮西小学校保護者・地域住民	
参加者募集	小学校にて案内を配布		参加費用	無料		連携・協力 機関・団体	宮西校区まちづくり協議会・口屋跡記念公民館・宮西小学校・次世代ネットワーク	

取組の概要

<主な取組内容>

- 学習活動
 - ・夏休み学習会(まなび直し教室)
- 文化芸術活動
 - ・茶道教室
 - ・将棋教室
- 体験活動
 - ・住友化学工場見学
 - ・防災キャンプ



(夏休み学習会 低学年)



(夏休み学習会 高学年)



(住友化学工場見学)



(茶道教室)



(将棋教室)

児童の感想

- ・夏休みの宿題が早めに終わってよかった。苦手な算数を教えてもらって、少し自信が付いた。
- ・防災キャンプでは、季節で持ち出し袋の中身を考えて入れ直していかなければならないと思った。

<特色ある取組>

● 防災キャンプ

夕方4時に大地震が発生したと想定し、避難訓練及び防災キャンプを実施した。次世代ネットワーク所属の高校生の指導の下、体育館で手作り段ボールベッドを作成したり、炊き出し訓練を行ったりと、家庭ではできない有意義な体験をすることができた。また、活動を通して、異学年交流や家族間での交流、地域の方との交流が深まった。

● 夏休み学習会

夏季休業中の始めの5日間と最終週の5日間に、放課後まなび塾の指導者と地域の元教員の協力を得て、午前中の2時間の間、個に応じた学習支援を行った。毎回、約50人の児童が参加した。夏休みの宿題が中心であるが、学び直しの目的で参加する児童も増えてきた。



(防災キャンプ)

事業を実施して

【成果】

- 活動を通して、子どもたち同士で助け合い、教え合うようになるとともに、同学年や異学年での交流が深まった。
- 防災キャンプでは、地域の方との交流や保護者同士の交流が深まった。また、11月に実施したことで、寒さ対策の必要性を痛感し、持ち出し袋の中身を親子で話し合うことができた。

【課題】

- 中学生ボランティアが企画から参加できるシステムを構築する。
- 校区まちづくり協議会子ども応援部会との連携強化を図る。
- 児童のニーズに合ったプログラムを作成する。

神拝小学校放課後子ども教室【西条市】

～子ども育てから大人育てへ～

◆活動の目的・理念

- 地域の中で子どもを育てるとともに、大人もともに成長できる活動を目指す。
- 祖父母と一緒に学ぶ教室を目指す。
- 学校や家庭ではできない体験を行う。

活動場所	神拝公民館		対象学校区名	神拝小学校		子どもの平均参加人数	15 人/日					
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	0 日				児童クラブ との連携	連携型					
	土・日・休業日等	15 日		土曜日・休業日			9 : 30 ~ 11 : 30		神拝児童クラブ			
活動のべ日数 14 日	学習 活動	1 日	スポー ツ	1 日	文化 芸術	4 日	体験 活動	5 日	交流 活動	3 日	その他	0 日
協働活動リーダーのべ 人数 17 人		1 人		1 人		6 人		7 人		2 人		0 人
協働活動サポーターのべ人数	15 人		PTA会員、地域ボランティア		ボランティアのべ人数		22 人		地域ボランティア			
参加者募集	各小学校を通じてチラシを配布		参加費用	1回0~200円		連携・協力 機関・団体	神拝公民館 神拝青少年健全育成協議会					

取組の概要

<主な取組内容>

- **地域の方と交流する昔あそび**
 - ・けん玉やカルタ取り、竹とんぼなど昔の遊びを通じて、高齢者は「教える」ことで役割を実感でき、子どもたちは「教わる」ことで地域の方との関わりが深まった。
- **フラワーアレンジを通じた情操教育**
 - ・四季の移ろいに気付いたり、植物への興味が深まったりした。
 - ・穏やかにゆっくりと過ごす時間を楽しみながら、活動する親子も見られた。
- **楽しく簡単にできるメニューの料理教室**
 - ・異学年の子どもたちが一緒に作業することで、調理中の役割分担など、お互いを思いやることができた。
- **手作りの楽しさ、指先の器用さや集中力が育つ手芸教室**
- **様々な体験を通じ、好奇心を伸ばすわくわく教室**

	時間帯	活動内容
土	9:30~11:00	昔あそび
土	9:30~11:00	花育
土	9:30~11:30	料理教室
土	9:30~11:30	手芸教室
土	10:00~11:00	わくわく教室



(しめ縄飾りができたよ!)

児童の感想

- ・教室で作った指輪をお母さんにプレゼントできてうれしかった。(糸糸くらぶ島)
- ・福笑いで変な顔ができておもしろかった。(昔あそび島)

<特色ある取組>

- **わくわく島**
 - ・本教室は、様々な学びや体験を通して子どもたちの好奇心を伸ばす教室であり、今年度は、郷土館の学芸員の指導によるカブトガニの生態教室を行った。本物のカブトガニを夢中で観察する子どもたちの様子が見られた。
 - ・伝承行事のしめ縄飾りでは、地域の方と子どもたちが協力して作業する姿が見られ、和気あいあいとにぎやかに交流できた。



(生きた化石に興味津々!)

事業を実施して

【成果】

- 学校ではできない活動ができた。
- 地域のボランティアとの交流を通じて、子どもたちのコミュニケーション能力の向上につながっている。

【課題】

- 地域の人材発掘
- 活動内容の充実
- 安全管理のより一層の配慮

宮窪小学校放課後子ども教室【今治市】

～地域の子どもは地域で育てる～

◆活動の目的・理念

- 長期休業中における放課後の子どもの安全で健やかな活動場所の確保を図る。
- 子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。

活動場所	今治市宮窪公民館		対象学区名	宮窪小学校		子どもの平均参加人数	10 人/日	
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	0 日				児童クラブとの連携	児童クラブなし	
	土・日・休業日等	32 日	夏・冬季休業中の月～金	8 : 30 ~ 12 : 30				
活動のべ日数 32 日	学習活動	32 日	スポーツ	文化芸術	体験活動	交流活動	その他	日
協働活動リーダーのべ人数 96 人		96 人	人	人	人	人	人	人
協働活動サポーターのべ人数	0 人		ボランティアのべ人数			0 人		
参加者募集	小学校を通じてチラシを配布		参加費用	無料		連携・協力機関・団体	無	

取組の概要

<主な取組内容>

● 7・8・12月の宿題教室

今年度は、例年通り夏休み・冬休み宿題教室を開催することができた。開催場所も2階会議室で実施した。新型コロナウイルス感染症が5類感染症になったが、検温・手の消毒を徹底し、マスクは各自の判断で行った。

● 子どもたちの様子

異年齢の子どもたちの集まりではあるが、皆顔なじみで和気あいあいと仲良く勉強することができた。子どもたちは、協働活動支援員とともに、宿題に取り組んだ。教室に参加した6年生の一人は、宿題教室で描いた絵が文化祭で展示されることになり、祖父とともに喜んでいました。

	時間帯	活動内容
月	8:30～12:30	宿題教室
火	8:30～12:30	宿題教室
水	8:30～12:30	宿題教室
木	8:30～12:30	宿題教室
金	8:30～12:30	宿題教室
土	～	



(宿題早く終わってよかった！)

児童の感想

- ・宿題が早く終わってよかった。
- ・協働活動支援員と楽しく宿題ができた。
- ・友達と一緒に宿題ができてよかった。夏休み宿題教室にはお世話になった。分かりやすく教えてくれて、とても楽しく勉強ができた。

<特色ある取組>

● 宿題教室

- ・みんなが楽しく続けられるように、勉強時間・休憩時間を決めている。子どもたちは、真面目に勉強しており、休憩時には、折り紙や塗り絵をして楽しんでいる。
- ・長期休業中を楽しく過ごすことができるよう、宿題をがんばっている。参加した子どもは、ほぼ教室期間中に宿題を終えることができおり、保護者からも喜んでいただいている。子どもからも「毎日楽しく来ている」と、好評である。



(「これはどういうこと？」と支援員に聞きながらがんばっています！)

事業を実施して

【成果】

- 長期休業中の子どもの安心安全で健やかな活動場所を確保することができた。
- 高学年の児童は、低学年の児童の面倒を見るなど、異年齢の子ども同士が仲良くなった。

【課題】

- 協働活動支援員の確保が難しい。
- たくさんの子どもが参加すると、一人ひとりに目が行き届きにくくなる。

川上放課後わくわく教室【東温市】

～地域とつながり、ともに成長する～

◆活動の目的・理念

- 放課後の子どもたちの安心安全な居場所を設ける。
- 子ども同士や地域の指導者との豊かなふれあいを通じて、社会性を身に付ける。
- 多様な体験活動を通じて、子どもたちの生きる力・柔軟な感性を育み、将来の可能性の幅を広げる。

活動場所	川上小学校		対象学区名	川上小学校		子どもの平均参加人数	22 人/日					
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	21 日	水曜日(Aクラス)		15:20～16:45	児童クラブ との連携	連携なし					
		22 日	水曜日(Bクラス)									
活動のべ日数 29 日	学習 活動	10 日	スポー ツ	10 日	文化 芸術	日	体験 活動	9 日	交流 活動	日	その他	日
協働活動リーダーのべ 人数 2 人	2 人	0 人					0 人					人
協働活動サポ ーターのべ人数	2 人	元地域おこし協力隊			ボランティア のべ人数		46 人	大学生、婦人会員、愛護 班員、老人クラブ				
参加者募集	年度初めに小学校を通じてチラシ を配布し受講生を募集		参加費用	無料(※材料費として 年間1000円徴収)		連携・協力 機関・団体	株式会社愛媛FC					

取組の概要

<主な取組内容>

- **スポーツ団体によるスポーツ教室**
運営元である愛媛FCを含めて、愛媛マンダリンパイレーツ、愛媛オレンジバイキングス、愛媛プロレス、伊予銀行テニス部の選手、コーチ、レスラーを講師として招き、スポーツ教室を行った。地元のスポーツ団体を知ること、スポーツに興味を持つきっかけ作りを行った。
- **地元企業によるワークショップの開催**
カネシロ、城東開発、愛媛日産などの愛媛にある県内企業や、愛媛に拠点のある全国に支店を構える企業を講師として招くことで、地元企業を知り、子どもたちが将来の目指す仕事に地元企業が選択肢となってくれるようなキャリア教育の要素を盛り込んだ。
- **高校や大学と連携した講座の実施**
高校や大学と連携をした講座を実施することで、講師として参画する生徒にも学びや発見につながるような講座を実施した。参加児童には、スポーツや体験活動を通じて、地元の学校を知る機会となった。



(スポーツ団体によるスポーツ教室)



(地元企業によるワークショップ)



(高校や大学との連携)

児童の感想

- ・活動前に宿題の時間があった、宿題を終わらせることができうれしい。
- ・違うクラスや同じ学年の友達ができた。
- ・ものづくりや体験活動が楽しかった。

<特色ある取組>

- **紙で作ろう未来の〇〇、サステナスクール**
関西万博で、日本紙パルプ商事株式会社さんが実施したワークショップ、株式会社NTTドコモさんが開催したVR体験を実施した。日本で開催された万博を身近に感じてもらうとともに、万博に行かないと体験できない活動をわくわく教室内で実施できたことは、参加児童にとってもよい体験となった。



(様々な種類の紙でオリジナルのノートづくり)

事業を実施して

【成果】

- 地元の学校や企業との連携が構築できたことで、地域との接点づくりの幅が広がった。東温市内を拠点とする学校や企業に限らず、松山圏域の企業と連携し講座を実施していくことで、地域愛・地元愛を醸成する一助になった。

【課題】

- 後半にかけて高学年に欠席者が増える傾向がある。教室の雰囲気づくりや参加児童の声を反映しながら教室づくりを行っていく必要がある。学ぶだけではなく、子どもたちの「楽しい!」の声がもっと聞けるような教室づくりを今後も目指したい。

通学合宿いよっこ村【伊予市】

～自分のことは自分でする「自立心」を育む～

◆活動の目的・理念

- 「地域の子どもは地域で育てる」という考え方の下、実施する。
- 4日間の子離れ体験の中で、保護者自身の家庭教育を見直す機会とする。
- 地域住民がそれぞれの立場で参加することで、子どもへの理解を深め、地域で子どもを育む機運を高める。

活動場所	上野地区公民館		対象学校区名	伊予小学校		子どもの平均参加人数	29 人/日	
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	3 日	水・木・金	6:00～21:30		児童クラブ との連携	連携なし	
	土・日・休業日等	1 日	土曜日	6:00～12:00				
活動のべ日数 4 日	学習 活動	日 人	スポー ツ	日 人	文化 芸術	日 人	体験 活動	4 日 人
協働活動リーダーのべ 人数 0 人							交流 活動	日 人
協働活動サポーターのべ 人数	0 人				ボランティ アのべ人数	36 人		PTA、食生活改善グル ープ、更生保護女性会、民 生児童委員
参加者募集	小学校を通じてチラシを配布		参加費用	4,000円		連携・協力 機関・団体	PTA、食生活改善グループ、更生 保護女性会、民生児童委員	

取組の概要

水	19:30～21:30	開村式、学習、日記
木	6:00～21:30	洗濯、料理、学習、日記
金	6:00～21:30	洗濯、料理、学習、ふれあいタイム、日記
土	6:00～12:00	料理、掃除、ふれあいタイム、日記、閉村式

<主な取組内容>

- 朝食・夕食作り
 - ・地域の方々の支援で朝食・夕食づくりを行った。
- 洗濯
 - ・衣類を洗濯して干すまでの過程を子どもたちが行った。
- 学習・日記
 - ・宿題が終わった後、毎日日記を書き、一日の活動を振り返った。
- ふれあいタイム
 - 〈1日目〉・生活体験以外の時間でレクリエーション活動を行い、親睦を深めた。
 - 〈2日目〉・地域の読み聞かせグループによる絵本の読み聞かせを行った。
 - 〈最終日〉・砥部町の陶芸家の指導で、砥部焼絵付け体験を行った。



(朝食づくり)



(みんなでいただきます!)

児童の感想

- ・家でも洗濯をがんばってみようと思った。

保護者の感想

- ・公民館と地域の方々に支えていただき、かけがえのない経験になった。

<特色ある取組>

● 家族からの手紙

3日目のふれあいタイムで保護者から事前に預かった子どもへの手紙をサプライズで渡した。保護者の気持ちを感じ、家族の大切さを実感する時間となった。保護者にとっても、子離れ体験により、子どもとの関係を見直す機会となった。



(思わず顔を伏せる姿も)

事業を実施して

【成果】

- 親元から離れて生活体験をすることで、家庭で自ら家事を行うなど、子どもに前向きな変化があった。
- 学校支援ボランティア含む多くの人の協力により、地域で子どもを育む機運を高めることができた。

【課題】

- 時期的に大学生ボランティアを確保しづらいが、参加児童に年齢に近い若いスタッフを確保し、幅広い年代のボランティアとともに行事を運営できるように努める。

子どもの居場所づくり教室【久万高原町】

～すべての子ども、地域の方が心地よく過ごせる居場所づくり～

◆活動の目的・理念

- 放課後や週末等に子どもたちが安心安全に、健やかに過ごすことのできる居場所を提供する。
- 子どもたちの適切な遊びや生活の場を確保したり、地域の方々の参画を得ながら学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動などの取組を実施したりする。

活動場所	児童館(NIKONIKO館)、近隣公園、地域の施設	対象学校区名	明神小学校、久万小学校、畑野川小学校、直瀬小学校、父二峰小学校、美川小学校、仕七川小学校、柳谷小学校、面河小学校	子どもの平均参加人数	15 人/日		
開催日数	平日(授業日) 5 日	水・木・金(不定期)	13 : 00 ~ 17 : 00	児童クラブ	連携型		
曜日・時間	土・日・休業日等 73 日	土曜日	9 : 00 ~ 17 : 00	との連携	久万高原町放課後児童クラブ		
活動のべ日数	252 日	学習活動 40 日	スポーツ 51 日	文化芸術 10 日	体験活動 32 日	交流活動 55 日	その他 14 日
協働活動リーダーのべ人数	3160 人	40 人	1200 人	20 人	1500 人	200 人	200 人
協働活動サポーターのべ人数	2 人	児童厚生員	ボランティアのべ人数	5 人	大学生、婦人会員、老人クラブ、高校生		
参加者募集	育和会だよりを配布 イベントによっては事前申し込み必要	参加費用	無料 (イベントによっては有料)	連携・協力 機関・団体	地域ボランティア・婦人会・公民館・高校生		

取組の概要

<主な取組内容>

- NIKOスイーツ(こども食堂)～おやつ編～
・学童保育の手作りおやつを一緒に食べる。
- 笛ヶ滝 day
・地域の公園で野球やサッカーをしたり、児童館周辺を散歩したりして、自然に親しむ。
- 英語であそぼう
・外国人スタッフと英語のレクリエーションを楽しむ。
- 香りの保育
・地域を散策して、草花やハーブを見つけ、香りを楽しむ。
- 昭和レトロ
・地域の方から昔遊び(お手玉、けん玉、こま回し、竹馬など)を教えていただき、学生や園児、子育て世代の親子との交流を行う。

児童の感想

- ・笛ヶ滝dayで、広い公園で野球やサッカーで遊ぶのが楽しかった。
- ・花育キッズは毎年参加していて、できあがった作品を家に飾るのがうれしい。
- ・友達とおかしやさんに遊びに行くのが楽しかった。

	時間帯	活動内容
水	13:00～17:00	笛ヶ滝day・フラダンス・ネイチャー探検隊・昭和レトロ・NIKOスイーツ
木	13:00～17:00	おかしやさん・クラフト
金	15:00～17:00	英語であそぼう
土	9:00～17:00	Cookドゥドゥル・こっとなコットン・クラフト
	不定期	花育キッズ・香りの保育・カルチャレンジャー



(英語で遊ぼう)

<特色ある取組>

- クラブ活動(学童保育と一体となっている施設であるため、合同に取り組んで活動することが多い。)
- ・第2土曜日…こっとなコットン(針と糸を使って、かわいい小物作り)
- ・第3土曜日…Cookドゥドゥル(おいしいスイーツ作り)
- ・第2・4水曜日…フラダンス(講師の先生より、フラダンスをレクチャー)
- ・第1水曜日…ネイチャー探検隊(自然の中で虫や植物に触れて楽しむ体験)
- ・第3水曜日…茶道教室(講師を招いて、茶道を通して日本の文化に触れる。)
- ・毎週木曜日…おかしやさん(どなたでも!赤いのれんが目印の駄菓子屋さん)
- ・活動不定期…遊友団 ジュニアボランティア活動(地域交流、子ども主体の活動)
香りの保育(季節の草花、ハーブをさりげなく飾り、香りを楽しむ。)
- ・年間数回…花育キッズ・レクリエーション・ワークショップなど
(講師の先生を招いて、楽しい活動を行う。)



(茶道教室)

事業を実施して

【成果】

- 地域への広報活動を積極的に行うとともに、様々な機関と連携・協働することにより、地域の方々幅広い年齢層の人と交流活動を行うことができた。
- 交流活動を通して、お互いを尊重し合うことで、いたわりの心や思いやりの心を育むことができた。

【課題】

- 児童館(NIKONIKO館)の限られた時間の中で、ニーズを捉えて計画的に実施していく。
- 三世代交流の場所として、地域の方にNIKONIKO館を知ってもらうとともに、子どもたちが主役の活動を広げていきたい。

平野放課後子ども教室【大洲市】

～地域の中で、心豊かなたくましい子どもを育てよう～

◆活動の目的・理念

- 放課後の子どもたちの安全・安心な居場所を提供する。
- 異年齢の子どもたちの交流や地域の大人との交流を通じて、地域の中で心豊かなたくましい子どもを育む。

活動場所	平野小学校		対象学校区名	平野小学校		子どもの平均参加人数	24 人/日					
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	25 日	毎週水曜日程度	15 : 30 ~ 16 : 30		児童クラブ との連携	一体型					
	土・日・休業日等	0 日		: ~ :			平野放課後児童クラブ					
活動のべ日数 25 日	学習 活動	日 人	スポー ツ	9 日	文化 芸術	15 日	体験 活動	日 人	交流 活動	日 人	その他	1 日
協働活動リーダーのべ 人数 46 人				18 人		27 人						1 人
協働活動サポーターのべ 人数	0 人		ボランティア のべ人数		0 人							
参加者募集	小学校を通じてチラシを配布 行事によってはその都度募集			参加費用	保険料800円のみ	連携・協力 機関・団体	平野小学校、平野小PTA及び元 PTA、平野自治会					

取組の概要

<主な取組内容>

- 俳句・工作・お楽しみ
 - ・俳句作りを基礎から楽しみながら学習する。
 - ・工作や遊びをする。
- 運動で身体づくり！
 - ・ストレッチや遊びで平衡感覚や柔軟性を養う。
 - ・きびきびとした行動をする。
- 音楽（楽器にふれよう）
 - ・いろいろな楽器に触れ合いながら、
 - ・音楽の楽しさを知る。後に発表会をしたい。
 - ・クラシック鑑賞（イメージを絵にする。）

	時間帯	活動内容
月	～	
火	～	
水	15:30～16:30	俳句・工作・お楽しみ・運動・音楽
木	～	
金	～	
土	～	

児童の様子

- ・低学年の児童が多く、俳句作りは難しそうであったが、季節の BINGO（その時期のことば）などを通して、楽しみながら語彙を増やしている。
- ・音楽では、合奏をしたり、撮影した動画を鑑賞したりしている。クラシック鑑賞（イメージを絵にする。）が人気である。
- ・運動が大好きで、ゲーム感覚で楽しんで体を動かしている。



(クリスマス会リース作り)

<特色ある取組>

● 多彩なプログラム

俳句、工作、運動、音楽という多彩なプログラムで活動している。指導員が全て地区の住民であるという恵まれた環境にあり、子どもたちは毎回楽しく取り組んでいる。季節のイベントを実施するなど、飽きさせない工夫をしている。



(運動…しっぽ鬼)

事業を実施して

【成果】

- 子どもたちは毎回楽しく参加しており、約84%の出席率である。
- 多彩なプログラムで、飽きることなくできている。
- 昨年度から参加者がかなり増えてきている。(約3割増)

【課題】

- 低学年の児童の割合が多くなり、指導方法を工夫しないといけない。
- 児童クラブとの連携ができておらず、活動中の見守りが手薄になっている。児童支援員の理解が必要だが、進んでいない。

石畳小学校放課後子ども教室【内子町】

～地域の子どもは地域で育てる（まんまるえがおクラブ）～

◆活動の目的・理念

- 石畳地区児童の放課後の安全・安心を確保するための居場所づくり
- 地域行事の交流や学習の体験を通じた「心豊かなたくましい子ども」の育成
- 異年齢の児童と交流を通じた「やさしさ」「思いやり」「社会性」「協調性」の育成

活動場所	石畳小学校校舎内		対象学校区名	石畳小学校		子どもの平均参加人数	5 人/日	
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	110 日	月・火・金	放課後 ～ 17 : 45		児童クラブ との連携	児童クラブなし	
	土・日・休業日等	10 日	夏季休業中の月・火・金	8 : 30 ～ 17 : 45				
活動のべ日数 120 日	学習活動 110 日	スポーツ 8 日	文化芸術 16 人	日 人	体験活動 2 日	交流活動 4 人	日 人	その他 日 人
協働活動リーダーのべ人数 260 人								
協働活動サポーターのべ人数	0 人			ボランティアのべ人数	0 人			
参加者募集	小学校を通じて募集		参加費用	半日400円		連携・協力機関・団体	石畳小学校、石畳自治会、内子東自治センター	

取組の概要

<主な取組内容>

- 平日放課後
 - ・読書や学習活動（宿題・予習・復習）、工作等
 - ・グラウンドや体育館での遊び（一輪車、ボール遊び）等
- 休業期間中
 - ・散歩を兼ねた自然観察会、花摘み、虫採り等
 - ・地域の高齢者との交流、水遊びやクリスマス会の実施等

児童の感想

- ・子ども教室ができてよかったし、楽しい。
- ・毎日来たい！
- ・クリスマス会で、自分のケーキがかわいらしくできた。

	時間帯	活動内容
月	放課後 ～ 17:45	学習活動・自由遊び
火	放課後 ～ 17:45	学習活動・自由遊び
水		
木		
金	放課後 ～ 17:45	学習活動・自由遊び
土		



(学習の様子)

<特色ある取組>

- 小学校の遊具を利用した教室外での活動（鉄棒・ブランコ・砂遊び等）
 - ・毎回30分を目安に、全員で外遊びをするようにしている。
- 身近な自然と触れ合う機会の設定や、体験活動等の開催



(創作の時間)



(みんなで作ったカレーを食べよう！)

事業を実施して

【成果】

- 放課後における子どもたちの居場所や学習の場の提供ができた。
- 異年齢の児童や指導員（地域住民）との交流により、児童のコミュニケーション力が向上した。
- 交流を通して、新しいつながりが構築できた。
- 事業を通して、地域住民の子どもに対する理解が深まり、地域の子どもは地域で育てる気運が高まった。

【課題】

- 山間地であるため、地域外の団体等と連携した活動を行うことが難しい。
- 指導員不足で人材確保が急務となっている。
- 事業開始して2年目と浅く、子どもとの接し方や指導方法について知識や経験を積み上げることが必要である。

Seiyo Kids Lab【西予市】

～地域みんなでささえる子育て～

◆活動の目的・理念

- 体験活動や勉強を通じて、地域住民との交流の機会を設ける。

活動場所	石城地域づくり活動センター		対象学校区名	石城小学校	子どもの平均参加人数	18 人/日					
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	3 日	火・木・金曜日	14 : 00 ~ 18 : 00	児童クラブ との連携	連携なし					
	土・日・休業日等	0 日									
活動のべ日数 117 日	学習 活動	117 日	スポー ツ	日 人	文化 芸術	日 人	体験 活動	日 0 人	交流 活動	日 人	その他 人
協働活動リーダーのべ 人数 390 人											
協働活動サポ ーターのべ人数	3 人	地域住民			ボランティア のべ人数		30 人	地域住民			
参加者募集	小学校を通じてチラシを配布 行事によってはその都度募集			参加費用	無料(材料費は 実費負担)	連携・協力 機関・団体	地域住民、地域づくり活動セン ター				

取組の概要

<主な取組内容>

- 宿題
 - ・教室に着いたら、まず、宿題に取り組み、その後、活動を行う。
- 工作教室
 - ・材料や道具の使い方を工夫するなど、作品が完成した時の達成感を大切にしながら、創造力や表現力を育む。
- スポーツ
 - ・みんなと一緒にできるスポーツを中心に行う。
- 虫取り
 - ・地域に生息する生き物を学び、地域の環境や季節の変化を知る。身近な環境への関心を高め、自然を大切にする心を育む。
- クッキング
 - ・地元の食材で健康と食文化を学ぶ。地域の食文化に親しみながら、協力して作り、食べる楽しさを味わう。

	時間帯	活動内容
火	14:00～18:00	宿題、工作教室、スポーツ、体験活動
木	14:00～18:00	宿題、工作教室、スポーツ、体験活動
金	14:00～18:00	宿題、工作教室、スポーツ、体験活動



(スポーツ活動の様子)

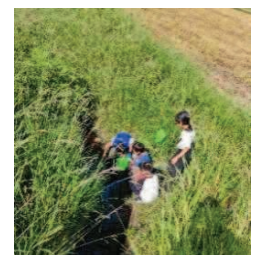


(体験活動の様子)

<特色ある取組>

● 地域住民とのつながり

地域住民が学習支援や体験活動に関わることで、子どもたちの学習意欲や主体性の向上が見られる。異なる学年の子どもや多世代間の交流を重ねる中で、協調性や社会性が育まれ、地域への愛着も深まっている。これらの取組は、子どもにとって安心・安全な居場所をつくるとともに、地域全体で子どもの成長を支えていくうえで、今後も大切にしていきたい。



(虫取りの様子)

事業を実施して

【成果】

- 地域のきずなが深まり、地域住民の子ども理解が進んだ。
- 地域の方から昔ながらの生活の知恵を学ぶことができた。

【課題】

- 年齢差で遊び方が合わず、一部の子どもが孤立している。
- 多様な活動を行う中で、準備や運営にかかる負担が増える場面が見られる。安全面への配慮を十分に行いながら、活動内容を整理し、無理のない運営を継続していくことが求められている。

清満放課後子ども教室【宇和島市】

～学び、体験し、成長する～

◆活動の目的・理念

- 清満小学校区において、放課後の子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等に取り組む。

活動場所	清満小学校、清満公民館		対象学区名	清満小学校		子どもの平均参加人数	19 人/日					
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	183 日	月・火・水・木・金	14 : 00 ~ 18 : 00		児童クラブとの連携	連携なし					
	土・日・休業日等	0 日		: ~ :								
活動のべ日数 183 日	学習活動	160 日	スポーツ	8 日	文化芸術	9 日	体験活動	3 日	交流活動	3 日	その他	日
協働活動リーダーのべ人数 406 人		360 人		16 人		18 人		6 人		6 人		人
協働活動サポーターのべ人数	0 人		ボランティアのべ人数			10 人		児童館スタッフ、地域住民				
参加者募集	小学校を通じてチラシを配布 行事によってはその都度募集			参加費用	1回150円	連携・協力 機関・団体	児童館こもりん、清満公民館					

取組の概要

<主な取組内容>



(砂場はお気に入り)



(みんなでボードゲーム)



(見て！きれいにできました！)



(学習もしっかりと)

	時間帯	活動内容
月	14:00 ~ 18:00	学習活動・自由遊び
火	14:00 ~ 18:00	学習活動・自由遊び
水	14:00 ~ 18:00	学習活動・自由遊び
木	14:00 ~ 18:00	学習活動・自由遊び
金	14:00 ~ 18:00	学習活動・自由遊び

● 放課後もみんなで学ぶ

- ・ みんなと一緒に自ら学ぶ

● 遊びもみんなと全力で

- ・ 放課後はみんなで楽しむ時間！

● 地域の人とも交流

- ・ 季節の行事や体験教室は、交流のチャンス

<特色ある取組>

● 児童館こもりんに遊びに行こう！

清満公民館に隣接する児童館「こもりん」へ訪問した。木のおもちゃやクライミングなど、ふだんの活動場所には見られない工夫を凝らした遊具に、子どもたちは、大はしゃぎで楽しんだ。



(どこまで積めるかな?)



(クライミングに挑戦)

事業を実施して

【成果】

- 子どもたちの安全・安心な居場所を確保することができた。
- 地域住民などの協力により、子どもたちの様々な体験の機会を創出でき、知識や感性の成長につながった。

【課題】

- 実施体制の維持が難しくなっている。
- 学校との連携が難しくなっている。
- 全体ルールの見直しが急務となっている。
- 予算確保が難しくなっている。

日吉地区放課後子ども教室【鬼北町】

～地域の子どもは地域で育てる～

◆活動の目的・理念

- 放課後における子どもたちの安心・安全な居場所をつくる。
- 地域住民の協力を得て、学習活動や交流活動等に取り組むことにより、心豊かで健やかな子どもたちを育てる。

活動場所	日吉小学校		対象学校区名	日吉小学校		子どもの平均参加人数	12 人/日	
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	5 日	月・火・水・木・金	15 : 00 ~ 18 : 00		児童クラブとの連携	児童クラブなし	
	土・日・休業日等	0 日						
活動のべ日数 189 日	学習活動	189 日	スポーツ	文化芸術	体験活動	交流活動	その他	日
協働活動リーダーのべ人数 0 人		0 人		人	人	人	人	人
協働活動サポーターのべ人数	236 人		地域住民、教員経験者		ボランティアのべ人数	0 人		
参加者募集	保護者説明会及び小学校を通じて案内を配布		参加費用	スポーツ安全保険 800円/年	連携・協力機関・団体	日吉小PTA、日吉小学校		

取組の概要

<主な取組内容>

- **学習**
 - ・宿題をしてから遊ぶという習慣付けをしている。
 - ・20分間読書に取り組む。
- **自由遊び・昔遊び**
 - ・オセロ、トランプ、ドミノ、ウノ、将棋、五目並べ、折り紙、けん玉、お絵かき、チラシ工作等、各自好きなことをして、友達と仲良く遊ぶ。
- **スポーツ**
 - ・日吉地区で盛んなソフトテニスやペタンクに取り組んでいる。ペタンクは季節や天候によって実施日を決めている。ソフトテニスは毎週水曜日に行っている。

	時間帯	活動内容
月	15:00~18:00	宿題・自由遊び・ペタンク等
火	15:00~18:00	宿題・自由遊び等
水	15:00~18:00	宿題・自由遊び等・ソフトテニス等
木	15:00~18:00	宿題・自由遊び等
金	15:00~18:00	宿題・自由遊び等

児童の感想

- ・年上の友達とトランプすることが楽しい。
- ・サポーターのみなさんがソフトテニスを教えてくれてうれしい。



(室内遊びでサポーターから折り紙を教えてもらっている様子)

<特色ある取組>

● スポーツ体験活動(ソフトテニス・ペタンク)

低学年から日吉地区で盛んなスポーツであるソフトテニスやペタンクを楽しみながら取り組んでいる。それぞれのスポーツに長年関わってこられた地元のサポーターに基礎から丁寧に教わっている。ソフトテニスやペタンクは、約1時間、学年応じてルールを学びながら遊んでいる。



(サポーターと体育館でソフトテニスを楽しむ様子)

事業を実施して

【成果】

- 子どもたちの様子に関する情報について、教員とサポーターとの間で共有化が図られている。
- 地域の方に見守ってもらったり、一緒にスポーツに取り組んだりする等、学校でも家庭でもない特別なコミュニティの中で、子どもたちの健やかな成長が育まれている。

【課題】

- サポーターの高齢化による人数減少により、サポーター全体に負担をかけていることから、人材確保に努める。

長月子ども塾【愛南町】

～子どもたちが安心できる場所を～

◆活動の目的・理念

- 放課後に、児童が安心・安全に過ごせる居場所をつくる。
- みんなで宿題や自主学習に取り組むことで、学習習慣の定着を図る。
- 地域の大人や異年齢の児童との交流を推進し、児童の社会性・協調性を養う。

活動場所	長月公民館		対象学校区名	旧長月小学校(平城小学校)		子どもの平均参加人数	3 人/日					
開催日数 曜日・時間	平日(授業日)	192 日	月・火・水・木・金	15 : 00 ~ 18 : 00		児童クラブとの連携	児童クラブなし					
	土・日・休業日等	0 日		: ~ :								
活動のべ日数 342 日	学習活動	192 日	スポーツ	150 日	文化芸術	日	体験活動	日	交流活動	日	その他	日
協働活動リーダーのべ人数 342 人		192 人		150 人		人		人		人		人
協働活動サポーターのべ人数	1 人	行政職員			ボランティアのべ人数		0 人					
参加者募集	小学校を通じてチラシを配布 随時入会を受付			参加費用	無料	連携・協力機関・団体	長月公民館・平城小学校					

取組の概要

<主な取組内容>

● 学習活動・読書

- ・ 自主的に宿題や学習・読書を行う習慣を身に付けられるように指導する。

児童の感想

- ・ 放課後も友達と過ごすことができるので楽しい。
- ・ 宿題忘れがなくなって、学校でほめられた。分からないところも教えてくれるのでうれしい。

保護者の感想

- ・ 子ども塾で宿題を済ませて帰ってくるので、家での時間を有意義に過ごせるようになった。
- ・ 家で一人である時間が少なくなり、安心している。

教員の感想

- ・ 子ども塾でしっかり教えてもらえるので、子どもたちの学力の向上が見られ、とても喜ばしい。

	時間帯	活動内容
月	15:00~18:00	宿題・自習・読書
火	15:00~18:00	宿題・自習・読書
水	15:00~18:00	宿題・自習・読書
木	15:00~18:00	宿題・自習・読書
金	15:00~18:00	宿題・自習・読書



(学習の様子)

<特色ある取組>

● 公民館との交流

公民館で教室を実施していることもあり、公民館に併設されている体育館を使用したバドミントン・サッカー・ボール遊び等、身体を動かす取組を行い、地域の方との交流を広げている。(公民館に子どもの声がするようになり、にぎやかになったと地域の方も喜んでいいる。)



(長月公民館での様子)



(体育館での様子)

事業を実施して

【成果】

- 児童が放課後に安全・安心に過ごせる居場所・学習の場を提供することができた。
- 高学年が低学年の学習を教える場面が見られるようになり、異年齢での交流が深まった。
- 公民館の図書室・体育館の利用者が増加した。

【課題】

- 指導員の確保が課題である。活動を広く周知することにより、指導員の人材確保に努める。
- 未設置校区への新設について、保護者の需要を把握するとともに、指導員や活動場所の確保という課題がある中、どのようにすれば、その需要に応えることができるか、関係機関と共に検討していく。

土曜教育活動



「海岸清掃&海洋プラを使ったアクセサリ作り」
(伊方土曜チャレンジスクール【伊方町】)

①【新居浜市】	土曜寺子屋教室	68
②【西条市】	里山の生活体験教室	69
③【上島町】	上島子ども体験教室	70
④【東温市】	ジュニア体験塾	71
⑤【伊予市】	双海町こども教室ふるさと体験塾	72
⑥【伊方町】	伊方土曜チャレンジスクール	73
⑦【愛南町】	ワクワク体験教室	74

土曜寺子屋教室【新居浜市】

～人間性豊かな子どもを育てる～

◆活動の目的・理念

- 「礼を正し、場を清め、時を守る」子どもの育成
- 市内児童の校外生活の充実を図る「学びの場」づくり
- 経験豊かな教育会所属教員OBの教育愛に基づく知恵と創意を生かした指導

活動場所	新居浜市教育会館		対象学校区名	市内全小学校区		子どもの平均参加人数	39 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日	39 日	9 : 00 ~ 12 : 00	活動のべ 日数	40 日	協働活動リー ダーのべ人数	56 人
	日・休業日等	1 日	10 : 00 ~ 15 : 30				
協働活動サポ ーターのべ人数	28 人	教員経験者		ボランティア のべ人数	82 人	教員経験者、保護者	
参加者募集	各小学校を通じて募集要項と受講 申込書を配布		連携・協力 機関・団体	市内全小学校			

取組の概要

<主な取組内容>

- 子ども囲碁道場
 - ・ 囲碁のルールの基本から学び、対局を楽しむ。
- 書を楽しむ
 - ・ 毛筆の技術上達を目指す。
- 子ども卓球教室
 - ・ 卓球の基礎と楽しさを知る。
- お茶席の作法
 - ・ 簡単なお点前の稽古に取り組む。
- 子ども俳句教室
 - ・ 俳句の作り方を学習する。
- 子ども英語教室
 - ・ 英語の発音に慣れ親しむ。



(子ども英語教室での活動)

<特色ある取組>

● 「成果発表会」の開催

例年11月に、土曜寺子屋教室で学ぶ児童の学習成果を発表する「土曜寺子屋教室成果発表会」を新居浜市文化振興会館にて実施。習字、俳句、英語の自己紹介、卓球教室活動感想展示のほか、囲碁対局、お茶会などをする。

ビデオや写真で日頃の様子を紹介したのが好評だった。



(「子ども囲碁道場」の対局)

事業を実施して

【成果】

- 学校の枠を越えてコミュニケーションができた。
- 学校の授業では触れる機会が少ない、お茶や囲碁、卓球などを体験できた。

【課題】

- 講師の高齢化に伴う後継者の育成が求められる。
- 講座数が減少しており、新しい講座を開発する必要がある。

里山の生活体験教室【西条市】

～地域住民との交流を通して里山の暮らしを知ろう～

◆活動の目的・理念

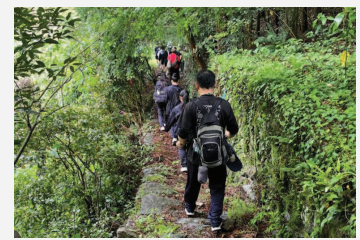
- 地域の環境を生かした体験活動
- 地域住民や出身者との交流
- 地域住民の活力、地域の活性化

活動場所	大保木公民館		対象学区区名	西条市内全域及び新居浜市内一部の県立高校		子どもの平均参加人数	10 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日	5 日	10 : 00 ~ 13 : 00	活動のべ 日数	7 日	協働活動リー ダーのべ人数	9 人
	日・休業日等	2 日	10 : 00 ~ 13 : 00				
協働活動サポ ーターのべ人数	14 人	PTA会員、地域住民、サークル会員、地 域出身者、防災士、NPO法人		ボランティア のべ人数	83 人	地域住民、地域出身者、保護者	
参加者募集	各高校を通じてチラシを配布 行事によってはその都度募集		連携・協力 機関・団体	大保木公民館、大保木地区連合自治会、西条自然学校、石鎚 ふれあいの里			

取組の概要

<主な取組内容>

- 旧大保木古道を訪ねて
 - ・旧大保木古道を歩いて極楽寺へ向かい、大保木若手住民の体験談を聞いた。
- かずらでカゴ作り体験
 - ・大保木の山で採れたかずらを使ってカゴを編んだ。
- 集まれ未来の防災士
 - ・平成16年台風災害地である大保木公民館において、地元防災士と高校生による防災学習を行った。
- ふれあい運動会の運営体験
 - ・大保木住民とともに、イベントの進行や競技に参加して運動会を盛り上げた。
- 薪割りと薪を使ったご飯づくり体験
 - ・山の木の歴史を学び、薪割りをし、割った薪を使って羽釜でご飯を炊いた。
- こんにやくづくり体験
 - ・昔ながらの方法でこんにやく芋からこんにやくを作った。
- 七草会
 - ・地域の方が作ってくれた七草がゆの試食、七草の由来を学んだ。



(旧大保木古道散策の様子)



(防災士と防災用品組み立て中)



(薪割り体験の様子)

児童・生徒の感想

- ・かずらを編むのがとても難しかったけれど、一人ひとりかずらの色や形に違いがあっておもしろかった。
- ・ふだん体験することのできない様々な体験ができ、とても貴重な経験となった。

<特色ある取組>

● かずらでカゴ作り体験

材料となるかずらは、大保木地区の山間部に生えるつる草で、かずら細工サークル生徒自ら採取している。つるの採取時期を逃さないことが良い作品を作る上で重要なポイントである。つるには太さや曲がり、硬さや柔らかさ、色合いなど、それぞれに個性があり、作り手が同じでも違った作品ができる。サークル生徒の中には、最高齢100歳の方も現役で活動するなど、世代を超えて自然にあるものを使って里山の生活を伝承することのできる場になっている。



(かずらでカゴを編んでいる様子)

事業を実施して

【成果】

- 地域住民や出身者が講師となることで、本物の里山の暮らしを学べた。
- 大保木地区の過去の体験から学んだことを子どもたちへ伝える良い機会となった。
- 若い世代に里山の暮らしの知恵を教えることができた。

【課題】

- 各学校との日程調整の連携
- 冬季の交通事情
- 住民の高齢化による、事業の継続
- 持続可能な活動内容の企画

上島子ども体験教室【上島町】

～地域ぐるみでふるさとを愛する子ども育てよう～

◆活動の目的・理念

- 地域資源を活用した体験活動を実施し、子どもの健全育成ならびに子どもの居場所づくりを進める。
- 特色・魅力ある教育プログラムを企画・実施し、子どもたちの成長を支え、地域と学校の連携・協働による教育活動を推進する。

活動場所	町内各施設、野外等		対象学区区名	上島町内全小学校(4校)		子どもの平均参加人数	11 人/日	
開催日数 曜日・時間	土曜日	8 日	10 : 00 ~ 11 : 30	活動のべ 日数	10 日	協働活動リー ダーのべ人数	0 人	
	日・休業日等	2 日	13 : 00 ~ 14 : 30					
協働活動サポ ーターのべ人数	3 人		PTA会員、民生児童委員、教員経 験者	ボランティア のべ人数	48 人		高専教員、高専生、高校生、老人ク ラブ、ボランティアスタッフ、保護者等	
参加者募集	各小学校を通じてチラシを配布		連携・協力 機関・団体	上島つながるプロジェクト(以下、KCP)				

取組の概要

<主な取組内容>

● 書いてワクワク！感想文教室

子どもたちの夏休みの読書感想文の宿題の悩みを解決するために、2回にわたって開催した。子どもたちは、「自分の好きなもの」をワークシートに記入し、ボランティアスタッフが子どもたち一人ひとりにあった本を紹介した。最後には、全員が感想文を書き終えることができた。



(ボランティアも一緒に考える)

● グランドゴルフをしてみよう！

町内の老人クラブ会員との交流を目的に行った。グループに分かれて、子ども1人に講師1人がついて、手取り足取り教えながらコースを周ってゲームを行った。子どもと高齢者が一緒に喜んだり、悔しがったりしていた。



(丁寧に指導しているグランドゴルフ)

児童の感想

- ・自分の「好き」がよく分かった。(感想文教室)
- ・こんなに簡単に文章が書けるとは思わなかった。(感想文教室)
- ・楽しかった。またやりたい。(グランドゴルフ)
- ・おじいちゃんがホールインワンを入れて、すごいと思った。(グランドゴルフ)

<特色ある取組>

● 炭づくりからおいしく楽しくCO₂削減を学ぼう！

弓削商船高専の教員と協力し、上島町で厄介者として扱われている竹を利用して、CO₂削減について考えるプログラムを開催した。火おこしをした後、無煙炭化器の中へ次々と竹を投げ込んだ。火も煙もなくなった状態になると、バウムクーヘンならぬバンブークーヘンづくりのスタート。学生たちの補助で楽しく安全に作ることができた。終了後の質疑応答では、学生たちが子どもたちの素朴な疑問に丁寧に答えるなど、CO₂削減について学ぶ貴重な機会となった。



(みんなでバンブークーヘンづくり)

事業を実施して

【成果】

- 日頃、学校や家庭では経験できない内容を企画・実施することができた。
- 他校の児童生徒、町民のみならず、町外の方と交流を図ることができた。
- 町内外の幅広い世代の方との交流ができた。

【課題】

- 魅力ある教室の開催や多様な活動プログラムを継続的に実施するための、さらなる地域の協力者の確保が必要である。

ジュニア体験塾【東温市】

～新しい時代を切り開く積極的な心を養う～

◆活動の目的・理念

- 休日の教育環境を豊かなものにする。
- 体験活動を通じて、仲間意識や連帯感を強める。
- 生きる力・想像力・健全な心身・リーダーシップ等を育む。

活動場所	中央公民館 川内公民館ほか	対象学区区名	重信中学校、川内中学校	子どもの平均 参加人数	22 人/日		
開催日数 曜日・時間	土曜日	7 日	9 : 00 ~ 12 : 00	活動のべ 日数	10 日	協働活動リー ダーのべ人数	0 人
	日・休業日等	3 日	10 : 00 ~ 15 : 00				
協働活動サポ ーターのべ人数	10 人	地域住民、社会人等	ボランティア のべ人数	2 人	大学生		
参加者募集	年度当初に各中学校を通じてチラシを配布し、受講生を募集	連携・協力 機関・団体	東温市婦人会、伊予銀行、愛媛県調理製菓専門学校等				

取組の概要

<主な取組内容>

● 滑川デイキャンプ

自然豊かな滑川地区で実施したサマーキャンプでは、異学年・地域間交流を通して自立心や協調性を育む機会となった。

● カヌー・SUP体験

水難事故を防ぐため、インストラクターからライフジャケットの正しい着用方法や注意事項、安全に楽しむための方法を学んだ。自然の中で、のびのび活動することで、豊かな心を育むことができた。

● 主権者教育（2月実施予定）

「社会の仕組みを楽しく学ぼう」をテーマに、講師を招いた主権者教育プログラムを予定している。

プログラムを通して、中学生たちの将来への視野を広げ、自己教育力の向上を目的としている。



(カヌー・SUP体験)



(滑川デイキャンプ)

生徒の感想

- ・スポーツやキャンプなど、幅広いメニューで楽しい。
- ・大学生、婦人会の方と交流ができて楽しかった。
- ・二十歳を祝う会での受付や来賓対応を体験し、とても緊張したけれど、とても勉強になった。

<特色ある取組>

● 地域総がかりで子どもたちを育てる体制づくり

自然あふれる滑川地区でキャンプをする「滑川サマーキャンプ」では、愛媛大学ボランティア2名の参画があった。講師として、「伊予銀行」、「FC今治高校里山校」、「愛媛県調理製菓専門学校」、「大洲高校カヌー部」、「東温市婦人会」など、様々な企業や地元団体から協力を得て、多様な体験活動を実施した。



(伊予銀行による金融教室)

事業を実施して

【成果】

- 地域団体や地元企業の協力を得て、子どもたちの豊かな体験活動につながっている。

【課題】

- 多くの中学生に興味を持ってもらえる講座とするため、講座内容を例年どおりではなく、内容を刷新していくことが必要。
- 講座の安心・安全な運営を行う上で、協力者の人数確保が必要。

双海町こども教室ふるさと体験塾【伊予市】

～地域のこどもは地域で育てる～

◆活動の目的・理念

- 双海地域の魅力あふれる自然・文化・産業等に触れ、体験活動を行う。
- ふるさとを愛する心を持った心身共に健全な子どもを育てる。

活動場所	双海地域		対象学校区名	下灘小学校、由並小学校、翠小学校		子どもの平均参加人数	23 人/日	
開催日数 曜日・時間	土曜日	5 日	9 : 00 ~ 14 : 00	活動のべ 日数	8 日	協働活動リー ダーのべ人数	人	
	日・休業日等	3 日	9 : 00 ~ 14 : 00					
協働活動サポ ーターのべ人数	0 人			ボランティア のべ人数	132 人		PTA会長、教員経験者、大学生、 婦人会員、更生保護女性会員	
参加者募集	各小学校を通じてチラシを配布		連携・協力 機関・団体	双海地区公民館、PTA、婦人会、更生保護女性会				

取組の概要

<主な取組内容>

- 野外活動の基礎・じゃが芋の収穫
 - ・野外活動の基礎を学び、じゃが芋の収穫と野外での料理を体験した。
- 防災キャンプ
 - ・体育館でのダンボールハウス、ドラム缶風呂を体験した。
- 漁船底引き網体験
 - ・地域の産業である底引き網漁を体験した。
- 秋の収穫祭
 - ・さつまいも掘りや野外料理、どんぐりゴマ大会を体験した。
- 秋のハイキング
 - ・地域の史跡や神社、道の駅などを巡るハイキングに挑戦した。
- ジュニアリーダー企画「逃走中」
 - ・小学校を会場に学生ボランティア運営の企画を実施し、小学生と中高生・大学生の異年齢交流の機会となった。
- 魚調理・ふたみ名物体験・閉講式
 - ・地元の名物料理づくりに挑戦し、閉講式では1年間の活動を振り返った。



(底引き網漁でとれた鯛をさばく)



(ハイキングの目的地に到着)

児童の感想

- ・底引き網で、いろいろな魚が取れたり、見れたりできた。
- ・みんなと協力して、三つの部屋があるダンボールハウスを作ることができました。

<特色ある取組>

● みそづくり体験

防災キャンプのプログラムの一つとして、義農味噌株式会社の協力により、みそづくりに取り組んだ。材料の仕込みから2か月で、子どもたち手づくりのみそが完成した。後日開催した体験活動の味噌汁の材料にすることができ、活動を通じて地域の産業や郷土料理を知る体験となった。



(みそづくりに挑戦)

事業を実施して

【成果】

- 地域の自然や産業を生かした体験活動により、少年期の思い出作りや郷土愛の育成につながった。
- 小規模校である3校の児童が参加し、普段の生活では得られない人のつながりを育てている。
- 公民館だより等で発信し、更なる活動への関心を高めている。

【課題】

- 学生ボランティア以外のスタッフの高齢化が進んでおり、継続的な人材育成を行う必要がある。
- 運営に伴う事務作業の簡素化を図る必要がある。

伊方土曜チャレンジスクール【伊方町】

～いろいろなことにチャレンジしよう～

◆活動の目的・理念

- 豊かで有意義な休日を実現し、地域における多様な学習・体験活動等の機会の充実を図る。
- 子どもたちの健やかな成長を支援し、安全・安心な居場所づくりに努める。
- 子どもたちの郷土愛を育むとともに、地域住民との連携を深める。

活動場所	町内公民館など		対象学区区名	伊方町内小・中学校すべて		子どもの平均参加人数	11 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日	4 日	活動によって異なる	活動のべ 日数	6 日	協働活動リー ダーのべ人数	0 人
	日・休業日等	2 日					
協働活動サポ ーターのべ人数	4 人	教員経験者		ボランティア のべ人数	50 人	地域住民、保護者、教員、町おこし 協力隊	
参加者募集	各学校を通じてチラシを配布		連携・協力 機関・団体	町内小・中学校、教員経験者等			

取組の概要

<主な取組内容>

- **わくわく学習教室**
 - ・教員経験者が、夏休みの土曜日の2日間に開催し、町内小・中学生の希望者に学習指導を行った。夏休みの宿題や自主勉強など、参加者の希望にあわせて対応した。
- **英語教室**
 - ・ALTとCIRと一緒に楽しみながら実践的な英語を学ぶ目的で開催した。小学生は、タグラグビーとドッジボールをアメリカのルールで行った。
 - ・中学生はタコスを生地から作った。英語のレシピを読んで作ったため苦戦していたが、本格的なタコスを作ることができた。
- **地元の魚を使った料理教室（3月実施予定）**
 - ・魚食普及を進めている地元企業と連携し、料理教室を行った。自分で魚をさばくことに挑戦し、ムニエルを作った。この体験を通して、地元の漁業を学び、食育についての理解を深めることができた。



(学習活動の様子)



(タコス作りの様子)

<特色ある取組>

- **海岸清掃&海洋プラを使ったアクセサリ作り**

小・中学生と保護者、地域の方など約60人が参加し、海岸に流れ着いた約80袋分のゴミを集めた。清掃後には、町おこし協力隊の方を講師に招き、海の環境について学び、伊方町の海で回収したプラスチックごみを使ってアクセサリを作った。地域に貢献し、環境についても学ぶことができた。



(アクセサリ作りの様子)



(海岸清掃の様子)

事業を実施して

【成果】

- ふだんできない体験の機会を提供することができた。
- 海岸清掃を通して、地域の環境について実際に見て学ぶとともに、地域に貢献することができた。

【課題】

- 日程の調整や参加者集めが難しいため、各関係機関と連携を図りながら調整を行う。

ワクワク体験教室【愛南町】

～愛南町を愛する子どもを育てよう～

◆活動の目的・理念

- 子どもたちに、学校の教育課程に留まらない体験的な活動、補充・発展的な学習を提供する。
- 子どもたちの心身の健やかな成長を支援する。
- 地域の豊かな自然を舞台として、専門的な知識を持つ指導者から学ぶ機会を提供することで、子どもたちの郷土愛を醸成する。

活動場所	活動によって異なる		対象学区区名	愛南町全小・中学校		子どもの平均参加人数	10 人/日
開催日数 曜日・時間	土曜日	6 日	活動によって異なる	活動のべ 日数	8 日	協働活動リー ダーのべ人数	5 人
	日・休業日等	2 日					
協働活動サポ ーターのべ人数	10 人	教員経験者、元公務員 等		ボランティア のべ人数	2 人	教員経験者、元公務員	
参加者募集	各小・中学校を通じてチラシを配布		連携・協力 機関・団体	各小・中学校、各公民館 等			

取組の概要

<主な取組内容>

- ペットボトルロケットを飛ばそう



(ペットボトルロケットを作成し、屋外で飛ばしている様子)

児童の感想

- ・遠くに飛ばせて楽しかった。
- ・大きなペットボトルでも作ってみたい。

- 火おこしに挑戦しよう



(専用の道具を使い、火をおこしている様子)

児童の感想

- ・火が消えないように燃やし続けることが難しかった。
- ・いざというときに役に立つなと感じた。

<特色ある取組>

- 篠山の自然を楽しもう

町内にある篠山（標高1,065m）への登山を行った。一帯は国立公園、県立自然公園に指定されており、アケボノツツジなどの自然植物の宝庫で、古くから山岳信仰の霊地として知られた山である。子どもたちは、自然を楽しんだりお互いが励まし合いながら、険しい山道を力強く登った。



(篠山頂上での集合写真)

事業を実施して

【成果】

- 日頃、体験できない活動を楽しむことができた。
- 学校・学年の垣根を越えた交流の機会となった。

【課題】

- スタッフの後継者確保や育成を進めていく必要がある。
- 募集方法の工夫や他事業との連携が必要と感じている。

家庭教育支援



「子育て学習会(親子で運動遊び)」
(宇和島市家庭教育支援チーム【宇和島市】)

①【西条市】子育て学習講座	76
②【上島町】家庭教育支援・子育て講座	77
③【伊予市】伊予市家庭教育・子育てサポートグループ	78
④【砥部町】家庭教育学習会	79
⑤【久万高原町】久万高原Happyサポート	80
⑥【大洲市】大洲子育てサポート“そよ風”	81
⑦【西予市】せいよ家庭教育・子育て応援グループ	82
⑧【宇和島市】宇和島市家庭教育支援チーム	83

子育て学習講座【西条市】

～学校や地域とともに築く家庭教育～

◆活動の目的・理念

- 小・中学生の保護者が参加する参観日や、就学前の子どもの保護者が参加する就学時健診時等において、子育てに関する講座を実施することにより、家庭教育支援の充実を図る。

活動拠点	-	講座・学習 会開催数	56 回	相談対応 件数	- 件	訪問活動	- 件
広報活動	1 回	連携・協力 団体・機関	小学校25校、中学校9校、各小・中学校PTA				
チーム スタッフ	地域コーディネーター	名	子育てサポーター・リーダー	名	民生委員・児童委員	名	
	元教職員	名	PTA役員	名	保健師	名	
計 0 名	心理士・スクールカウンセラー	名	支援団体・NPO関係者	名	その他	名	

取組の概要

<主な取組内容>

- 小学校の就学時健診等を活用した子育て学習講座
 - ・就学前の子どもの保護者を対象とした講座
 - ・各小学校単位で実施
- 小学校での参観日等を活用した子育て学習講座
 - ・小学生の保護者を対象とした講座
 - ・各小学校単位で実施
- 中学校での参観日等を活用した思春期子育て学習講座
 - ・中学生の保護者を対象とした講座
 - ・各中学校単位で実施



(講座「共に生きる」)

保護者の感想

- ・初めて子どもが就学するにあたって、勉強や給食等、入学までに準備しておくことや分からないことがたくさんあったが、講師や他の保護者の話を聞くことで不安が和らいだ。(「もうすぐ1年生」)
- ・障がいの有無に関係なく、人とのつながりを大切に、充実した生活が送れるような社会になればいいなと思った。子どもと一緒に話を聞くことで、家庭でも人権について話し合うきっかけになった。(「共に生きる」)
- ・できていたことができなくなったこと、そこから再びできるようになる方法を見つけていくことは本当に苦しかったらうと思った。前を向いて生きることがどんなにすばらしいことか見せていただいた。生きていく中で、どんな苦しいことが起こるか分からないが、子どもたちも心に光を持って生きていってほしいと思った。(「よろこびの種を」)



(講座「よろこびの種を」)

<特色ある取組>

- 「トクわく」を活用した講座

就学時健康診断時に「愛顔で子育てトーク&わーく応援プログラム集(トクわく)」から、『ワクワクドキドキのちょっとハラハラ新1年生!』を行った。ワークショップ形式で行うことで、保護者が能動的に講座に参加することができ、小学校入学前の不安等について、自分の思いを言葉にしたり、考えを交流したりすることができた。
- 思春期講座で学びを深め、地域へ発信

中学校では、思春期講座を実施しているが、そこで得た知識を文化祭等で地域に発信している学校がある。「正しいことを言うのが偽善者だと批判される」という恐れから目を背けるのではなく、人権啓発劇を行い、地域に向けて発信した。



(講座「もうすぐ1年生」)

事業を実施して

【成果】

- 就学時健診等を活用した子育て学習講座では、ワークショップ形式で実施したことにより、保護者同士の関係づくりができた。講師や先輩の保護者から、学校の様子や家庭での関わりについて話を聞くことで、特に第一子が入学する保護者は、不安軽減につながった。
- 保護者や地域の方々にとっても、日常生活や地域づくりにおいて「共生」の意識を高めるきっかけとなり、学校・家庭・地域が協働して子どもたちを育てる基盤づくりにつながった。

【課題】

- 就学時健診や参観日、保護者会と合わせて実施することで、保護者が参加しやすいよう取り組んでいるが、保護者の参加が少ない学校もある。対象学年以外の児童の参加や未就学児の預かりなど、工夫が必要である。
- きょうだいのいる家庭が多いため、就学時子育て講座では、同じ講師が続かないように考慮する必要がある。
- 会場が体育館であると、時期によっては熱中症対策が必要になるので、時期や会場は慎重に検討したい。

家庭教育支援・子育て講座【上島町】

～学びあいと交流を大切にした子育て支援～

◆活動の目的・理念

- 家庭教育における課題を探り、子どもの発達段階や親としての心得、子どもが抱える問題等について学習する機会を持つことで、全ての保護者が安心して家庭教育を行える環境づくりを進める。
- 家庭教育における悩みを相談し合い、情報交換できる場をつくる。

活動拠点	各保健センター 各小・中学校	講座・学習 会開催数	9 回	相談対応 件数	- 件	訪問活動	- 件
広報活動	9 回	連携・協力 団体・機関	保健センター等				
チーム	地域コーディネーター	名	子育てサポーター・リーダー	名	民生委員・児童委員	名	
スタッフ	元教職員	名	PTA役員	名	保健師	名	
計 0 名	心理士・スクールカウンセラー	名	支援団体・NPO関係者	名	その他	名	

取組の概要

<主な取組内容>

● 親子ふれあい教室

未就学児を持つ保護者に対して、家庭教育支援の教室を実施している。

- ・わくわく親子あそび
- ・親子でふれあうベビーマッサージ
- ・自由遊びと個別相談
- ・作業療法士による講話
- ・管理栄養士による栄養相談

● 子育て講座

学校の参観日を活用し、親子で学べる講座を実施している。

- ・「SNSとマナー」



(親子ふれあい教室)

保護者の感想

- ・保護者同士で参考になる話がたくさん聞けてよかった。

(親子ふれあい教室)

- ・ベビーマッサージは家でも実践したい。(親子ふれあい教室)

- ・インターネットの危険さを改めて感じました。(子育て講座)

- ・高校生になればスマホを持たせようと思っているので、とても勉強になった。(子育て講座)



(子育て講座「SNSとマナー」)

<特色ある取組>

● ベビーマッサージ講座「親子でふれあうベビーマッサージ」

現役の保育士を講師にお招きして行われている、毎年好評のプログラムである。最初に講師からベビーマッサージやふれあいによる効果をお話していただき、オイルを使いながらのマッサージを実践した。参加者同士でも交流しながら和やかに親子のふれあいが行われていた。ベビーマッサージ講座終了後も、ふれあい教室終了時間まで、講師が個別の相談に対応した。保育士に乳児相談ができる機会としても、町内では貴重な場となっている。



(ベビーマッサージ教室)

事業を実施して

【成果】

- 子どもを持つ保護者が抱える日頃の悩みについて、情報交換、共有することができた。
- 新しく上島町に来られた方の集まる場所となり、孤立感の解消につながっている。
- 保護者の学びの場を提供することができた。

【課題】

- 一層の充実を図るため、保護者の立ち寄りやすい時間や感染症が流行しない時期の開催等を配慮する。
- 学校や保健センターとの連携は図れたが、家庭教育支援を担う地域人材の確保が困難。
- 事前にアンケート調査を実施する等、ニーズに合った内容を取り入れていく必要がある。

伊予市家庭教育・子育てサポートグループ【伊予市】

～家庭・地域での家庭教育・子育て支援を目指して～

◆活動の目的・理念

- 地域住民に家庭教育や子育てに関する情報や学習の機会を提供しながら、相談活動の充実を図り、ともに支え合う家庭・地域づくりを応援する。

活動拠点	伊予市教育委員会事務局 社会教育課	講座・学習 会開催数	9 回	相談対応 件数	0 件	訪問活動	0 件
広報活動	2 回	連携・協力 団体・機関	市内保育所、幼稚園、認定こども園・私立児童施設、小学校、中学校、公民館、子育て支援センター、保健センター、児童館、児童センター				
チーム スタッフ	地域コーディネーター	1 名	子育てサポーター・リーダー	1 名	民生委員・児童委員	0 名	
	元教職員	2 名	PTA役員	0 名	保健師	0 名	
計 9 名	心理士・スクールカウンセラー	0 名	支援団体・NPO関係者	0 名	その他	5 名	

取組の概要

<主な取組内容>

- **子育て現役世代との意見交換会・学習会**
 - ・子育ての悩みを話し合い、他の保護者と悩みを共有できる。
- **家庭教育支援に関する情報発信**
 - ・家庭教育情報誌「ほのぼの」を全戸配布（年2回）
子育てに関する情報、上下半期のサポートグループ活動報告サポートグループの紹介や事業連携について「ほのぼの」に掲載
 - ・利用者支援事業相談窓口の周知（随時）
- **親子体験型学習会**
 - ・『親子ふれあいレクリエーション』
遊びの中に学びやふれあいを取り入れることで、参加する保護者の悩み解消や子どもの興味関心を高める。
➢絵本読み聞かせ、指スタンプ遊び、親子ふれあい体操
 - ・『親子で調理実習』
親子で行う料理づくりを通して、お手伝い等の家庭教育につなげる。
➢地元企業と連携した削り節体験・だしを使った料理教室、保育所でのホットケーキづくりなど



(学習会)



(食育学習)

参加者より

・ふだん子どもたちとゆっくと料理することができないため、貴重な時間となった！！

<特色ある取組>

- **各施設にアンケート調査し、要望に対応した学習会を実施！**
保育所や幼稚園などとの事前打合せにおいて、当該施設を利用する保護者がどのような悩を抱えているのかを聞き取り、解決のきっかけづくりとして学習会を実施している。

事業を実施して

【成果】

- 親子ふれあい体操教室や指スタンプのレクリエーションを通して、親子で一緒に楽しむことの大切さを学んだ。
- 地元企業と連携し、食育を絡めた学習会（調理実習）を実施することができた。

【課題】

- 公民館と連携し、事業実施ができるよう調整を図っていきたい。
- 家庭教育に関心の低い家庭が参加したいと思うような学習会となるよう工夫が必要である。

家庭教育学習会【砥部町】

～学習会を通じた家庭教育力の活性化を目指して～

◆活動の目的・理念

- 子どもの基本的な生活習慣や自立心の育成など、家庭教育について考える機会を提供し、地域における総合的な家庭教育支援の推進により、家庭教育力の活性化を図る。

活動拠点	-	講座・学習 会開催数	1 回	相談対応 件数	- 件	訪問活動	- 件
広報活動	- 回	連携・協力 団体・機関	各小・中学校PTA				
チーム スタッフ	地域コーディネーター	名	子育てサポーター・リーダー	名	民生委員・児童委員	名	
	元教職員	名	PTA役員	名	保健師	名	
計 0 名	心理士・スクールカウンセラー	名	支援団体・NPO関係者	名	その他	名	

取組の概要

<主な取組内容>

● 家庭教育学習会

昨年度までは、各小中学校で参観日などを利用して開催していたが、学校の負担が大きいとの声があり、町で一括して開催することとなった。

演題：勉強も運動もごはんから！子どもの“伸びる力”を引き出す食事のヒント

講師：スマイルエプロン代表 堀江 優子 氏

保護者の感想

- ・子どもが朝食を抜くことが多くなり、少しの工夫でも良いことを知り、母としても勉強できるよい機会となった。
- ・朝食の大切さを改めて学ぶことができた。朝食は一日の始まりなのでしっかりと食べさせたいと思った。
- ・食事のバランスの大切さが改めて分かり、とてもよかった。
- ・食べることの大切さが学べて、すごくありがたい学習会だった。
- ・子どもだけでなく自分自身も食事を見直していきたい。
- ・運動前後の食事のポイントが聞けて良かった。
- ・講演を通じて、食事バランスが偏っていることが分かった。
- ・子どもに睡眠や朝ごはんの大切さを教えようと思った。



(講座の様子)

<特色ある取組>

● 料理カードを用いたグループワーク

講演では、子どもの食事バランスのチェックから始まり、早寝早起きの重要性、部活動や勉強に重要な食事について貴重な話を聞くことができた。中でも、部活や塾後の間食の話題では、ゆで卵やナッツ類がオススメであるという話に保護者は興味津々の様子であった。

その後は、料理カードを用いたグループワークを行った。子どもの成長を支える献立をテーマに、講演で聞いた話を踏まえながら保護者同士でコミュニケーションをとりつつ、楽しく学習することができた。



(グループワークの様子)

事業を実施して

【成果】

- 町社会教育課が主催する学習会では、「早寝早起き朝ごはん」についての講演を長年実施できていなかったため、保護者に情報提供できるよい機会となった。
- グループワークを多く取り入れた学習会となったことで、参加者同士が自然に家庭での困りごとを共有することができた。

【課題】

- 平日の夜間の開催で、参加者が限定されていたため、より多くの保護者が参加しやすい日程を検討する必要がある。
- 講演後のアンケートでは、今後のテーマとして、スマホやSNS、読書やマナー教育についてなど幅広い意見があったため、保護者のニーズに応えた学習会のテーマを検討する必要がある。

久万高原Happyサポート【久万高原町】

～気持ちに寄り添うやさしい子育て支援～

◆活動の目的・理念

- 誰もが気軽に利用でき、ほっとひと息できる場所づくり
- リラックスできる環境の中で、さり気なく関わっていく支援
- 日々の生活の中で、分かりやすく優しい支援

活動拠点	地域子育て支援センター HappyHouse	講座・学習 会開催数	16 回	相談対応 件数	41 件	訪問活動	20 件
広報活動	15 回	連携・協力 団体・機関	幼保連携型こども園1、児童館1、幼稚園7園、小学校9校、中学校2校、保健センター1、つどいの広場1、高等学校1				
チーム	地域コーディネーター	1 名	子育てサポーター・リーダー	2 名	民生委員・児童委員	0 名	
スタッフ	元教職員	1 名	PTA役員	0 名	保健師	1 名	
計 17 名	心理士・スクールカウンセラー	1 名	支援団体・NPO関係者	0 名	その他	11 名	

取組の概要

<主な取組内容>

- 子育て情報発信
 - ・子育て通信「キラリ」発行 町内全戸に子育て情報発信
 - ・育和会だより及び育和会ホームページに子育て情報掲載
- 学習会「Happyカフェ」開催
 - ・子育て講座、Happy子育てトーク、カルチャーレッスン等
- 子育て相談実施
 - ・Happy HouseおよびNIKONIKO館（児童館）での相談
 - ・小中学校での出張相談
- 保健センターとの連携
 - ・療育教室、療育相談（発達障がいなど気になる子への対応）
- 子育てサロンでの交流
 - ・ふれあい広場参加 遊びの提供
 - ・つどいの広場訪問 託児支援 仲間作りの応援
- すくすくday（身長体重測定 健康相談 誕生祝い）
- 先輩ママ・パパの会（中高生保護者向け子育て講座）



（Happyカフェ「ミュージックケア」）



（「すくすくday」保健師による健康相談）

保護者の感想

- ・親子で出かけられ、楽しめる場所があってうれしい。
- ・近所に子どもがいないので寂しい。子育て中の方と出会っておしゃべりできる場があってよかった。また、子どものことで気になることや心配なことがあるとき、気軽に相談できた。

<特色ある取組>

- 「みんなでおしゃべりしませんか？」

～小学校での「Happyトーク」～

今年度初めての取組として、保護者のおしゃべりの会「Happyトーク」を町内小学校で行った。サイコロで子育てに関するテーマを決める「サイコロトーク」を実施し、大変盛り上がった。参加者からのアンケートでは、「楽しく話せてストレス解消になった。」「普段聞けない子育てのことが話せてよかった。」「子育てを楽しんでいこうと思った。」などの感想をいただいた。参観日だったこともあり、保護者も参加しやすかったようだ。今後も町内小中学校と連携をとり、「Happyトーク」を進めていきたい。



（小学校での「Happyトーク」）

事業を実施して

【成果】

- 小・中学校への学校訪問を行い、町内4校で参観日などに子育て相談をすることができた。
- 小学校で参観日の合間に、「Happyトーク」（保護者のおしゃべりの会）を行うことができた。
- 少子化が進んでいる久万高原町だが、子育て親子の居場所として、変わらず利用してもらっている。

【課題】

- 社会の変化とともに、子育てに不安や孤立感を感じる方が増えている。安心して過ごせる居心地のよい場所となるように、親子の気持ちに寄り添うさり気ない支援を工夫したい。
- 少子化が進んでおり、他の機関と連携しながら、活動内容を工夫していく必要がある。

大洲子育てサポート“そよ風”【大洲市】

～ともに子育て！ いまから ここから～

◆活動の目的・理念

- 乳幼児から思春期までの子育てに関する保護者の不安に寄り添った相談ができる場所になる。
- 相談内容に応じて保護者と支援機関をつなぐなど、協働的・包括的な支援を行う。
- 情報紙や学習会を通して、子育てを考え、ともに学び合う学習の機会を提供する。

活動拠点	大洲市アフタースクール おおず	講座・学習 会開催数	19 回	相談対応 件数	90 件	訪問活動	60 件
広報活動	30 回	連携・協力 団体・機関	認定こども園9、保育所8、幼稚園3、小学校12、中学校8、地区コミセン30 児童館3、こども家庭センター、子育て支援課				
チーム スタッフ	地域コーディネーター	0 名	子育てサポーターリーダー	0 名	民生委員・児童委員	0 名	
	元教職員	5 名	PTA役員	0 名	保健師	0 名	
計 7 名	心理士・スクールカウンセラー	2 名	支援団体・NPO関係者	0 名	その他	0 名	

取組の概要

<主な取組内容>

● 利用しやすい相談対応

- ・毎週月・火・木・金 9：00～16：00に電話相談・来所相談・訪問相談を行う。（ホームページでも相談受付を行っている。）
- ・相談者の要望に応じて、場所や時間を設定し、柔軟な相談対応を行っている。
- ・子育て広場や子育て学習会の後、個別相談にも応じている。
- ・相談内容によっては、学校やその他の関係機関と連携して支援を行う。

● 子育てを応援する学習会の開催

- ・子育て広場（児童館3か所）において、絵本の読み聞かせ、親子工作、子育てに関する講話、グループトークを行っている。
- ・子育て学習会（保育所・小学校）や外部機関・団体の研修会に講師として参加し、「愛顔の子育てトーク&わーく応援プログラム集」を活用した活動を取り入れることで、保護者自身の気づきを促すような学習の場を設定している。



（子育て学習会「小学校」）



（子育て広場「児童館」）

保護者の感想（子育て広場・子育て学習会について）

- ・先輩ママさんからの具体的なアドバイスがとても参考になった。
- ・自分の子育てについて、他の保護者の悩みや不安を聞くことにより再確認できた。

● 子育てに役立つ情報提供

- ・情報誌「そよ風通信」の発行。毎月1回約4,300部発行。市内の保育所・認定こども園・幼稚園・小学校・中学校・その他関係機関に配布している。
- ・ホームページに相談フォームを設け、常時相談受付を行っている。
- ・孤立しがちな保護者、要支援の保護者にも定期的に届く支援の一つとなっており、「通信を見て電話をかけた。」と話す相談者もいる。

<特色ある取組>

● 学校・支援機関との連携

- ・児童生徒の多様な問題を保護者や学校等と話し合い、内容に応じた支援機関へつないでいる。

● 就学時健診の場を利用して子育て学習会を開催

- ・就学時健診時に「ワクワクドキドキちょっとハラハラ新1年生！」のテーマで子育て学習会を行った。グループワークを取り入れることにより、保護者同士の交流ができ、入学前の不安や悩みの軽減につながった。

● 市教委・こども家庭センターとの定期的な連絡会

- ・当サポートの活動状況（講座・通信・相談）及び活動の方針、事例検討等の会議を定期的に行っており、運営上の課題の解消、情報の共有に役立っている。

● 企業訪問の実施

- ・アウトリーチ型の家庭教育支援の一つとして、定期的な訪問相談を行った。

● 読んでもらえる情報紙「そよ風通信」の作成

- ・紙面レイアウトや内容をスタッフ全員が考え、読みやすい広報誌を作成・印刷・配布をしている。

事業を実施して

【成果】

- 保護者に寄り添う、届ける、つなげる支援を行うことで、保護者自身が安心感を持つことができた。
- ホームページを開設することによって、そよ風の活動を広く知らせることができた。

【課題】

- 子育てを行う保護者を元気にすること、現状を否定しないで励ますことを第一に考え、保護者支援を行いたい。
- 子どもの成長に伴い、悩みや不安も増えてくることから、継続的な支援体制を整えていきたい。

せいよ家庭教育・子育て応援グループ【西予市】

～親子共育を支える地域力として～

◆活動の目的・理念

- 家庭における教育力の重要性の啓発・底上げ及び保護者の抱える問題に寄り添い対応する。
- 学校や行政関係各課との連携を密にし、社会・家庭・学校のニーズに対応した保護者同士の関係づくりに努める。
- 無理なく息の長い活動を目指す。

活動拠点	西予市教育委員会	講座・学習会開催数	3 回	相談対応件数	2 件	訪問活動	1 件
広報活動	3 回	連携・協力団体・機関	市内保育所(認定こども園)15、幼稚園4、小学校12、中学校5、図書館、地域づくり活動センター、児童館、地域子育て支援センター、学校教育課、福祉課、健康づくり推進課、子ども家庭センター				
チーム	地域コーディネーター	1 名	子育てサポーター・リーダー	0 名	民生委員・児童委員	1 名	
スタッフ	元教職員	2 名	PTA役員	0 名	保健師	2 名	
計 10 名	心理士・スクールカウンセラー	0 名	支援団体・NPO関係者	0 名	その他	4 名	

取組の概要

<主な取組内容>

- 必要な支援へとつなぐ子育て相談の実施
平日の9:00～17:00に受付対応。
- 親子参加型イベントの開催
自然遊びやクッキングなどの様々な体験活動を通して、親子・参加者が交流を深め、子育てのちょっとした疑問や不安を気軽に話し合える場を提供する。
- 就学前ワークショップの実施
保護者が集まる就学時健診の機会を活用し、保護者同士の交流やつながりづくりを目的に実施。就学に向けての期待や不安を共有し、前向きな気持ちで入学を迎えられるようサポートする。
- 子育て応援情報紙「わくわくステーション」の発行
活動の様子や「親子共育」をテーマにした子育て中の保護者の声を紹介し、子育てに関する情報や学びを共有する。市内の保育所、幼稚園、小学校、中学校を通して保護者へ配布。その他関係機関にも配布し、来場者にも読んでもらっている。



(リメイクポーチ作りに挑戦♪)



(就学前ワークショップ)

保護者の感想

- ・他の子どもの様子も見ることができ、家での様子も聞けてよかった。
- ・同世代のママさんとお話できてリフレッシュもできた。
- ・保護者同士で話せる機会になり、子どもとの関わりが増えた。
- ・我が子の入学に向けて不安だった気持ちが和らいだ。
- ・入学に向けた準備で気になっていたことが聞けてよかった。

<特色ある取組>

- 親子参加型イベントを通したつながりづくり
親子間だけでなく、保護者同士の交流やつながりづくりを目的に、クッキングや自然体験など親子で楽しめるイベントを実施している。さらに、親子での共通体験を通して、信頼や思いやりを育み、お互いの良いところを見つけることを目的としている。子どもと一緒に活動することで、自然な会話が生まれ、保護者同士が交流する良いきっかけになっている。クッキングイベントでは、市長部局と連携し、郷土料理を取り入れた食育を実施した。



(魚の骨取り作業と実食・交流の様子)

事業を実施して

【成果】

- イベントを通じて保護者同士がつながり、共感や安心感を共有し、新たな気付きを得る場を提供することができた。
- 就学時健診の高い参加率を生かし、ワークショップを実施することで、入学前に保護者同士が顔を合わせ、交流を深めるよい機会となった。

【課題】

- 家庭教育の重要性を実感できる、魅力的で参加しやすいイベントに取り組みたい。
- 家庭教育に関心が低い家庭や困難を抱えている家庭をイベントの参加につなげていきたい。
- 活動を継続・拡充するためのボランティア人材と支援員の確保が必要である。

宇和島市家庭教育支援チーム【宇和島市】

～大きくなあれ うわじまっ子～

◆活動の目的・理念

- 地域の実態を把握し、子育て中の保護者と地域のつながりづくりのサポートを行う。
- 身近な環境や人材を活かし、保護者への学びの提供や悩みの解決を支援する。

活動拠点	宇和島市教育委員会	講座・学習 会開催数	13 回	相談対応 件数	0 件	訪問活動	0 件
広報活動	1 回	連携・協力 団体・機関	市内保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、公民館、子育て サークル				
チーム スタッフ	地域コーディネーター	0 名	子育てサポーター・リーダー	1 名	民生委員・児童委員	0 名	
	元教職員	2 名	PTA役員	0 名	保健師	0 名	
計 6 名	心理士・スクールカウンセラー	1 名	支援団体・NPO関係者	0 名	その他	2 名	

取組の概要

<主な取組内容>

● 保護者の子育てを応援する「子育て学習会」の開催

市内の保育園、幼稚園、小学校の参観日など、保護者が集まる機会に学びや体験を提供している。



(親子で運動遊び)



(おもしろ実験室)



(本に親しもう)

● 月に一度の定例会を開催

子育て学習会で気になったことや、保護者からの意見を共有している。

● 相談活動

相談窓口を設け、関係機関につなぐことで包括的な支援を行っている。(7年度は実績なし)

保護者の感想

- ・とても楽しかった。親子で動くのもよかったし、子どもが生き生きしていたように思った。
- ・親子で一緒にゆっくりと絵本を読む時間があり、良かった。

<特色ある取組>

● 家庭教育支援員による市内の保育園、幼稚園、認定こども園、小学校、中学校への 広報活動

- ・広報紙配布については、情報交換や信頼関係を築くために手渡しにこだわっている。
- ・情報交換で出た意見は、家庭教育支援事業の充実に効果を上げている。

事業を実施して

【成果】

- 子育て学習会では、保護者が子どもと過ごす時間を持つきっかけ作りのサポートができた。日常とは違った貴重な時間を親子で共有し、きずなを深めることができた。子育ての悩みや不安に対し、相談にのることもできたので、今後も積極的に学習会を行っていきたい。

【課題】

- 子どもの遊ばせ方等の講座は、保健福祉部局所管や管理下で実施している事業と重複していたため、保護者の不安や悩みの解消につながる内容など、保護者のニーズを捉えた学習会や情報提供を実施した。今後も、保健福祉部局との情報交換を図りながら、連携を図りたい。



参考

令和7年度 愛媛県 放課後児童クラブ一覽

(令和7年5月1日現在)

市町	番号	担当課・児童クラブ名	実施場所	設置小学校区	市町	番号	担当課・児童クラブ名	実施場所	設置小学校区
松山市		松山市 こどもえがお課			松山市	33	さくら児童クラブ運営委員会	さくら小学校	さくら
	1	新玉児童クラブ運営委員会	新玉小学校	新玉		34	福音児童クラブ運営委員会	福音小学校	福音
	2	石井東児童クラブ運営委員会	石井東小学校	石井東		35	高浜児童クラブ運営委員会	高浜小学校	高浜
	3	雄郡児童クラブ運営委員会	雄郡小学校	雄郡		36	伊台児童クラブ運営委員会	伊台小学校	伊台
	4	小野児童クラブ運営委員会	小野小学校	小野		37	荏原児童クラブ運営委員会	荏原小学校	荏原
	5	東雲児童クラブ運営委員会	東雲小学校	東雲		38	桑原児童クラブ運営委員会	桑原小学校	桑原
	6	たちばな児童クラブ運営委員会	たちばな小学校	たちばな		39	じどう児童クラブ運営委員会	慈童保育園	正岡・難波
	7	みどり児童クラブ運営委員会	久枝児童館	みどり		40	北条児童クラブ運営委員会	北条小学校	北条
	8	北久米児童クラブ運営委員会	北久米小学校	北久米		41	河野児童クラブ運営委員会	河野小学校	河野
	9	素鷲児童クラブ運営委員会	素鷲小学校	素鷲		42	粟井児童クラブ運営委員会	粟井小学校	粟井
	10	久枝児童クラブ運営委員会	久枝小学校	久枝		43	八坂児童クラブ運営委員会	八坂小学校	八坂
	11	道後児童クラブ運営委員会	道後小学校	道後		44	三津浜児童クラブ運営委員会	地域交流センター	三津浜
	12	久米児童クラブ運営委員会	久米小学校	久米		45	番町児童クラブ運営委員会	番町小学校	番町
	13	石井児童クラブ運営委員会	石井小学校	石井		46	遊友学舎キッズ☆デイサポート	遊友ホール	桑原
	14	双葉児童クラブ運営委員会	双葉小学校	双葉		47	放課後児童クラブ ひまわり	松山認定こども園皇岡	福音
	15	味酒児童クラブ運営委員会	味酒小学校	味酒		48	多機能学童保育すくっと	民家	八坂
	16	清水児童クラブ運営委員会	清水小学校	清水		49	東松山学童保育	東松山こども園	窪田
	17	生石児童クラブ運営委員会	生石小学校	生石		50	三葉幼稚園学童保育	民家	宮前
	18	余土児童クラブ運営委員会	余土子ども・子育て施設	余土		51	白百合保育園学童保育 こひつじ組	白百合保育園	河野
	19	石井北児童クラブ運営委員会	石井北小学校	石井北		52	民間学童保育ベース g-kids	民家	北久米
	20	宮前児童クラブ運営委員会	宮前小学校	宮前		53	こどものおうち プティパ	こどものおうち プティパ	石井
	21	湯築児童クラブ運営委員会	湯築小学校	湯築		54	きしっ子児童クラブ	きしっ子児童クラブ	久米
	22	窪田児童クラブ運営委員会	窪田小学校	窪田		55	教育付き放課後児童クラブJackキッズ枝松	認定こども園ジャックと目の木園	福音
	23	堀江児童クラブ運営委員会	堀江小学校	堀江		56	教育付き放課後児童クラブJackキッズ余戸	認定こども園ジャックと目の木園	余土
	24	潮見児童クラブ運営委員会	潮見小学校	潮見		57	松山東雲学園児童クラブ	松山東雲女子大学	桑原
	25	和気児童クラブ運営委員会	和気小学校	和気		58	学童保育 こもれび	認定こども園勝愛幼稚園	たちばな
	26	姫山児童クラブ運営委員会	姫山小学校	姫山			今治市 こども未来課		
	27	味生児童クラブ運営委員会	味生子ども・子育て施設	味生		1	常盤児童クラブ	常盤小学校	常盤
	28	垣生児童クラブ運営委員会	垣生小学校	垣生		2	仲よし児童クラブ	別宮小学校	別宮
	29	湯山児童クラブ運営委員会	湯山小学校	湯山		3	常盤児童クラブ	常盤小学校	常盤
	30	味生第二児童クラブ運営委員会	味生第二小学校	味生		4	近見児童クラブ	近見小学校	近見
	31	椿児童クラブ運営委員会	南部児童センター	椿		5	立花児童クラブ	立花小学校	立花
32	浮穴児童クラブ運営委員会	浮穴小学校	浮穴	6	青空児童クラブ	鳥生小学校	鳥生		

市町	番号	担当課・児童クラブ名	実施場所	設置小学校区	市町	番号	児童クラブ名	実施場所	設置小学校区
今治市	7	桜井児童クラブ	桜井小学校	桜井	八幡浜市	3	千丈児童クラブ	千丈小学校	千丈
	8	国分児童クラブ	国分小学校	国分		4	白浜児童クラブ	白浜小学校	白浜
	9	富田児童クラブ	富田小学校	富田		5	江戸岡児童クラブ	江戸岡小学校	江戸岡
	10	しみず児童クラブ	清水小学校	清水		6	宮内第1児童クラブ	宮内小学校	宮内
	11	日高児童クラブ	日高小学校	日高		7	宮内第2児童クラブ	保内幼稚園	宮内
	12	乃万児童クラブ	乃万小学校	乃万		8	川之石児童クラブ	川之石小学校	川之石
	13	うずしお児童クラブ	波止浜小学校	波止浜		9	喜須来児童クラブ	喜須来小学校	喜須来
	14	上朝児童クラブ	上朝児童育成施設	朝倉			新居浜市 学校教育課		
	15	朝倉児童クラブ	朝倉老人憩の家	朝倉		1	たねっこクラブ1・2・3	高津小学校	高津
	16	鴨部はあと児童クラブ	鴨部小学校	鴨部	2	ひかりクラブ1・2	中萩小学校	中萩	
	17	九和児童クラブ	九和小学校	九和	3	ひかりクラブ3	中萩小学校	中萩	
	18	波方児童クラブ	樋口児童館	波方	4	なかよしクラブ	新居浜小学校	新居浜	
	19	大西児童クラブ	大西小学校	大西	5	たんぼぼクラブ1・2	金栄小学校	金栄	
	20	菊間児童クラブ	菊間小学校	菊間	6	こぼとクラブ1・2・3	角野小学校	角野	
	21	吉海児童クラブ	吉海小学校	吉海	7	うずいクラブ	大生院小学校	大生院	
	22	伯方児童クラブ	伯方小学校	伯方	8	かぶとクラブ1・2	船木小学校	船木	
	23	上浦児童クラブ	上浦開発総合センター	上浦	9	あひるクラブ1・2・3	神郷小学校	神郷	
	24	大三島児童クラブ	大三島小学校	大三島	10	すみれクラブ	宮西小学校	宮西	
	25	児童クラブ未来	児童クラブ未来	乃万	11	のぞみクラブ1・2	惣開小学校	惣開	
	26	しまなみ学童クラブ	しまなみ学童クラブ	乃万	12	ひまわりクラブ	垣生小学校	垣生	
	27	かなん学童クラブ	マリエール今治	立花	13	あじさいクラブ	多喜浜小学校	多喜浜	
	宇和島市		宇和島市 生涯学習課			14	ばんだクラブ1・2・3	泉川小学校	泉川
		1	石丸ルーム	石丸保育園	番城	15	きりんクラブ	上部児童センター	中萩
		2	尾串ルーム	尾串保育園	明倫	16	ぴかっこクラブ	川東児童センター	浮島
		3	済美ルーム	宇和島済美保育園	天神	17	かがやきクラブ1・2	金子小学校	金子
		4	たちばな学童ルーム	立正保育園	宇和津	18	かがやきクラブ3	金子小学校	金子
		5	元気の泉学童ルーム	元気の泉保育園	和霊		西条市 学校政策課		
6		明倫放課後児童クラブ	明倫小学校	明倫	1	橘児童クラブ	橘小学校	橘	
7		番城放課後児童クラブ1	番城美徳認定こども園	番城	2	禎瑞児童クラブ	禎瑞小学校	禎瑞	
8		鶴島放課後児童クラブ	鶴島小学校	鶴島	3	徳田児童クラブ	徳田公民館	徳田	
9		吉田町放課後児童クラブ	吉田小学校	吉田	4	庄内児童クラブ	旧庄内幼稚園	庄内	
10	津島町放課後児童クラブ	岩松幼稚園	岩松	5	石根児童クラブ	石根公民館	石根		
八幡浜市		八幡浜市 子育て支援課			6	三芳児童クラブ	東予北地域交流センター	三芳	
	1	松蔭児童クラブ	松蔭小学校	松蔭	7	田野児童クラブ	田野公民館	田野	
	2	神山児童クラブ	神山小学校	神山	8	吉井児童クラブ	吉井小学校	吉井	

市町	番号	担当課・児童クラブ名	実施場所	設置小学校区	市町	番号	児童クラブ名	実施場所	設置小学校区
西条市	9	吉岡児童クラブ	東予西児童館	吉岡	伊予市	4	南伊予児童クラブ	南伊予児童クラブ	伊予
	10	楠河児童クラブ	楠河小学校	楠河		5	なかやま学童広場	中山地域事務所	中山
	11	国安児童クラブ	国安小学校	国安		6	上灘学童クラブ	双海地域事務所	由並
	12	周布児童クラブ	周布小学校	周布		7	田野児童クラブ	田野公民館	田野
	13	氷見児童クラブ	氷見小学校	氷見		8	吉井児童クラブ	吉井小学校	吉井
	14	中川児童クラブ	中川小学校	中川		9	吉岡児童クラブ	東予西児童館	吉岡
	15	多賀児童クラブ	多賀小学校	多賀		10	楠河児童クラブ	楠河小学校	楠河
	16	神戸児童クラブ	神戸小学校	神戸		11	国安児童クラブ	国安小学校	国安
	17	西条児童クラブ	西条小学校	西条		12	されだに学童クラブ	佐礼谷小学校	佐礼谷
	18	神拝児童クラブ	神拝小学校	神拝		13	児童クラブそらうみ	空き店舗	郡中
	19	飯岡児童クラブ	飯岡小学校	飯岡		14	天使幼稚園放課後児童クラブ(天使組)	天使幼稚園	郡中
	20	壬生川児童クラブ	壬生川小学校	壬生川			四国中央市 子育て支援課		
	21	丹原児童クラブ	丹原小学校	丹原		1	新宮児童クラブ	新宮小中学校	新宮
	22	大町児童クラブ	大町小学校	大町		2	川之江小学校児童クラブ	川之江小学校放課後児童クラブ	川之江
	23	小松児童クラブ	小松小学校	小松	3	金生第一小学校児童クラブ	金生第一小学校	金生第一	
	24	玉津A児童クラブ	玉津小学校	玉津	4	金生第二小学校児童クラブ	金生第二小学校	金生第二	
	25	玉津B児童クラブ	玉津小学校	玉津	5	上分小学校児童クラブ	上分小学校	上分	
	26	田滝児童クラブ	田滝小学校	田滝	6	妻鳥小学校児童クラブ	妻鳥小学校	妻鳥	
	27	さくら児童クラブ	さくら保育園	大町	7	南・川滝小学校児童クラブ	南小学校	南	
	大洲市		大洲市 子育て支援課			8	みしま児童センター児童クラブ	みしま児童センター	三島
		1	喜多児童クラブ	喜多小学校	喜多	9	松柏小学校児童クラブ(1)	松柏小学校	松柏
		2	大洲児童クラブ	大洲市アフタースクールおおす	大洲	10	松柏小学校児童クラブ(2)	松柏小学校放課後児童クラブ	松柏
		3	平児童クラブ	平小学校屋内運動場	平	11	中曽根小学校児童クラブ	中曽根小学校児童クラブ	中曽根
		4	粟津児童クラブ	粟津小学校	粟津	12	中之庄小学校第1児童クラブ	中之庄小学校	中之庄
		5	長浜児童クラブ	長浜小学校	長浜	13	寒川小放課後児童クラブ	寒川小学校	寒川
		6	肱川児童クラブ	大洲市アフタースクールむじかわ	肱川	14	豊岡小学校児童クラブ	豊岡小学校	豊岡
		7	新谷児童クラブ	新谷小学校	新谷	15	土居小学校児童クラブ	土居小学校児童クラブ	土居
8		菅田児童クラブ	菅田小学校	菅田	16	長津小学校児童クラブ	長津小学校	長津	
9		久米児童クラブ	JIA愛媛だいき大洲支所久米取設所	久米	17	北小学校児童クラブ	北小学校	北	
10		平野児童クラブ	平野小学校	平野	18	小富士小学校児童クラブ	小富士小学校	小富士	
11	三善児童クラブ	三善小学校	三善	19	関川小学校児童クラブ	関川公民館	関川		
伊予市		伊予市 子育て支援課			20	放課後児童クラブポルト	認定こども園金生幼稚園	金生	
	1	南山崎児童クラブ	南山崎児童クラブ	南山崎	21	ジュリアード奨学院放課後児童クラブ	ジュリアード奨学院放課後児童クラブ	関川	
	2	北山崎児童クラブ	北山崎小学校	北山崎		西予市 子育て支援課			
伊予市	3	郡中放課後児童クラブ	郡中放課後児童クラブ	郡中	1	トトロクラブ	宇和児童館	宇和町	

市町	番号	担当課・児童クラブ名	実施場所	設置小学校区	市町	番号	児童クラブ名	実施場所	設置小学校区
西予市	2	明下田クラブ	明下田クラブ	皆田	内子町		内子町 こども支援課		
	3	のむらキッズ	野村地域教育福祉複合施設	野村		1	五十崎児童クラブ	五十崎児童館	五十崎
	4	すこやか児童クラブ	コスモス館	三瓶		2	天神児童クラブ	天神小学校	天神
	5	ななほし中川	ななほし中川	中川		3	内子第1児童クラブ	内子児童館	内子
	6	おれんじクラブ	明浜中学校内	明浜	4	内子第2児童クラブ	内子小学校	内子	
	7	しろかわキッズ	元教職員宿舎	城川	伊方町		伊方町 保健福祉課		
	8	なかよしクラブ	うわまち未来こども園	宇和町		1	いかた学童クラブ	伊方小学校	伊方
	9	てっぺん広場	介護施設ねぶの花	宇和町		2	おおく学童クラブ	大久小学校	大久
		東温市 保育幼稚園課				3	みさき学童クラブ	三崎小学校	三崎
1	拝志ひまわりクラブ	拝志小学校	拝志	4		みつくえ学童クラブ	三机教職員住宅	三机	
東温市	2	北吉井あおい組	いわがらこども館	北吉井	5	くちょう学童クラブ	九町教職員住宅	九町	
	3	南吉井すみれ組	南吉井小学校	南吉井	松野町		松野町 町民課		
	4	南吉井たんぼぼ組	南吉井たんぼぼ組	南吉井		1	なないろキッズ	森の国ふれあいセンター	松野
	5	川上くすのき児童クラブ	川上小学校	川上	鬼北町		鬼北町 町民生活課		
	6	上林ささゆりクラブ	上林集会所	上林		1	鬼北町放課後児童クラブ	鬼北町放課後児童クラブ	近永
	7	東谷さくら児童クラブ	東谷小学校	東谷	愛南町		愛南町 保健福祉課		
	8	西谷みどり児童クラブ	西谷幼稚園	西谷		1	平城小放課後児童クラブ	平城小学校	平城
	9	北吉井はなみずき組	北吉井はなみずき組	北吉井		2	城辺小放課後児童クラブ	城辺小学校	城辺
	上島町		上島町 住民課			3	一本松小放課後児童クラブ	一本松小学校	一本松
1		岩城校区児童クラブ	旧岩城保育所	岩城					
2		弓削校区児童クラブ	弓削高齢者生活福祉センター	弓削					
久万高原町		久万高原町 保健福祉課							
	1	NIKO NIKOクラブ	NIKONIKO館	久万					
松前町		松前町 子育て支援課							
	1	松前小学校放課後児童クラブ	松前小学校放課後児童クラブ	松前					
	2	北伊予小学校放課後児童クラブ	北伊予小学校放課後児童クラブ	北伊予					
	3	岡田小学校放課後児童クラブ	岡田小学校放課後児童クラブ	岡田					
砥部町		砥部町 子育て支援課							
	1	砥部小学校第1放課後児童クラブ	砥部小学校	砥部					
	2	宮内小学校第1放課後児童クラブ	宮内小学校	宮内					
	3	麻生小学校第1放課後児童クラブ	麻生小学校	麻生					
	4	広田小学校放課後児童クラブ	広田老人憩いの家	広田					

えひめ学校・地域教育サポーター 登録企業・団体一覧

令和8年2月1日現在

★がついている企業・団体は、学校教育だけでなく、放課後子ども教室や公民館活動等の地域における教育活動についても御支援いただける企業・団体です。

No	企業・団体等名	No	企業・団体等名	No	企業・団体等名
1	有限会社 あさひ(ティサービスセンターあさひ)★	87	株式会社 誠実村★	174	株式会社 渡辺建設★
2	朝日共済㈱	88	公益財団法人 生命保険文化センター★	175	株式会社 松山機工工業
3	株式会社 伊予銀行★	89	全日本空輸株式会社/ANAあさんど株式会社★	176	浅川造船株式会社
4	株式会社 伊予数高島屋	90	DCM株式会社★	177	BEMAC株式会社
5	うま農業協同組合★	91	竹中金網株式会社 テクノみかた工場	178	愛媛フレック(株)
6	株式会社 SSP	92	株式会社ダスキンプロダクト中四国 愛媛工場	179	有限会社 ゆうほく★
7	SMBCコンシューマーファイナンス株式会社★	93	NPO法人 『Do』	180	株式会社小関電工
9	株式会社 愛媛銀行★	95	(株) 日本交通★	181	商レク株式会社 日本庭園 南園園★
10	愛媛県 県民環境部 防災危機管理課★	96	日本赤十字社愛媛県支部★	182	太陽石油株式会社 四国事業所
11	愛媛県 県民環境部 消防防災安全課★	97	伯方産業株式会社★	183	月原自動車 株式会社
12	愛媛県 今治保健所★	98	株式会社 ブルーム・クラシック 愛媛テクノ工場	184	キョクヨーフーズ株式会社
13	公益財団法人 愛媛県学校給食会	99	弁護士法人伊予★	185	ヤマセイ株式会社
15	愛媛県 スポーツ・文化部 まなび推進課(生涯学習センター駐在)★	100	マエダ商事 株式会社	186	有限会社 アボトライ★
16	愛媛県教育委員会 文化財保護課★	101	松山税務署	187	松山空港ビル 株式会社
17	社会福祉法人 愛媛県共同募金会	103	リノベーションデザイン株式会社★	188	日本航空 株式会社 松山支店★
18	愛媛県警察本部 交通部 交通企画課★	104	愛媛県南予地方局 総務県民課★	189	石田クリーニング 株式会社★
19	愛媛県警察本部 生活安全部 少年課★	105	宇和島保健所 健康増進課★	190	松山観光港ターミナル 株式会社
20	愛媛県警察本部 総務室 広報県民課★	106	宇和島保健所 生活衛生課★	191	石崎汽船株式会社 松山・小倉フェリー株式会社★
21	愛媛県県民環境部 環境政策課★	107	宇和島保健所 環境保全課	192	日本ボーイスカウト愛媛県連盟★
22	愛媛県県民環境部 自然保護課★	108	宇和島保健所 企画課★	193	四国開発フェリー株式会社★
23	愛媛県公営企業管理局 松山発電工水管理事務所★	110	八幡浜保健所	194	有限会社 安岡酒造店★
24	愛媛県 西条保健所★	111	愛媛県美術館★	195	宇和島自動車株式会社★
25	愛媛県在宅介護研修センター★	112	愛媛県障保館連絡協議会★	196	株式会社 あわしま堂
26	愛媛県 親睦資源研究所★	113	富士電機株式会社 松山営業所	197	双葉産業株式会社 四国工場
27	愛媛県 産業技術研究所 紙産業技術センター★	114	愛媛県産能力開発促進支援センター	198	瀬戸内運輸株式会社(せとうちバス)
28	愛媛県 産業技術研究所 技術開発部	115	河原電子ビジネス専門学校★	199	P.H.C株式会社
29	愛媛県 産業技術研究所 食品産業技術センター	116	河原医療福祉専門学校★	200	一般社団法人 愛媛ゆめ教育協会★
30	愛媛県 産業技術研究所 繊維産業技術センター★	117	河原デザイン・アート専門学校	201	特定非営利活動法人 まもる★
31	愛媛県 産業技術研究所 窯業技術センター★	118	河原アイベットワールド専門学校	202	まつやまNPOサポートセンター★
32	愛媛県 資源循環優良事業者 連絡協議会★	119	学校法人河原学園 河原医療大学校 新居浜校★	203	一広株式会社
33	愛媛県 四国中央保健所★	120	学校法人河原学園 河原外語観光・製菓専門学校★	204	シワフ株式会社
34	社会福祉法人愛媛県社会福祉協議会★	121	河原ビューティモード専門学校★	205	株式会社ジョージ★
36	愛媛県視覚覚醒福祉センター★	122	学校法人河原学園 河原医療大学校★	206	愛媛県企画振興部 総合政策課
37	愛媛県身体障がい者福祉センター★	123	アビリティセンター株式会社	207	江南ラミネート株式会社★
38	道後 ゆう★	124	今治造船株式会社	208	愛媛晋公学生服株式会社★
39	えひめ障がい者就業・生活支援センター	125	株式会社 内子フレッシュパークからり	209	愛媛県産業技術研究所 企画管理部
40	しげのぶ清愛園★	126	JRホテルクレメント宇和島	210	愛媛県選挙管理委員会事務局★
41	しげのぶ清流園★	128	NTT西日本愛媛支店	211	ミサワホーム四国株式会社★
42	どうご清友寮	129	公益社団法人 愛媛看護協会★	212	株式会社日本エイジェント【お部屋さがし物語】★
43	福祉工房いだい清風園	130	愛媛県金融広報委員会★	213	佐川印刷株式会社
44	ほほえみ工房ぱれっと道後★	132	川之江造船株式会社★	214	トヨタL&F西四国株式会社★
45	愛媛県消費生活センター★	133	橋樫織機株式会社	215	コスモ松山石油株式会社★
46	愛媛県産能力開発協会★	134	クリンメカニカル株式会社	216	株式会社ANAエアサービス松山
47	愛媛県人権啓発センター★	135	四国乳業株式会社	217	株式会社日野
48	愛媛県水産研究センター★	136	西南開発(株)	218	公益財団法人 日本漢字能力検定協会★
49	愛媛県総合科学博物館★	137	セキ株式会社	219	大進建設株式会社
50	愛媛県 スポーツ・文化部 まなび推進課★	138	一般財団法人積善会 十全総合病院	220	スリーラインズ株式会社
52	愛媛県 中予地方局 総務企画部 総務県民課★	139	株式会社 曽我部精工所	221	株式会社 住工属たかせ★
53	愛媛県 中予保健所 企画課	140	株式会社ダイキヤクス★	222	株式会社マルク水産★
54	愛媛県 中予保健所 生活衛生課	141	株式会社 千葉一務店	223	株式会社エヒスポートエンターテイメント★
55	愛媛県動物愛護センター★	142	子育て安心住宅・設計室 西川建設株式会社★	224	医療法人みかわクリニック★
56	愛媛県 東予地方局 地域政策課	143	NPO法人 NEXT CONEXION★	225	一般社団法人WONDER EDUCATION★
57	愛媛県 東予地方局 農村整備課	144	渡止浜興産株式会社★	227	株式会社愛媛FC★
58	愛媛県 土木部 河川課★	145	八水浦銚株式会社	228	三木特種製紙株式会社
59	愛媛県 土木部 港湾海岸課	146	花育・花活プロジェクトえひめ★	229	株式会社かどや★
60	愛媛県 土木部 砂防課★	147	尾藤建設株式会社★	230	ジャスティン株式会社★
61	愛媛県土木部 道路建設課	148	丸福運送(株)	231	株式会社S.T.M★
62	愛媛県土木部 道路維持課	149	ヤマキ株式会社	232	金融リテラシー向上コンソーシアム★
63	愛媛県 保健福祉部 業務衛生課★	150	株式会社 コタカ★	233	一般社団法人坊っちゃん劇場
65	愛媛県立医療技術大学	151	株式会社 レデイ薬局	234	四国竹林塗装工業株式会社★
66	愛媛県立新居浜病院★	152	株式会社ハラブラック★	235	正起ガス株式会社
67	愛媛県立南宇和病院	153	愛媛県生涯学習センター★	236	西染工株式会社★
68	愛媛県歴史文化博物館★	154	風とつばさ社労士事務所	237	株式会社大石工作所★
69	株式会社愛媛CATV★	155	株式会社 マツダ★	238	損害保険ジャパン株式会社 愛媛支店★
70	一般社団法人えひめ若年人材育成推進機構	157	愛媛トヨタ自動車株式会社★	239	独立行政法人 住宅金融支援機構 四国支店★
71	愛媛信用金庫★	158	株式会社スイッチカンパニー★	240	仙味工キス株式会社
72	愛媛労働局	159	有限会社バイクハウス阿部★	241	Mai Yoga
73	株式会社 大角製作所★	160	株式会社 PENTA FARM★	242	株式会社 毎日新聞社 松山支局★
74	株式会社 オスメッセ	161	愛媛県農林水産研究所	243	西予CATV株式会社★
75	協和道路株式会社★	162	愛媛県鶏産研究所	244	株式会社 百十四銀行 新居浜支店★
76	NPO法人 禁煙推進のえひめ★	163	大原海記公務員専門学校 愛媛校★	245	株式会社四国中央テレビ★
77	株式会社 クリエイト伊予	164	城北運送株式会社★		
79	株式会社 コスにじゅういち★	165	公益財団法人 松山観光コンベンション協会		
80	特定非営利活動法人 さなえ★	166	学校法人愛媛学園 愛媛調理製菓専門学校★		
81	四国ガス株式会社★	167	華彩フラワーカレッジ・ロイヤル 플로ーリスト華彩★		
82	四国造船株式会社	168	リコージャパン株式会社 愛媛支社		
83	四国電力株式会社 愛媛支店	169	公益財団法人 愛媛県診療放射線技師会		
84	シブラルタ生命保険(株)★	170	松山デザイナー専門学校		
85	新日本建設 株式会社★	172	松山歯科衛生士専門学校		
86	株式会社新風会フィットネスクラブRyuow★	173	井関農機株式会社		

※愛媛県教育委員会のホームページには231の企業・団体等をデータベース化して掲載中！(欠番8、14、35、51、64、78、94、102、109、127、131、156、171、226)

【連絡先】 愛媛県教育委員会事務局社会教育課 社会教育グループ (TEL) 089-912-2933

愛媛県教育委員会HPに本事業の詳細を掲載していますので、下記URL又は右記二次元コードより御覧ください。

<https://ehime-kyoiku.esnet.ed.jp/shogai/tiikiyoiku>



(えひめ学校・地域教育サポーターHP)

企業力を生かして 愛媛の子どもたちを健やかに育てましょう！ えひめ家庭教育サポート企業連携事業

◆◆◆◆ 協定締結企業一覧 ◆◆◆◆ 令和8年2月1日現在

No.	企業名	No.	企業名
1	株式会社アテックス	54	SMBCコンシューマーファイナンス株式会社
2	アピリティーセンター株式会社	55	株式会社ヴァンサンカン
3	株式会社伊予銀行	56	株式会社マツダ
4	株式会社伊予鉄高島屋	57	おおぞら高等学院 松山キャンパス
5	伊予鉄道株式会社	58	株式会社井関松山製造所
6	伊予木材株式会社	59	生活協同組合コープえひめ
7	イワキテック株式会社	60	愛麺株式会社
8	BEMAC株式会社	61	石田クリーニング株式会社
9	株式会社内子フレッシュパークからり	62	リコージャパン株式会社愛媛支社
10	宇和島自動車株式会社	63	扇屋食品株式会社
11	株式会社JR四国ホテルズJRホテルクレメント宇和島	64	株式会社S S P
12	株式会社N T T 西日本愛媛支店	65	愛媛トヨベット株式会社
13	株式会社えひめ飲料	66	株式会社愛媛CATV
14	株式会社愛媛銀行	67	三浦工業株式会社
15	愛媛信用金庫	68	株式会社フジ
16	有限会社小川工務店	69	有限会社安岡蒲鉾店
17	株式会社オズメッセ	70	株式会社あわしま堂
18	おべ工業株式会社	71	愛媛トヨタ自動車株式会社
19	楠橋紋織株式会社	72	PHC株式会社
20	クリーンメカニカル株式会社	73	株式会社母恵夢
21	株式会社コスにじゅういち	74	シンワ株式会社
22	四国瓦斯株式会社	75	株式会社ジョージ
23	四国通建株式会社	76	一広株式会社
24	四国電力株式会社愛媛支店	77	江南ラミネート株式会社
25	四国乳業株式会社	78	ハイスピードコーポレーション株式会社
26	株式会社新来島どっく	79	ミサワホーム四国株式会社
27	株式会社シンテック	80	ジブラルタ生命保険株式会社
28	西南開発株式会社	81	株式会社日本エイジェント
29	セキ株式会社	82	佐川印刷株式会社
30	一般財団法人積善会十全総合病院	83	トヨタL&F西四国株式会社
31	DCM株式会社	84	コスモ松山石油株式会社
32	株式会社高田商店	85	株式会社ANAエアサービス松山
33	株式会社ダスキンプログラクト中四国 愛媛工場	86	大進建設株式会社
34	帝人株式会社松山事業所	87	スリーライズ株式会社
35	西川建設株式会社	88	株式会社エヒメスポーツエンターテイメント
36	株式会社日本交通社	89	株式会社 住工肩たかせ
37	日本食研ホールディングス株式会社	90	株式会社マルウ水産
38	伯方塩業株式会社	91	株式会社 小関電工
39	波止浜興産株式会社	92	株式会社S.T.M
40	八水蒲鉾株式会社	93	三木特種製紙株式会社
41	檜垣造船株式会社	94	株式会社愛媛FC
42	尾藤建設株式会社	95	株式会社かどや
43	坊っちゃん劇場 株式会社ジョイ・アート	96	ジャスティン株式会社
44	有限会社ほづみ	97	四国竹林塗装工業株式会社
45	株式会社松山三越	98	正起ガス株式会社
46	マルトモ株式会社	99	株式会社大石工作所
47	丸福運送株式会社	100	株式会社アイテック
48	宮田鉄工株式会社	101	仙味エキス株式会社
49	森永乳業株式会社四国支社松山営業所	102	西予CATV株式会社
50	株式会社ヤツツカ	103	川之江信用金庫
51	ヤマキ株式会社	104	株式会社四国中央テレビ
52	株式会社洋武建設		
53	株式会社レディ薬局		

参観日等に参加しやすい休暇制度等を導入します！

子育て・家庭教育に関する企業内研修をします！

家族参加のイベントを企画・実施します！



【連絡先】愛媛県教育委員会事務局社会教育課 社会教育グループ (TEL) 089-912-2933
愛媛県教育委員会HPに本事業の詳細を掲載していますので、下記URL又は右記二次元コードより御覧ください。

【URL】<https://ehime-kyoiku.esnet.ed.jp/shogai>



社会総がかりで取り組む教育の推進 Vol. 15

～令和7年度 地域ぐるみで育むえひめっ子未来創造事業 実践事例集～

《文部科学省「学校・家庭・地域連携協力推進事業費」補助事業》

発行 令和8年3月

愛媛県教育委員会

〒790-8570

愛媛県松山市一番町四丁目4番地2

TEL:089-912-2933

FAX:089-912-2929